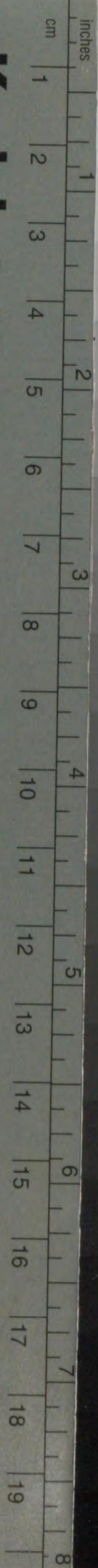


Kodak Gray Scale



© Kodak, 2007 TM: Kodak

A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19



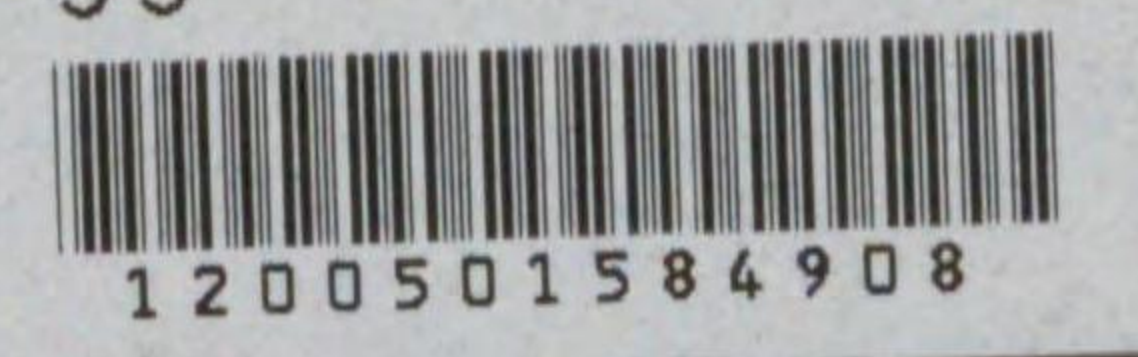
Kodak Color Control Patches

© Kodak, 2007 TM: Kodak

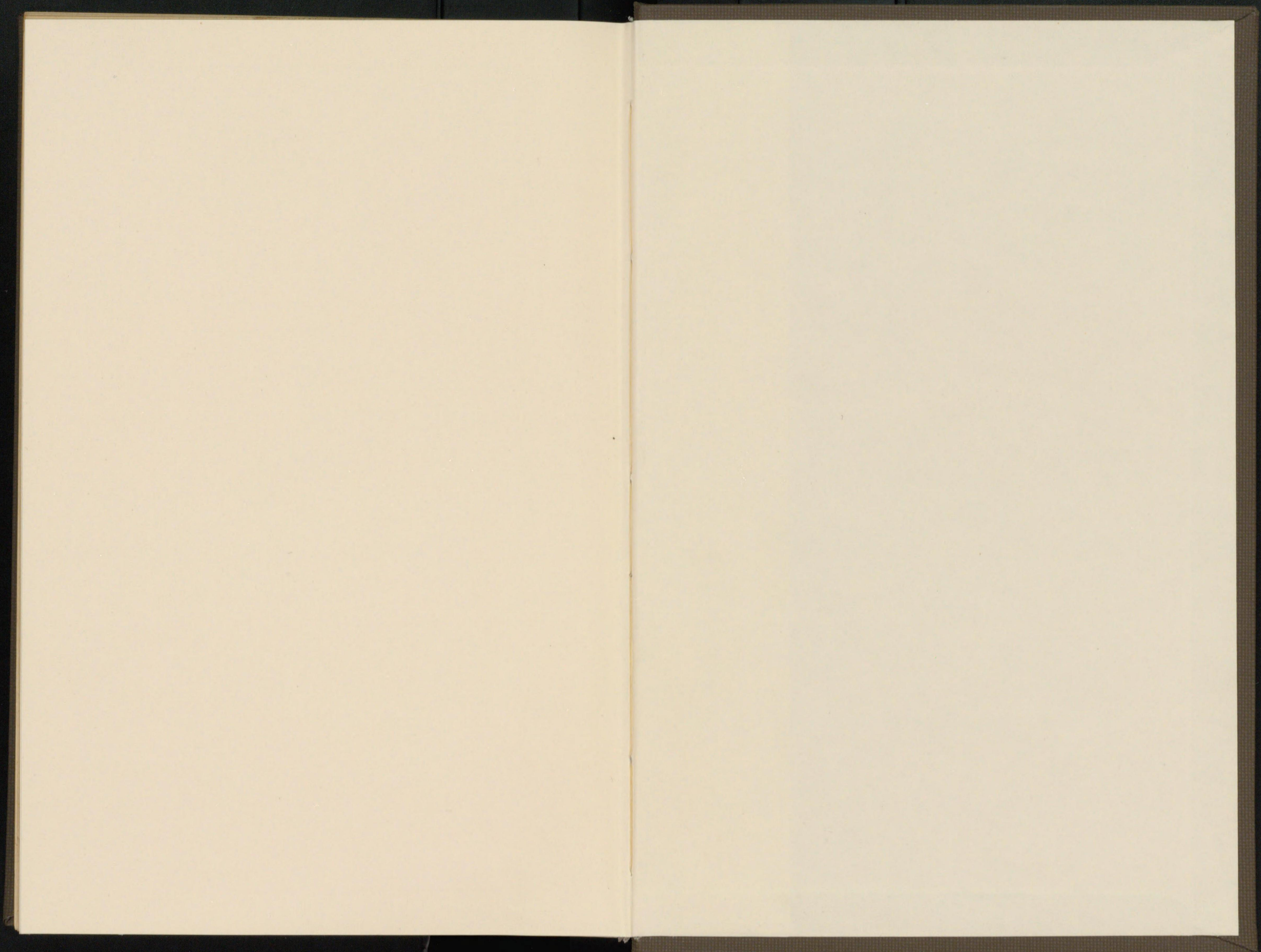
Blue	Cyan	Green	Yellow	Red	Magenta	White	3/Color	Black
[Patch]	[Patch]	[Patch]	[Patch]	[Patch]	[Patch]	[Patch]	[Patch]	[Patch]
[Patch]	[Patch]	[Patch]	[Patch]	[Patch]	[Patch]	[Patch]	[Patch]	[Patch]

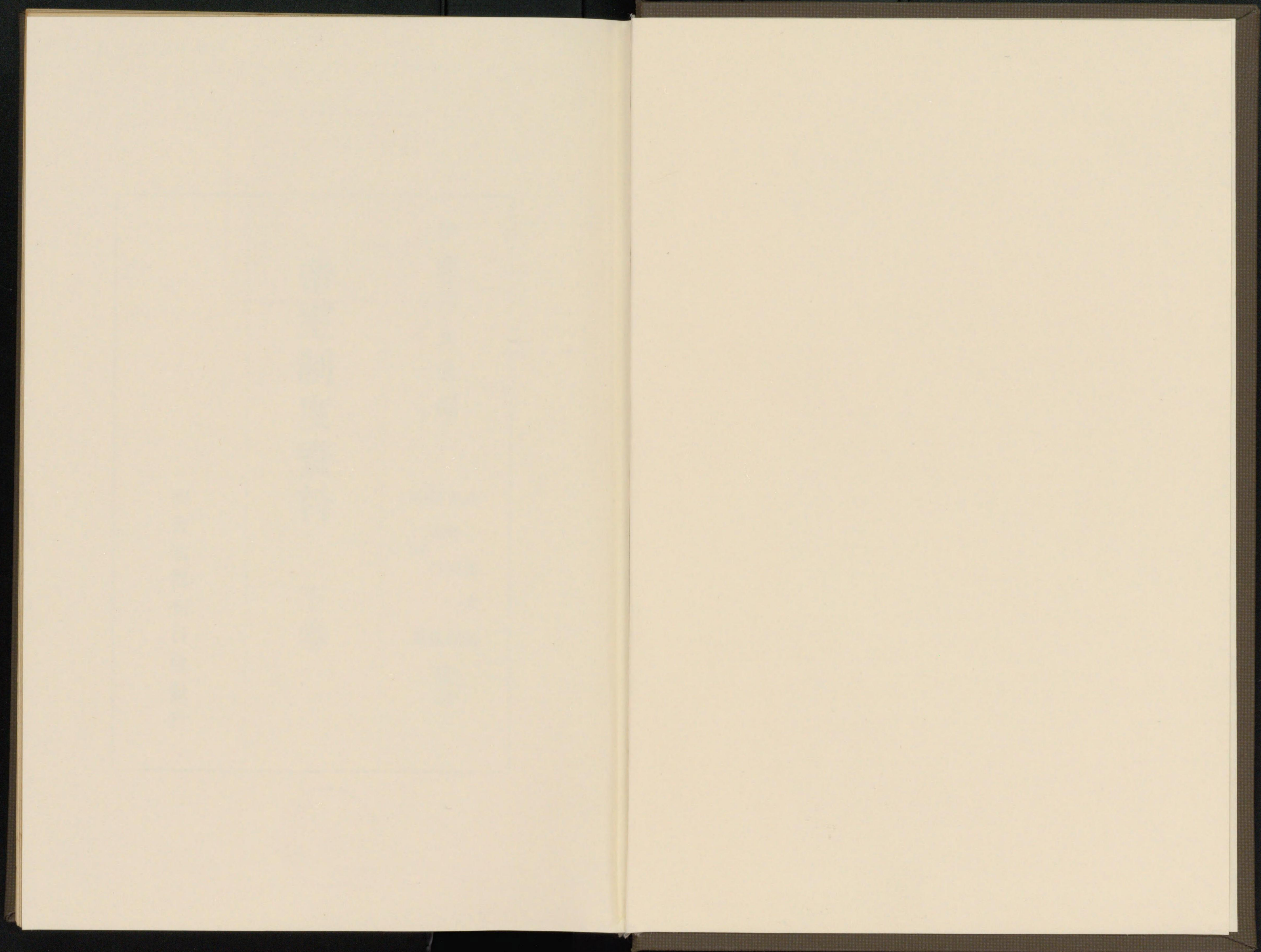
711
55

711-55

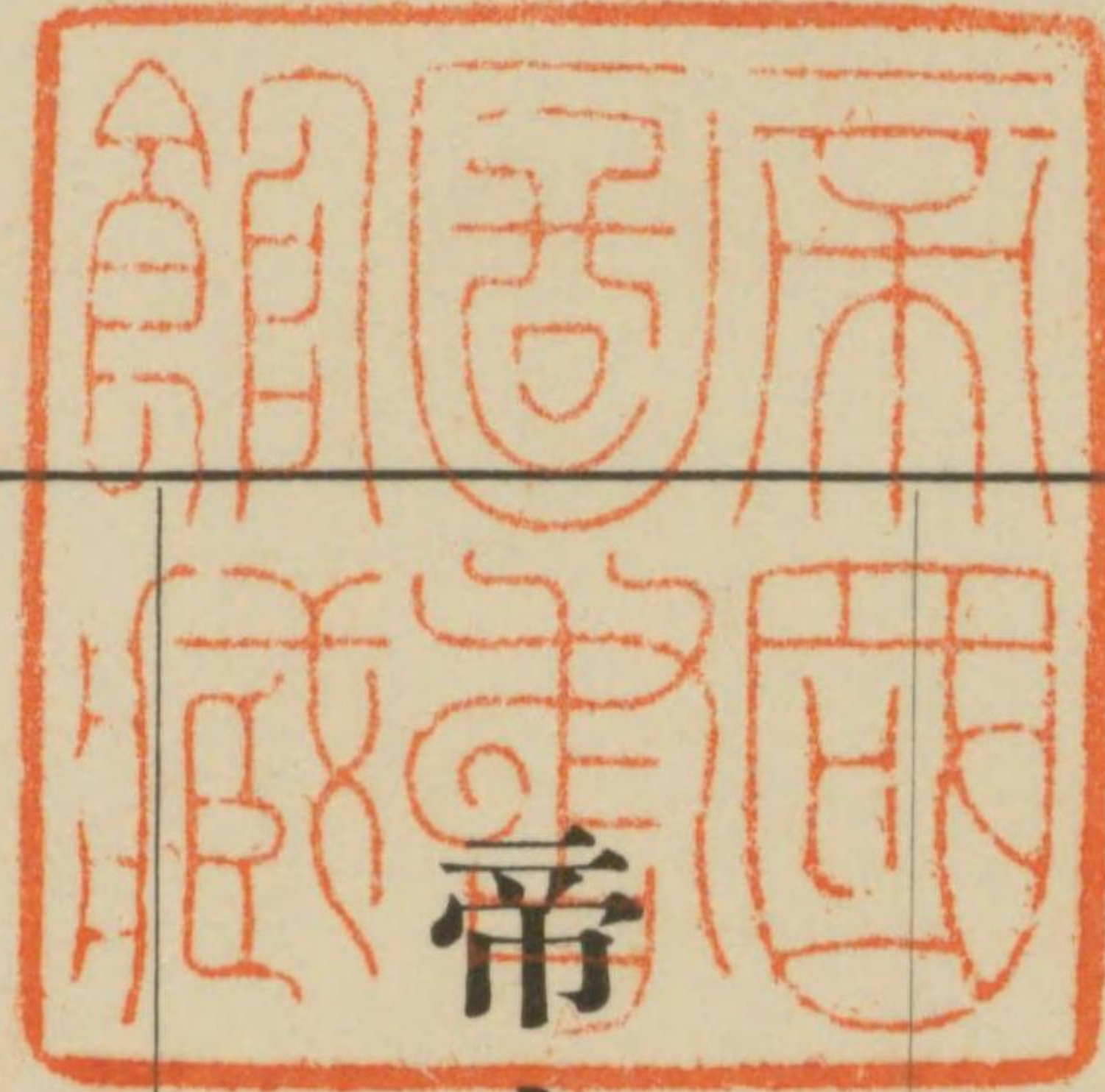


1200501584908





トI10J-44



伊藤博文公編

皇室制度資料

下卷

平尾栗金

佐野子塚

竹愼堅

一太

篤猛郎郎

校訂

秘書類纂刊行會發行



1711-55

類纂書 皇室制度資料 下卷

目次

皇室婚嫁令草案……………一

皇室婚嫁令草案……………二

皇室婚嫁令義解
嫁令附式……………二〇

皇室婚嫁令第二稿……………三〇

大婚令皇室婚嫁令……………三六

皇室婚姻式草案……………三七

皇室婚嫁令……………一四〇

皇族婚嫁令……………一四二

御資部歲入歲出豫算……………一四四

御資部財本増減豫算……………一五〇

目次

常用部歳入歳出豫算書……………一六二

御資部經濟説明……………一六八

佐渡生野兩鑛山及大坂製煉所公賣ニ付スル件……………一九六

佐渡生野兩鑛山及大坂製煉所拂下規程告示案……………一九九

拂下代金一時納入ニ係ル賣買契約書案……………二〇五

拂下代金年賦納入ニ係ル賣買契約書案……………二〇九

拂下土地段別竝鑛區面積取調書……………二二四

小松宮殿下竝御息所獨逸皇帝及皇后へ謁見ノ事……………二二八

同獨皇太子及妃ニ御對面ノ事……………三三三

依仁親王殿下ヨリノ御報告書……………三三七

舊公卿華族救助賜金ノ件……………三四四

帝室へ慈惠部ヲ置カル、事……………三四五

侍從撰任ノ事其他ノ條陳……………三五五

正一位ニ叙セラレシ人名取調……………三六〇

歐洲參考書類……………三六〇

贈位者取調……………三七二

日本帝室……………三六〇

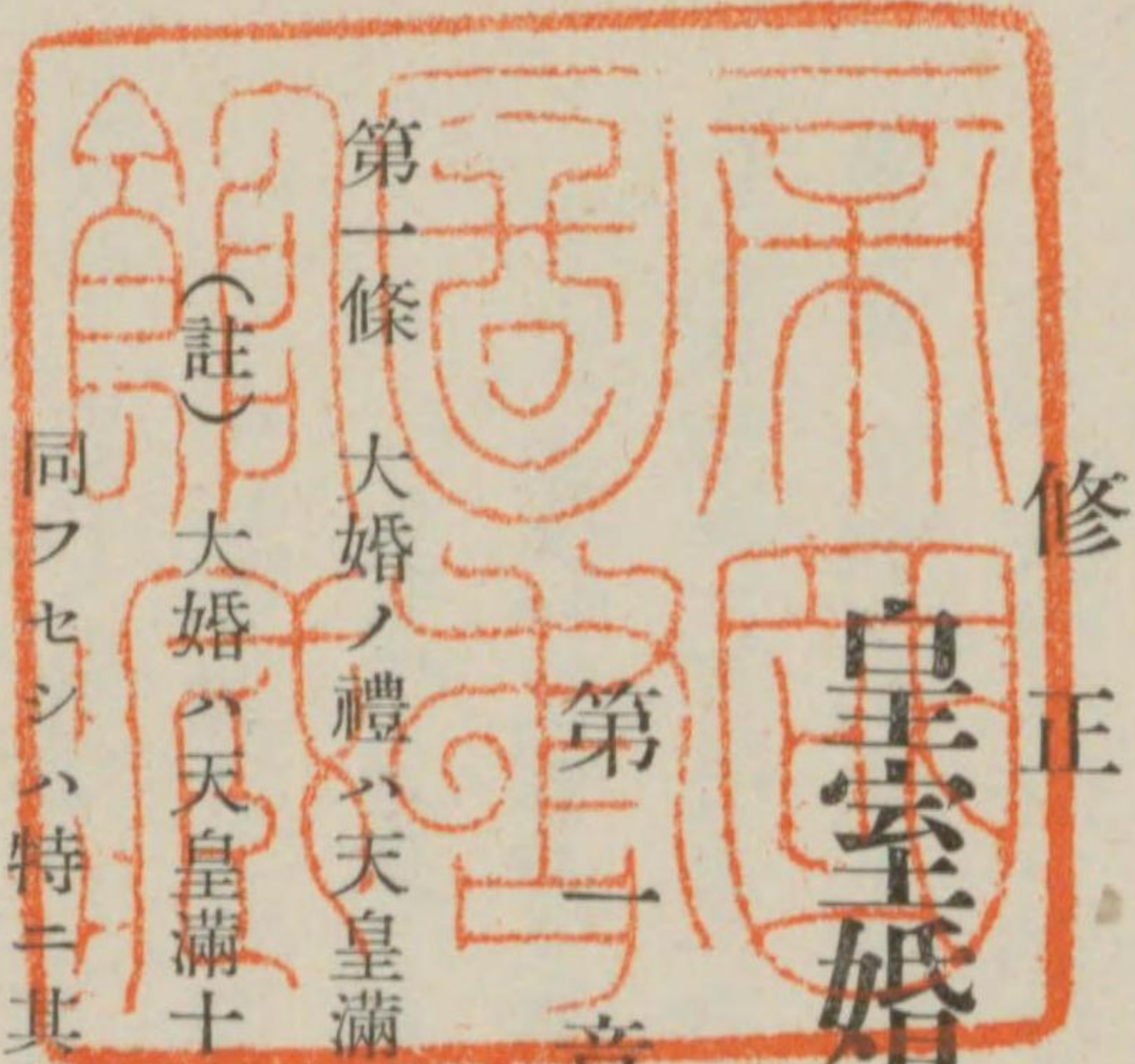
御所……………四二四

オットマール・フォン・モール……………三六〇

目次了

秘書類纂

皇室制度資料 下卷



第一章 大婚

第一條 大婚ノ禮ハ天皇滿十七年ニ達シタル後ニ於テ之ヲ行フ。

(註) 大婚ハ天皇滿十七年ニ達シタル後ニ於テ之ヲ成スモノトス。婚姻ノ年齒ヲ民法ノ規定ト同フセシハ特ニ其軌ヲ異ニスルノ必要ヲ認メザルニ由ル。

中古以來大婚ト立后ヲ區別シ、已ニ大婚ノ禮ヲ行フモ仍ホ皇后ノ尊號ヲ加ヘザルノ例多シ、今マ立后ハ即チ大婚ナリトノ主旨ヲ取ル、蓋シ上代ノ制ニ基クナリ。

第二條 天皇皇后ヲ立ツルハ皇族又ハ特ニ定メタル華族ノ女子滿十五年以上ノ者ニ限ル。

(註) 上代天皇ノ婚姻ハ對等種族ニ於テ之ヲ成スノ例ニシテ、神武帝ガ大國主大神ノ子事代主

皇室婚嫁令草案

命ノ大女媛踏躡五十鈴媛命ヲ立テ皇后ト爲シ、綏靖安寧二帝ガ仍ホ事代主命ノ神裔ヲ納ル、ガ如キ是ナリ。而テ懿德帝ガ皇親息石耳命ノ女天豐津媛命ヲ納レテ皇后ト爲セシヨリ爾來之ヲ皇親ニ捧フ、降リテ聖武帝ニ至リ夫人藤原安宿媛ヲ立テ皇后ト爲ス、是ヲ臣籍ノ女子ヲ采ルノ始メトス。今マ此等ノ前蹤ニ由リ皇族又ハ特ニ定メタル華族ト規定ス。特ニ定メタル華族トハ別ニ定ムル所ノ標準ニ依リ華胄ノ女子ヲ采捧スルヲ謂フ。

女子滿十五年以上トセシハ其義第一條ニ同ジ。

天皇ハ孝敬ヲ純ラニシ、大婚ノ約ヲ成スノ前ニ於テ太皇太后皇太后ニ啓告シテ其同意ヲ求メ、又彝倫ヲ重ンジ直系親族及三親等内ノ傍系血族ヲ采ラザル等ハ言ヲ俟タザルナリ。

〔附箋其一〕

此註一應左ナレド委シク認ルトキハ又障リヲ生ズベシ只主眼ヲ記シテ可ナラン。

第三條 大婚ノ約成リタルトキハ宮内大臣之ヲ公告ス。

(註) 天皇大婚ノ約ヲ成ス時ニ於テ勅使ヲ后氏ノ第二遣ハシ納采ノ禮ヲ行フ此禮ヲ行フタルトキハ宮内大臣之ヲ公告シテ臣民一般ニ知悉セシム。

第四條 大婚ノ約成リタルトキハ之ヲ賢所皇靈殿神殿ニ奉告シ奉幣使ヲ神宮神武天皇山陵竝先帝先后ノ山陵ニ發遣ス。

(註) 天皇納采使ヲ后氏ノ第二遣スノ當日賢所皇靈殿神殿ニ奉告ノ禮ヲ行ヒ而テ勅使ヲ神宮神

武天皇山陵、竝先帝先后ノ山陵ニ遣ハシ幣帛ヲ奉リテ納后ノ由ヲ奉告ス是レ祖宗ニ對シ大孝ヲ申フルナリ。

蓋シ繼體帝ガ大伴連ノ奏議ヲ納レテ手白香皇女ヲ立テテ皇后ト爲スニ方リ、神祇伯等ヲ遣シ神祇ヲ敬祭セシ聖蹤ヲ追ヒ、又天皇即位元服等ノ大禮ヲ行フ期日ニ先チ奉幣使ヲ神宮竝山陵ニ遣シ其由ヲ奉告スルノ典例ニ准據ス、本條ニ先后ヲ掲ゲシハ或ハ皇太后崩御ノ後ニ於テ大婚ノ禮ヲ行フコトアルヲ慮カルガ故ナリ。

第五條 大婚ノ約成リタルトキハ定例ニ照ラシ之ヲ外國ノ君主ニ通知ス。

(註) 天皇大婚ノ約ヲ成セシコトヲ外國ノ君主ニ通知スルニハ親書ヲ以テス、蓋シ友誼ヲ厚クスルニ在リ定例ニ照ラシトハ已ニ相互吉凶ヲ通知スルコトヲ約シタル國又ハ其約ヲ成ササルモ曾テ我が帝室ニ通知アリタル國ノ君主ニ對シ通知ヲ爲スヲ謂フ。

第六條 大婚ノ約成リタルトキハ外務大臣之ヲ外國代表者ニ通知ス。

(註) 帝室ノ慶事ヲ帝國駐劄ノ締盟國代表者ニ通知スルハ友邦ニ對シ修好ノ禮ヲ致スナリ。大婚ノ約成リタルトキハ皇族文武高官有爵者優遇者及外國代表者ヲ會シ慶宴ヲ行フ。

(註) 天皇大婚ノ約ヲ成シタル後宮中ニ於テ饗宴ヲ張ルハ上下慶ヲ同クスルナリ。

優遇者トハ大臣待遇親任官及勅任官待遇勳三等及從四位以上貴族院議長衆議院議長等ヲ

包含シテ謂フ。

第八條 大婚ノ禮ヲ行フ期日ハ宮内大臣之ヲ公告ス。

(註) 大婚ノ禮ハ皇室ノ大典ナルヲ以テ宮内大臣其期日ヲ公告シテ臣民ニ知悉セシム。

第九條 大婚ノ禮ヲ行フ期日定マリタルトキハ外務大臣之ヲ外國代表者ニ通知ス。

(註) 本條ノ義ハ第六條ニ同ジ。

第十條 大婚ノ禮ヲ行フ當日之ヲ賢所皇靈殿神殿ニ奉告ス。

(註) 賢所皇靈殿神殿ニ祭典ヲ修シ勅使ヲ以テ后氏ヲ迎ヘ大婚ノ禮ニ行フコトヲ奉告スルハ亦大孝ヲ申フルノ道ニシテ禮ヲ重ズルナリ。

第十一條 大婚ノ禮ハ別ニ定メタル式ニ依リ賢所大前ニ於テ之ヲ行フ。

(註) 大婚ノ禮上代ノ儀式ハ詳カナラズ中古以來立后式ニハ兼宣旨使策命使調度使等アリ入内式ニハ御書使董物使アリ、又夜御殿渡御ノ儀アリ、又三個夜餅獻供ノ儀アリ、願フニ立后ハ天地ト德ヲ合シ日月ト象ヲ同クシ宗廟ニ祇承シ萬世ニ嗣續スルノ大典ナレバ莊重ニ其禮ヲ行ハザルベカラズ、今マ賢所大前ニ於テ皇祖皇宗ニ對シ誓盟ヲ爲スヲ以テ儀式ノ骨子トシ御書使三個夜餅獻供等ヲ以テ附隨ノ儀式トス。

附箋其二

〔附箋其二〕 此別式中ヘハ神宮祭主ノ宮ヲシテ立會ハシメ神前御誓拜ノ時祝詞ノ事アリタシ。

第十二條 立后ノ詔書ハ大婚ノ當日之ヲ公布ス。

(註) 中古以來立后式ハ天皇南殿ニ出御親王公卿列立シ宣命使版位ニ就キ立后宣命ヲ讀ム訖テ策命使皇后ノ本宮ニ詣リ立后宣命ノ由ヲ啓ス皇后群臣ノ慶ヲ受ケ饗宴ヲ賜フノ儀アリ茲ニ詔書ト言フハ即チ古ノ宣命ト其意ヲ同フス。

附箋其三

〔附箋其三〕 此本宮トハ何ノ處ヲ措スヤ里亭歎迎駕式ハ何レノ日歟此邊禮服如何又神拜式祭服等將來ヘ對スル大決斷事件アリト考フ。

第十三條 大婚ノ禮訖リタルトキハ天皇皇后ト共ニ皇靈殿神殿ニ謁謝ス。

(註) 皇靈殿神殿ニ親謁シテ大婚ノ成ルヲ告ゲ恩ヲ謝スルナリ。

第十四條 大婚ノ禮訖リタルトキハ天皇皇后ト共ニ太皇太后皇太后ニ謁謝ス。

(註) 太皇太后皇太后ニ請謁シテ大婚ノ成ルヲ告ゲ恩ヲ謝ス蓋シ天皇即位元服等ノ大禮ヲ行フタル後法駕ヲ備ヘ太后ニ朝覲スルノ典例ニ准據ス。

第十五條 大婚ノ禮訖リタルトキハ天皇皇后ト共ニ皇族文武高官有爵者優遇者及外國代表者ヲ會シ慶宴ヲ行フ。

(註) 立后ノ節會ニハ管絃ノ御遊アリテ其日ヨリ三日間饗宴ヲ行ヒ且祿物ヲ賜フハ中古以來ノ典例ナリ今マ此ニ據ル。

第十六條 大婚ノ禮ヲ行ヒタルトキハ天皇皇后ト共ニ神宮神武天皇山陵竝先帝先后ノ山陵ニ謁謝ス。

(註) 中古以來立后ノ後ニ於テ皇后宮使ヲ發遣シテ八社奉幣ノ儀アリ(八社トハ石清水賀茂松尾平野稻荷春日大原野吉田是ナリ)又勅使ヲ先帝山陵ニ遣シ幣帛ヲ奉リテ立后ヲ告グルコト有リ今マ此典例ヲ參酌ス蓋シ親謁シテ大婚ノ成ルヲ告ゲ恩ヲ謝シ禮ヲ盡クスナリ。

本條ニ先后ヲ掲ゲシハ第四條ト其義ヲ同フス。

附箋其四

〔附箋其四〕 此條殊ニ美事。

附箋其五

〔附箋其五〕 此註ハ只典故ヲ云フ迄ノ事ナレバヨロシモシ賀茂等へ奉幣アルコトナラバ彼賀茂ニ同ジキ其當國ノ一ノ宮武藏ナレバ氷川へモ其式アルベキコトナリ。

第十七條 大婚ノ禮ヲ行ヒタルトキハ定例ニ照ラシ之ヲ外國ノ君主ニ通知ス。

(註) 本條ノ義ハ第五條ト同ジ。

第十八條 立后ノ詔書公布セラレタルトキハ圖書頭其事項ヲ皇統譜ニ登録ス。

大婚ニ關スル記録ハ圖書寮ニ於テ之ヲ尙藏ス。

(註) 立后ノ詔書公布ノ後圖書頭ハ別ニ定メタル規程ニ依リ皇后ノ御名誕生入宮年月及其父母ノ名等ヲ皇統譜ニ登録ス且大婚ニ關スル記録ハ重要ノ典籍タルヲ以テ圖書寮ニ保存セシム。

ム。

第十九條 諒闇中ハ大婚ノ禮ヲ行ハズ。

(註) 天皇諒闇中ニ立后ノ禮ヲ行ヒシ先例罕ニ之レ有リト雖後世遵由スベキノ制ニ非ラズ因テ本條ヲ規定ス。

諒闇トハ皇考皇妣皇祖父皇祖母喪ニ居ルヲ謂フ。

第二章 皇族婚嫁

第二十條 皇族婚嫁ノ勅許ヲ奏請スルハ其約ヲ成ス前ニ於テスベシ。

(註) 皇室典範第四十條ニハ皇族ノ婚嫁ハ勅許ニ由ルト大綱ヲ掲グ茲ニ其勅許ヲ奏請スルノ順序ヲ示ス。

第二十一條 未成年ノ皇族婚嫁ヲ成スニハ其父母ノ同意アルコトヲ要ス。

婚嫁ヲ成サムトスル皇族ニ後見人アルトキハ其同意アルコトヲ要ス。

(註) 本條ハ未成年ノ時ニ於ケル婚嫁ノ事ヲ規定ス成年以上ノ婚嫁ハ孝道ニ由リ父母ニ啓告シテ其同意ヲ求ムルモノト爲ス。

第二十二條 皇太子皇太孫親王王結婚ノ禮ハ別ニ定メタル式ニ依リ賢所大前ニ於テ之ヲ行フ。

皇室婚嫁令草案

〔附箋其六〕 此式十一條ニ述タルガ如シ。

(註) 大婚ノ禮ハ賢所大前ニ於テ之ヲ行フヲ以テ儀式ノ骨子ト爲ス因テ皇太子皇太孫親王王ノ婚姻式モ亦之ニ倣フ。

第二十三條 皇太子皇太孫ノ結婚ニハ第三條第四條第五條第六條第七條第八條第九條第十條第十三條第十五條第十六條第十七條ノ規定ヲ准用ス。

(註) 皇太子皇太孫ハ皇位ヲ繼承シ妃ハ后位ニ陞ルノ位置ニ在ルヲ以テ其婚姻式ニハ大婚式ニ關スル各條ヲ准用シ儀式ヲ莊重ニス古例モ亦然ルニ由ル。

第二十四條 親王王ノ結婚ニハ第八條第十三條第十七條ノ規定ヲ准用ス。

(註) 親王、王ノ婚姻式ハ皇太子皇太孫ニ亞クヲ以テ悉ク大婚式ニ關スル各條ヲ准用セズ。

第二十五條 皇族ノ婚嫁ハ其當日宮内大臣之ヲ公告ス。

(註) 本條ハ皇族婚嫁公告ノ期ヲ指定ス。

第二十六條 皇太子皇太孫親王王結婚ノ禮訖リタルトキハ妃ト共ニ天皇皇后太皇太后皇太后ニ謁謝ス。

(註) 皇太子皇太孫親王王婚姻ノ禮訖レバ先ヅ天皇皇后ニ朝覲シ婚姻ノ成ルヲ告ゲ恩ヲ謝ス太皇太后皇太后ニ對スルモ亦同ジ。

第二十七條 皇族ノ婚嫁ハ男子滿十七年以上女子滿十五年以上ニ達スルニ非ラザレバ之ヲ成スコトヲ得ズ。

(註) 本條ノ義ハ第一條第二條ニ同ジ。

第二十八條 皇族ノ婚嫁ハ直系親族又ハ三親等内ノ傍系血族ノ間ニ之ヲ成スコトヲ得ズ。

(註) 直系親族トハ獨リ直系血族ノミナラズ直系姻族モ亦之ヲ含ム本條ハ直系ノ血族三親等内ノ傍系血族及直系姻族ノ間ニ相婚嫁スルコトヲ禁ズルナリ。

本條ハ其大綱ヲ掲ゲ民法ノ如ク規定ヲ精微ニセズ蓋シ是レ皇族ノ婚嫁ハ至尊直接ノ監督ノ下ニ行ハレ毎事必ズシモ法規ノ指定ヲ須タザレバナリ。

第二十九條 皇族ノ婚嫁諒闇中及皇族直系尊屬ノ喪中之ヲ成スコトヲ得ズ。

(註) 皇族ノ婚嫁ハ諒闇中及皇族直系尊屬ノ喪中之ヲ成スコトヲ禁ズルナリ。皇族直系尊屬ノ喪中トハ其父母祖父母ノ喪ニ居ルヲ謂フ。

第三十條 皇族ノ婚嫁皇室典範第三十九條第四十條ニ違フトキハ無効トス。

(註) 皇室典範第三十九條第四十條ノ規定ニ違フテ婚嫁ヲ成ストキハ不法ノ婚嫁タルヲ以テ無効ト爲スナリ。

第三十一條 皇族ノ離嫁ハ勅許ヲ經ルコトヲ要ス之ニ違フトキハ無効トス。

(註) 勅許ヲ經ザル離婚ハ不法タルヲ以テ無効ト爲ス蓋シ皇族ノ榮譽ヲ保タシメムトスルナリ。

第三十二條 未成年ノ皇族離婚ヲ成ストキハ第二十一條ノ規定ヲ准用ス但重大ノ事由アルトキハ此限ニ非ラズ。

(註) 未成年ノ皇族離婚スルトキハ其父母若クハ後見人ノ同意アルヲ要スト雖、離婚ノ事由皇族ノ榮譽ニ關スルトキハ其父母若クハ後見人ノ同意ナキモ直ニ勅許ヲ奏請スルコトヲ得ルナリ。

成年以上ノ皇族離婚スル時ニ於テ父母ノ同意ヲ求ムルハ孝道ニ由テ之ヲ爲ス仍ホ第二十一條ノ例ノ如シ。

第三十三條 皇族ノ婚嫁ニ關スル事項ハ圖書頭之ヲ皇統譜ニ登録ス。

(註) 本條ハ名籍ヲ加除スルヲ謂フ。

修正

皇室婚嫁令草案

第一章 大 婚

第一條 大婚ノ禮ハ天皇滿十七年ニ達シタル後ニ於テ之ヲ行フ。

(註) 大婚ハ天皇滿十七年ニ達シタル後ニ於テ之ヲ成スモノトス、婚姻ノ年齒ヲ民法ノ規定ト同フセシハ特ニ其軌ヲ異ニスルノ必要ヲ認メザルニ由ル。

中古以來大婚ト立后ヲ區別シ已ニ大婚ノ禮ヲ行フモ仍ホ皇后ノ尊號ヲ加ヘザルノ例多シ今マ立后ハ即チ大婚ナリトノ主旨ヲ取ル蓋シ上代ノ制ニ基クナリ。

第二條 天皇皇后ヲ立ツルハ皇族又ハ特ニ定メタル華族ノ女子滿十五年以上ノ者ニ限ル。

(註) 上代天皇ノ婚姻ハ對等種族ニ於テ之ヲ成スノ例ニシテ、神武帝が大國主大神ノ子事代主命ノ大女媛踏躡五十鈴媛命ヲ立テ皇后ト爲シ綏靖安寧二帝ガ仍ホ事代主命ノ神裔ヲ納ル、ガ如キ是ナリ。而テ懿德帝ガ皇親息石耳命ノ女天豐津媛命ヲ納レテ皇后ト爲セシヨリ爾來之ヲ皇親ニ捧フ、降リテ聖武帝ニ至リ夫人藤原安宿媛ヲ立テ皇后ト爲ス是ヲ臣籍ノ女子ヲ

采ルノ始メトス今マ此等ノ前蹤ニ由リ皇族又ハ特ニ定メタル華族ト規定ス。

特ニ定メタル華族トハ別ニ定ムル所ノ標準ニ依リ華胄ノ女子ヲ采捧スルヲ謂フ。

女子滿十五年以上トセシハ其義第一條ニ同ジ。

天皇ハ孝敬ヲ純ラニシ大婚ノ約ヲ成スノ前ニ於テ太皇太后皇太后ニ啓告シテ其同意ヲ求

メ又彝倫ヲ重ンジ直系親族及三親等内ノ傍系血族ヲ采ラザル等ハ言ヲ俟タザルナリ。

第四條

大婚ノ約成リタルトキハ宮内大臣之ヲ公告ス。

(註) 天皇大婚ノ約ヲ成ス時ニ於テ勅使ヲ后氏ノ第二遣ハシ納采ノ禮ヲ行フ此禮ヲ行フタルト

キハ宮内大臣之ヲ公告シテ臣民一般ニ知悉セシム。

第三條

大婚ノ約成リタルトキハ之ヲ賢所皇靈殿神殿ニ奉告シ奉幣使ヲ神宮神武天皇山陵竝先帝先

后ノ山陵ニ發遣ス。

(註) 天皇納采使ヲ后氏ノ第二遣スノ當日賢所皇靈殿神殿ニ奉告ノ禮ヲ行ヒ而テ勅使ヲ神宮神

武天皇山陵竝先帝先后ノ山陵ニ遣ハシ幣帛ヲ奉リテ納后ノ由ヲ奉告ス是レ祖宗ニ對シ大孝

ヲ申ブルナリ。

蓋シ繼體帝ガ大伴連ノ奏議ヲ納レテ手白香皇女ヲ立テ皇后ト爲スニ方リ神祇伯等ヲ遣

シ神祇ヲ敬祭セシ聖蹤ヲ追ヒ又天皇即位元服等ノ大禮ヲ行フ期日ニ先チ奉幣使ヲ神宮竝山

陵ニ遣シ其由ヲ奉告スルノ典例ニ准據ス。

本條ニ先后ヲ掲ゲシハ或ハ皇太后崩御ノ後ニ於テ大婚ノ禮ヲ行フコトアルヲ慮カルガ故

ナリ。

(註) 天皇大婚ノ約ヲ成セシコトヲ外國ノ君主ニ通知スルニハ親書ヲ以テス、蓋シ友誼ヲ厚ク

スルニ在リ。

定例ニ照ラシトハ己ニ相互吉凶ヲ通知スルコトヲ約シタル國又ハ其約ヲ成ササルモ曾テ

我が帝室ニ通知アリタル國ノ君主ニ對シ通知ヲ爲スヲ謂フ。

(註) 帝室ノ慶事ヲ帝國駐節縮盟國代表者ニ通知スルハ友邦ニ對シ修好ノ禮ヲ致スナリ。

(註) 天皇大婚ノ約ヲ成シタル後宮中ニ於テ饗宴ヲ張ルハ上下慶ヲ同クスルナリ。

優遇者トハ大臣待遇親任官及勅任官待遇勳三等及從四位以上貴族院議長衆議院議長等ヲ

包含シテ謂フ。

第五條

大婚ノ禮ヲ行フ期日ハ宮内大臣之ヲ公告ス。

(註) 大婚ノ禮ハ帝室ノ大典ナルヲ以テ宮内大臣其期日ヲ公告シテ臣民ニ知悉セシム。

(註) 本條ノ義ハ第六條ニ同ジ。

第六條

大婚ノ禮ヲ行フ當日之ヲ賢所皇靈殿神殿ニ奉告ス。

(註) 賢所皇靈殿神殿ニ祭典ヲ修シ勅使ヲ以テ后氏ヲ迎ヘ大婚ノ禮ヲ行フコトヲ奉告スルハ亦大孝ヲ申フルノ道ニシテ禮ヲ重ズルナリ。

第七條 大婚ノ禮ハ別ニ定メタル式ニ依リ賢所大前ニ於テ之ヲ行フ。

(註) 大婚ノ禮上代ノ儀式ハ詳カナラズ中古以來立后式ニハ兼宣旨使策命使調度使等アリ入内式ニハ御書使董物使アリ又夜御殿渡御ノ儀アリ又三個夜餅獻供ノ儀アリ顧フニ立后ハ天地ト德ヲ合シ日月ト象ヲ同クシ宗廟ニ祗承シ萬世ニ嗣繼スルノ大典ナレバ莊重ニ其禮ヲ行ハザルベカラズ今ニ賢所大前ニ於テ皇祖皇宗ニ對シ誓盟ヲ爲スヲ以テ儀式ノ骨子トシ御書使三個夜餅獻供等ヲ以テ附隨ノ儀式トス。

第八條 立后ノ詔書ハ大婚ノ當日之ヲ公布ス。

(註) 中古以來立后式ハ天皇南殿ニ出御親王公卿列立シ宣命使版位ニ就キ立后宣命ヲ讀ム訖テ策命使皇后ノ本宮ニ詣リ立后宣命ノ由ヲ啓ス皇后群臣ノ慶ヲ受ケ饗宴ヲ賜フノ義アリ茲ニ詔書ト言フハ即チ古ノ宣命ト其意ヲ同フス。

第九條 大婚ノ禮訖リタルトキハ天皇皇后ト共ニ皇靈殿神殿ニ謁謝ス。

(註) 皇靈殿神殿ニ親謁シテ大婚ノ成ルヲ告ゲ恩ヲ謝スルナリ。

第十條 大婚ノ禮訖リタルトキハ天皇皇后ト共ニ太皇太后皇太后ニ謁謝ス。

(註) 太皇太后皇太后ニ親謁シテ大婚ノ成ルヲ告ゲ恩ヲ謝ス蓋シ天皇即位元服等ノ大禮ヲ行フタル後法駕ヲ備ヘ太皇ニ朝覲スルノ典例ニ准據ス。

第十一條 大婚ノ禮訖リタルトキハ天皇皇后ト共ニ皇族文武高官有爵者優遇者及外國代表者ヲ會シ慶宴ヲ行フ。

(註) 立后ノ節會ニハ管絃ノ御遊アリテ其日ヨリ三日間饗宴ヲ行ヒ且祿物ヲ賜フハ中古以來ノ典例ナリ今マ此ニ據ル。

第十二條 大婚ノ禮ヲ行ヒタルトキハ天皇皇后ト共ニ神宮神武天皇山陵竝先帝先后ノ山陵ニ謁謝ス。

(註) 中古以來立后ノ後ニ於テ皇后宮使ヲ發遣シテ八社奉幣ノ義アリ(八社トハ石清水賀茂松尾平野稻荷春日大原野吉田是ナリ)又勅使ヲ先帝山陵ニ遣シ幣帛ヲ奉リテ立后ヲ告グルコト有リ今マ此典例ヲ參酌ス蓋シ親謁シテ大婚ノ成ルヲ告ゲ恩ヲ謝シ禮ヲ盡クスナリ本條ニ先后ヲ掲ゲシハ第四條ト其義ヲ同フス。

第十七條 (註) 本條ノ義ハ第五條ト同ジ。

第十八條 立后ノ詔書公布セラレタルトキハ圖書頭其事項ヲ皇統譜ニ登錄ス。

大婚ニ關スル記錄ハ圖書寮ニ於テ之ヲ尙藏ス。

(註) 立后ノ詔書公布ノ後圖書頭ハ別ニ定メタル規程ニ依リ皇后ノ御名誕生入宮年月及其父母ノ名等ヲ皇統譜ニ登録ス且大婚ニ關スル記録ハ重要ノ典籍タルヲ以テ圖書寮ニ保存セシム。

第十四條 諒闇中ハ大婚ノ禮ヲ行ハズ。

(註) 天皇諒闇中ニ立后ノ禮ヲ行ヒシ先例罕ニ之レ有リト雖後世遵由スベキノ制ニ非ラズ因テ本條ヲ規定ス。

諒闇トハ皇考皇妣皇祖父皇祖母ノ喪ニ居ルヲ謂フ。

第一章 皇族婚嫁

第十五條 皇族婚嫁ノ勅許ヲ奏請スルハ其約ヲ成ス前ニ於テスベシ。

(註) 皇室典範第四十條ニハ皇族ノ婚嫁ハ勅許ニ由ルト大綱ヲ掲グ茲ニ其勅許ヲ奏請スルノ順序ヲ示ス。

第十六條 未成年ノ皇族婚嫁ヲ成スニハ其父母ノ同意アルコトヲ要ス。

婚嫁ヲ成サトスル皇族ニ後見人アルトキハ其同意アルコトヲ要ス。

(註) 本條ハ未成年ノ時ニ於ケル婚嫁ノ事ヲ規定ス成年以上ノ婚嫁ハ孝道ニ由リ父母ニ啓告シ

第十七條 皇太子皇太孫親王ヲ結婚ノ禮ハ別ニ定メタル式ニ依リ賢所大前ニ於テ之ヲ行フ。

(註) 大婚ノ禮ハ賢所大前ニ於テ之ヲ行フヲ以テ儀式ノ骨子ト爲ス因テ皇太子皇太孫親王ノ婚姻式モ亦之ニ倣フ。

第十八條 皇太子皇太孫ノ結婚ニハ第三條第四條第五條第六條第七條第八條第九條第十條第十一條第十二條第十三條第十四條第十五條第十六條第十七條ノ規定ヲ准用ス。

(註) 皇太子皇太孫ハ皇位ヲ繼承シ妃ハ后位ニ陞ルノ位置ニ在ルヲ以テ其婚姻式ニハ大婚式ニ關スル各條ヲ准用シ義式ヲ莊重ニス古例モ亦然ルニ由ル。

第十九條 親王親王ノ結婚ニハ第八條第九條第十條第十一條第十二條ノ規定ヲ准用ス。

(註) 親王親王ノ婚姻式ハ皇太子皇太孫ニ亞クヲ以テ悉ク大婚式ニ關スル各條ヲ准用セズ。

第二十條 皇族ノ婚嫁ハ其當日宮内大臣之ヲ公告ス。

(註) 本條ハ皇族婚嫁公告ノ期ヲ指定ス。

第二十一條 皇太子皇太孫親王ヲ結婚ノ禮訖リタルトキハ妃ト共ニ天皇皇后太皇太后皇后ニ謁謝ス。

(註) 皇太子皇太孫親王ヲ婚姻ノ禮訖レハ先ヅ天皇皇后ニ朝覲シ婚姻ノ成ルヲ告ゲ恩ヲ謝ス太

皇太后皇太后ニ對スルモ亦同ジ。

第二十四條^二 皇族ノ婚嫁ハ男子滿十七年以上女子滿十五年以上ニ達スルニ非ラザレバ之ヲ成スコトヲ得ズ。

(註) 本條ノ義ハ第一條第二條ニ同ジ。

第二十八條^三 皇族ノ婚嫁ハ直系親族又ハ三親等内ノ傍系血族ノ間ニ之ヲ成スコトヲ得ズ。

(註) 直系親族トハ獨リ直系血族ノミナラズ直系姻族モ亦之ヲ含ム本條ハ直系ノ血族三親等内ノ傍系血族及直系姻族ノ間ニ相婚嫁スルコトヲ禁ズルナリ。

本條ハ其大綱ヲ掲ゲ民法ノ如ク規定ヲ精微ニセズ蓋シ是レ皇族ノ婚嫁ハ至尊直接ノ監督ノ下ニ行ハレ毎事必ズシモ法規ノ指定ヲ須タザレバナリ。

第二十九條^四 皇族ノ婚嫁諒闇中及皇族直系尊屬ノ喪中之ヲ成スコトヲ得ズ。

(註) 皇族ノ婚嫁ハ諒闇中及皇族直系尊屬ノ喪中之ヲ成スコトヲ禁ズルナリ。

皇族直系尊屬ノ喪中トハ其父母祖父母ノ喪ニ居ルヲ謂フ。

第三十條^五 皇族ノ婚嫁皇室典範第三十九條第四十條ニ違フトキハ無効トス。

(註) 皇室典範第三十九條第四十條ノ規定ニ違フテ婚嫁ヲ成スコトキハ不法ノ婚嫁タルヲ以テ無効ト爲スナリ。

第三十一條^六 皇族ノ離婚ハ勅許ヲ經ルコトヲ要ス之ニ違フトキハ無効トス。

(註) 勅許ヲ經ザル離婚ハ不法タルヲ以テ無効ト爲ス蓋シ皇族ノ榮譽ヲ保タシメムトスルナリ。

第三十二條^七 未成年ノ皇族離婚ヲ成スコトキハ^{十六}第三十二條ノ規定ヲ准用ス但重大ノ事由アルトキハ此限ニ非ラズ。

(註) 未成年ノ皇族離婚スルトキハ其父母若クハ後見人ノ同意アルヲ要スト雖離婚ノ事由皇族ノ榮譽ニ關スルトキハ其父母若クハ後見人ノ同意ナキモ直ニ勅許ヲ奏請スルコトヲ得ルナリ。

成年以上ノ皇族離婚スル時ニ於テ父母ノ同意ヲ求ムルハ孝道ニ由テ之ヲ爲ス仍ホ第二十一條ノ例ノ如シ。

第三十三條^八 皇族ノ婚嫁ニ關スル事項ハ圖書頭之ヲ皇統譜ニ登録ス。

(註) 本條ハ名籍ヲ加除スルヲ謂フ。

皇室婚嫁令義解

第一章 大 婚

第一條 大婚ノ禮ハ天皇滿十七年ニ達シタル後ニ於テ之ヲ行フ。

恭テ按ズルニ大婚ハ立后ヲ謂フ〔蓋天皇ノ婚ハ必ス立后ヲ待テ成ル〕其ノ禮至重、〔名〕坤位ニ正シ、範ヲ

萬禩ニ垂ルル所以ナリ。惟フニ皇室典範第十三條、天皇及皇嗣ノ成年ヲ定メテ、滿十八年トシ、

民法上ノ成年ニ先ツコト凡二年、斯レ神器ノ繫ル所通法ヲ以テ之ヲ拘定スベカラザルガ故ナリ。

婚姻ノ年紀ニ至テハ固ヨリ、上下同軌ナルヲ妨グズ故ニ民法ト其ノ規定ヲ一ニス。

第二條 天皇皇后ヲ立ツルハ皇族又ハ特ニ定ムル華族ノ女子滿十五年以上ノ者ニ限ル。

恭テ按ズルニ神武帝橿原宮ニ御シ、改メテ廣ク配ヲ華胄ニ求ム、其ノ立ツル所ノ皇后媛〔シタ、ライス、ビ〕

鈴媛命ハ事代主神ノ女ニシテ、素戔鳴尊ノ裔タリ族ヲ以テ論ズレバ正ニ對等ニ居リ誼ヲ以テ論ズ

レバ仍ホ皇親ニ屬ス、爾來多ク之ヲ皇親ニ捧グ、而シテ巨籍ノ女子ヲ采ルハ聖武帝藤原不比等ノ

女安宿媛ヲ立テ、皇后ト爲スニ肪スル中古以來、立后ノ選多ク此ノ例ニ沿ルト雖實ニ槐門ノ外ニ

出デズ今皇族ノ外特定ノ華族ニ限ルハ、此ノ前蹤ヲ斟酌スルニ因ル、但シ〔皇族ト曰クト雖〕直系親

族及三親等内ノ傍系血族ト相涉ラザルハ、固ヨリ言ヲ待タズ、若シ夫レ女子ノ年齒ヲ滿十五年以上トシタルハ其ノ義第一條ニ同ジケレバナリ。

第三條 大婚ノ約ヲ成ストキハ之ヲ賢所皇靈殿神殿ニ奉告シ奉幣使ヲ神宮神武天皇山陵竝先帝先后ノ山陵ニ發遣ス。

恭テ按ズルニ婚姻ハ必ズ兩者ノ合意ニ成ル、〔祝ヤ大婚ヲヤ〕故ニ大婚ノ約ヲ成スト謂フ、古事記、

天津日高日子番能邇々藝能命、木花之佐久夜媛ヲ求ムルノ條ニ「〔アレイマシマフヘヒ〕吾汝ニ目合セムトオモフハ如何

ニト詔タマヘバ吾ハ得白サジ、吾ガ父大山津見神ニ白サムトマラシタマヒキ、故其ノ父大山津見

神ニ乞ニ遣ハシケルトキニ大ク歡喜テ云々」トアリ、是レ太古ニ在テモ亦必ズ女家ノ同意ヲ要セ

シヲ見ルナリ、玆ニ其ノ約ヲ成スニ際シ必ズ之ヲ賢所皇靈殿神殿ニ奉告シ、併セテ奉幣使ヲ五十

鈴宮畝傍東北陵及皇考妣ノ山陵ニ發遣スルノ條規ヲ定メタルハ神祇ヲ崇奉シ祖宗ニ敬事スル列聖

ノ遺法ニ基キ大孝ヲ申ヘ大禮ヲ重ムル所以ナリ、在昔天皇即位元服等ノ大禮ヲ行フニ方リ、其

ノ期日ニ先チ奉幣使を神宮山陵ニ遣ハシ其ノ由ヲ奉告スルノ典例アリ今此ニ準據ス若シ太皇太后

皇太后猶ホ在ストキハ、天皇ハ自カラ當サニ成約ノ前ニ於テ親シク啓告シテ其ノ元諾ヲ求ムル所

アルベシ、此等ハ固ヨリ條文ノ規定ヲ待テ後之ヲ知ルモノニ非ザルナリ。

第四條 大婚ノ約成リタルトキハ宮内大臣之ヲ公告ス。

恭テ按スルニ大婚ノ慶事ハ臣民ノ仰瞻スル所、故ニ其ノ約甫メテ成リテ、宮内大臣直ニ之ヲ公告ス。

本例ニ掲ケス。

第五條 大婚ノ禮ヲ行フ期日ハ宮内大臣之ヲ公告ス。

恭テ按スルニ大婚ハ皇室ノ大典ナリ故ニ期日定スルニ及ムテ仍ホ宮内大臣ノ公告ヲ要ス其ノ義總テ前條ニ同シ。

第六條 大婚ノ禮ヲ行フ當日之ヲ賢所皇靈殿神殿ニ奉告ス。

恭テ按スルニ奉告ノ典第三條ニ在テハ成約ヲ告ケ本條ニ在テハ立后ヲ告ク竝ニ禮ニ於テ其ノ儀ヲ鄭重ニスル所以ナリ。

第七條 大婚ノ禮ハ別ニ定メタル式ニ依リ賢所大前ニ於テ之ヲ行フ。

恭テ按スルニ大婚ノ禮上古ハ邈焉タリ中世以來立后式ニハ宣命使、兼宣旨使、策命使、調度使等アリ、入内式ニハ御書使、薰物使アリ、又夜御殿渡御ノ儀アリ又三個夜餅献供ノ儀アリ禮ニ於テ未タ備ハラストセス願フニ大婚ハ天地ト德ヲ合シ日月ト象ヲ配シ宗廟ニ祗承シ萬世ニ似續スルノ大典タリ最モ莊重ニ其ノ禮ヲ行ハサルヘカラス、今賢所大前ニ於テ皇祖皇宗ニ對シ誓盟ヲ爲スヲ以テ大禮ノ主要トシ仍ホ本朝ノ典故ヲ酌存シテ附隨ノ儀注トス中興ノ大禮ヲ制定スルニ於テ庶ク

ハ遺憾ナケム。

第八條 立后ノ詔書ハ大婚ノ禮ヲ行フ當日之ヲ公布ス。

恭テ按スルニ大婚ノ當日已ニ神明ニ虔告シ、又其ノ禮ヲ賢所大前ニ行フ則チ以テ中外ニ宣示スル所ナカルヘカラス故ニ次クニ立后詔書ノ公布ヲ以テス、即チ皇室典範第十六條ノ明文ニ遵フナリ、立后ノ詔書ハ古之ヲ宣命ト稱ス聖武天皇紀ニ所謂ル「皇朕御身モ年月積ミヌ天下君坐テ年諸長ク皇后坐サヌ事モ、一ツノ善ヲ行ニ在リ、又天下ノ政ニ於キテモ、獨知ルヘキモノニアラス必スモ後ヘノ政アルヘシ、此ハ事立ツニアラス天ニ日月アルゴト、地ニ山川アルゴト、竝ヒ在テアルヘシ」云々ハ此ノ宣命ノ始テ史ニ見スルモノナリ中世ノ儀注、時ニ因革アリト雖大抵天皇南殿ニ出御親王公卿列立シ宣命使版位ニ就キ立后宣命ヲ讀ム、訖テ策命使皇后ノ本宮ニ詣リ立后宣命ノ由ヲ啓ス皇后群臣ノ慶ヲ受ケ饗宴ヲ賜フノ儀アリ、今必スシモ盡ク之ニ循ハス。

第九條 大婚ノ禮訖リタルトキハ天皇皇后ト共ニ皇靈殿神殿ニ謁ス。

恭テ按スルニ天皇皇后ト共ニ皇靈殿ニ謁スルハ蓋此ノ時ヲ以テ始メトス故ニ特ニ之ヲ掲ク即チ克敬ノ道ヲ盡クス所以ニシテ夙夜祁々ノ意ヲ昭カニセムトナリ。

第十條 大婚ノ禮訖リタルトキハ天皇皇后ト共ニ太皇太后皇太后ニ謁ス。

恭テ按スルニ此ノ條亦怡謹盡孝ノ意ヲ昭カニ皇后ニ在テハ則チ躬尊屬ノ起居ヲ承ケ其ノ意ニ順適

スルノ始メタルナリ在昔天皇即位元服等ノ大禮ヲ行ヒタル後、法駕ヲ傳ヘテ太后ニ朝覲スルノ制アリ、今其ノ意ヲ酌衷ス。

第十一條 大婚ノ禮訖リタルトキハ天皇皇后ト共ニ皇族文武高等官有爵者優遇者及外國代表者ヲ會シ饗宴ヲ賜フ。

恭テ按ズルニ在昔立后ノ節會ニハ管絃ノ御游アリ其ノ日ヨリ三日間皇后ノ本宮ニ於テ饗宴ヲ賜ヒ且祿物ヲ頒ツ茲ニ其ノ精神ニ基キ上下慶ヲ同クシ中外樂ヲ與ニスルノ制ヲ設ク、凡ソ此ノ種ノ宴讌ハ大婚約成ルノ時ニ於テモ、亦之ヲ行ハル、コトアルベシ、今條規ニ掲ゲザルハ著シテ成典トスルノ必要ヲ見ザレバナリ此ノ條ニ所謂ル皇族ハ親王王及其ノ妃内親王女王ヲ包含シ、文武高官以下ハ各其ノ夫人ヲ包含ス又所謂ル優遇者トハ一般皇室ノ禮待ヲ受クル者ヲ指稱ス、大勳位、大臣待遇親任官及勅任官待遇其ノ他高勳高位者、勳一以下勳三等以上從一位以下從四位以上 貴衆兩院議長等ノ類亦皆此ノ中ニ在リ。

第十二條 大婚ノ禮ヲ行ヒタルトキハ天皇皇后ト共ニ神宮神武天皇山陵竝先帝先后ノ山陵ニ謁ス。

恭テ按ズルニ大婚ノ約ヲ成スニ方リ已ニ奉幣使發遣ノ事アリ、今其ノ禮行ハレタルニ際シ特ニ本條ノ規定アルハ第三條ト終始ヲ相爲ス所以ナリ中世ニ在テハ立后ノ後ニ於テ皇后宮使ヲ發遣シ石清水、賀茂、松尾、平野、稻荷、春日、大原町、吉田ノ八社ニ奉幣ノ儀アリ、又勅使ヲ先帝山陵

ニ遣ハシ幣帛ヲ奉リテ立后ヲ告グルノ例アリ茲ニ必ズ親巡展謁ノ事ヲ規定スルハ兩聖俱ニ身ヲ以テ禮ヲ率キムトナリ。

第十三條 立后ノ詔書公布セラレタルトキハ圖書頭其ノ事項ヲ皇統譜ニ登錄ス。

大婚ニ關スル記録ハ圖書寮ニ於テ之ヲ尙藏ス。

恭テ按ズルニ立后ノ詔書公布ノ後、圖書頭ハ須ラク皇后ノ御名、誕生入宮ノ年月及其ノ父母ノ氏名等ヲ按ジ之ヲ皇統譜ニ登錄スベシ但シ其ノ登錄ノ規程ハ別ニ定ムル所ニ據リ此ニ縷折セズ、大婚ニ關スル記録ニ至テハ詢ニ皇室重要ノ典籍ニ屬ス故ニ圖書寮ヲシテ之ヲ保存セシムルナリ。

第十四條 諒闇中ハ大婚ノ禮ヲ行ハズ。

恭テ按ズルニ諒闇ハ天皇皇考皇妣皇祖父皇祖母ノ喪ニ居ルヲ謂フ在昔諒闇中ニ立后ノ禮ヲ行ヒシ先例罕ニ之レアリト雖、後世遵由スベキノ制ニ非ズ、因テ本條ヲ規定ス。

第一章 皇族婚嫁

第十五條 皇族婚嫁ノ勅許ハ其ノ約ヲ成ス前ニ於テ之ヲ奏請スベシ。

恭テ按ズルニ皇族ハ至尊監督ノ下ニ在リ、故ニ皇室典範第四十條其ノ婚嫁ヲ定メテ必ズ勅許ニ由ルモノトス既ニ勅許ニ由ル則チ其ノ名准ヲ請フハ應サニ必ズ成約ノ前ニ在ルベキナリ茲ニ其ノ順

削

序ヲ示明ス。

第十六條 未成年ノ皇族婚嫁ヲ成スニハ其ノ父母ノ同意アルコトヲ要ス。

婚嫁ヲ成サムトスル皇族ニ後見人アルトキハ其ノ同意アルコトヲ要ス。

恭テ按ズルニ凡テ婚姻ハ道義上自然ノ通則ニ於テ家ニ在ル父母ノ同意ヲ得ルモノトス今特ニ未成年ノ皇族ノ爲メニ之ヲ本條ニ明掲スルハ蓋意思未ダ定マラザルノ時ニ在テハ其ノ或ハ濫ニ渉ル無キヲ保セザルヲ慮ルノミ。

第十七條 皇太子皇太孫親王王結婚ノ禮ハ別ニ定メタル式ニ依リ賢所大前ニ於テ之ヲ行フ。

恭テ按ズルニ本條ヨリ起テ第二十條ニ至ルノ各項ハ專ラ皇太子皇太孫親王ノ爲メニ設クル特例ニ屬ス蓋皇太子皇太孫ハ國儲ノ重キニ繋リ親王王モ亦皇位繼承ノ順序ニ依リテ皇阡ヲ踐ムコトヲ得ル者アルガ故ナリ、但シ本條ハ第七條ト其ノ禮ヲ同ウスルニ拘ラズ、大禮ノ主要タルヲ以テ特ニ之ヲ昭示ス。

第十八條 皇太子皇太孫親王王結婚ノ禮訖リタルトキハ妃ト共ニ天皇皇后太皇太后皇太后ニ朝見ス。

恭テ按ズルニ此ノ條亦本ト第十條ノ義ニ外ナラズ但シ皇儲以下ニ在テハ須ラク先ヅ天皇皇后ニ朝見スベキヲ以テ特ニ之ヲ別掲スルノ必要アルナリ。

第十九條 皇太子皇太孫ノ結婚ニハ第三條第四條第五條第六條第九條第十條第十二條ノ規定ヲ准用ス。

恭テ按ズルニ皇太子皇太孫既ニ明雨ノ象ニ膺リ其ノ妃モ亦皇后ニ陞ルノ位ニ在ルヲ以テ結婚ノ式ハ宜シク大婚ト其ノ豐盛ヲ媿フベシ故ニ各條ヲ准用シ儀用ヲ莊重ニス諸ヲ古例ニ稽フルニ僉ナ然ラザルハ無キナリ。

第二十條 親王王ノ結婚ニハ第五條第九條ノ規定ヲ准用ス恭テ按ズルニ親王王ハ宗潢ノ貴ト雖固ヨリ常ニ儲貳ニ副フ者ニ非ズ禮ニ於テ宜シク殺降スル所アルベシ故ニ大禮ノ主要ヲ除ク外、大婚ノ規定ヲ准用スルハ本條揚グル所ノ二項ニ止ル。

第二十一條 皇族ノ婚嫁ハ其ノ當日宮内大臣之ヲ公告ス。

恭テ按ズルニ大婚ノ公布ハ立后ノ詔書ニ由ル、皇嗣以下ニ在テハ則チ宮内大臣ノ公告ヲ要ス此レ亦皇室典範第三十三條ノ明文ニ遵フナリ。

第二十二條 皇族ノ婚嫁ハ男子滿十七年以上女子滿十五年以上ニ達スルニ非ザレバ之ヲ成スコトヲ得ズ。

恭テ按ズルニ大婚ノ年紀既ニ上下其ノ軌ヲ異ニスルノ必要ヲ認メズ皇族ノ婚嫁モ亦論無キノミ茲ニ之ヲ提請ス。

第二十三條 皇族ノ婚嫁ハ直系親族又ハ三親等内ノ傍系血族ノ間之ヲ成スコトヲ得ズ。

恭テ按ズルニ婚姻ノ制限ハ概シテ直系血族、三親等内ノ傍系血族及直系婚姻ノ三項トス今直系血族ト直系姻族トヲ括稱シテ直系親族ト云フハ煩ヲ省クナリ抑々皇族ハ已ニ至尊直接ノ監督ヲ受ク必ズシモ毎年細目ニ涉リテ法規ノ指定ヲ爲スニ庸ナシ茲ニ略ボ其ノ大綱ヲ掲グ前後ノ諸條亦以テ類權スベキナリ。

第二十四條 皇族ノ婚嫁ハ諒闇中及皇族直系尊屬ノ喪中之ヲ成スコトヲ得ズ。

恭テ按ズルニ本條ノ義ハ第十四條ニ同ジ所謂ル直系尊屬トハ其ノ父母祖父母ヲ謂フナリ。

第二十五條 皇族ノ婚嫁皇室典範第三十九條第四十條ニ違フトキハ無効トス。

恭テ按ズルニ皇室典範第三十九條ハ皇族婚嫁ノ制限ヲ立テ第四十條ハ則チ宸裁ニ仰グ竝ニ防微杜漸ノ道ニシテ其ノ旨極メテ深遠ナリ違フ者ハ固ヨリ不法ノ婚嫁ニ屬ス故ニ定メテ無効ト爲スナリ。

第二十六條 皇族ノ離婚ハ勅許ヲ經ルコトヲ要ス之ニ違フトキハ無効トス。

恭テ按ズルニ勅許ニ成ルノ結婚ハ明カニ其ノ離婚ノ場合ニ於テモ亦聖可ヲ經ザルベカラズ今之ヲ成規ニ著スハ一ハ以テ皇族ノ榮譽ヲ輕易ニ失墜セザラシメムトナリ。

第二十七條 未成年ノ皇族離婚ヲ成ストキハ第十六條ノ規定ヲ准用ス但重大ノ事由アルトキハ此ノ

削

限ニ在ラズ。

恭テ按ズルニ本條規定ノ義ハ第十六條ニ同ジ惟々重大ノ事由アルニ際シテハ必ズシモ父母若クハ後見人ノ同意ヲ須タザルモノアリ故ニ但書ヲ加フ。

第二十八條 皇族ノ婚嫁ニ關スル事項ハ圖書頭之ヲ皇統譜ニ登録ス。

恭テ按ズルニ皇族婚嫁ノ結果其ノ名籍ヲ加除スルハ別ニ定ムルノ規程ニ依リ圖書頭之ヲ管掌ス其ノ義第十三條ニ同ジ。

嫁令附式
皇室婚姻式第二稿

皇室婚姻式目次

目次ハ去十五日協議ノ體裁ニ依リ改ム

第一編 大 婚 式

「ハ朱書
ニヨルモノ
ナリ以下之
ニ倣フ

- 賢所告成約ノ儀
- 皇靈殿告成約ノ儀
- 神殿告成約ノ儀
- 神宮山陵奉幣使發遣ノ儀
- 神宮山陵奉幣ノ儀
- 命納采使ノ儀 附后氏本第ノ儀
- 賜寶冠章ノ儀

- 命告期使ノ儀 附后氏本第ノ儀
- 命御書使ノ儀 附后氏本第ノ儀
上后氏奉答書ノ儀
- 賢所告立后ノ儀
- 皇靈殿告立后ノ儀
- 神殿告立后ノ儀
- 宣立后詔書宣布ノ儀
- 后氏入内ノ儀
- 賢所大前大婚禮ノ儀
- 皇靈殿御拜ノ儀
- 神殿御拜ノ儀
- 皇太后本宮行幸ノ儀
- 太皇太后本宮行幸ノ儀
- 大床子供膳ノ儀
- 供三箇夜餅ノ儀
- 大婚後饗宴第一日ノ儀

皇室婚嫁令附式

同 第二日ノ儀

同 第三日ノ儀

神宮山陵行幸ノ儀

附例三條

第二編 皇太子成婚式

皇太孫之ニ同シ

賢所告成約ノ儀

皇靈殿告成約ノ儀

神殿告成約ノ儀

神宮山陵奉幣ノ儀

命納采使ノ儀 附妃氏本第ノ儀

賜寶冠章ノ儀

命告期使ノ儀 附妃氏本第ノ儀

御書使ノ儀

賢所告成婚ノ儀

皇靈殿告成婚ノ儀

神殿告成婚ノ儀

妃氏入宮ノ儀

皇太子妃氏參内ノ儀

賢所大前成婚禮ノ儀

皇靈殿拜禮ノ儀

神殿拜禮ノ儀

參内拜謁ノ儀

皇太后本宮行啓ノ儀

太皇太后本宮行啓ノ儀

本宮供膳ノ儀

供三箇夜餅ノ儀

成婚後宮中饗宴ノ儀

神宮山陵行啓ノ儀

附例一條

皇室婚嫁令附式

第三編 親王成婚式 王之ニ同シ

賢所大前成婚禮ノ儀

皇靈殿拜禮ノ儀

神殿拜禮ノ儀

參内拜謁ノ儀

皇太后本宮拜謁ノ儀

太皇太后本宮拜謁ノ儀

附例二條

第四編 書式

大婚公告ノ書式三通

附例二條

皇族婚嫁ヲ聽スノ書三通

皇族婚嫁公告ノ書式 五通

附錄

女子服裝名稱

第一編 大婚式

賢所告成約ノ儀

當日早且御殿ヲ裝飾ス

時刻文武高官有爵者優遇者並夫人朝集所ニ參集ス（召スヘキ人ハ臨時之ヲ定ム以下之ニ倣フ）

但服裝男子ハ大禮服、正裝、正服、女子ハ中禮服

次ニ天皇隔殿ニ渡御

次ニ御服 御東帶黃
櫛染御袍ヲ供ス 侍從
奉仕

次ニ御手水ヲ供ス 侍從
奉仕

此間扈從ノ諸臣 宮内大臣侍從
長式部長侍從 服裝 衣冠ヲ易フ
單

次ニ式部官前導諸員拜殿ニ參進シ本位ニ就ク

次ニ御扉ヲ開ク

此間神樂歌ヲ奏ス

皇室婚嫁令附式



次ニ神饌幣物ヲ供ス色目ハ時ニ臨テ之ヲ定ム以下之ニ倣フ

此間神樂歌ヲ奏ス

次ニ掌典長祝詞ヲ奏ス

次ニ出御式部長宮内大臣前行シ侍從鈿璽ヲ奉ス

侍從長御後ニ候ス親王竝妃王竝妃侍從武官長侍從武官扈從ス

次ニ内陣ノ御座ニ着御侍從鈿璽ヲ奉シ外陣ノ左右ニ候ス

次ニ御拜御告文ヲ奏シ給フ御鈴常儀ノ如シ

次ニ隔殿ニ入御

次ニ幣物神饌ヲ撤ス

此間神樂歌ヲ奏ス

次ニ御扉ヲ閉ツ

此間神樂歌ヲ奏ス

次ニ各退下

皇靈殿告成約ノ儀

消シ線ハ原
本ニハ朱線
以下之レニ
同シ

其儀賢所ノ式ノ如シ

神殿告成約ノ儀

其儀皇靈殿ノ式ノ如シ

神宮山陵奉幣使發遣ノ儀

成約ノ當日奉幣使發遣其式恒例ノ如シ

神宮山陵奉幣ノ儀

神宮奉幣ノ儀ハ神嘗祭奉幣式ノ如ク山陵奉幣ノ儀ハ四月三日畝傍山東北陵奉幣ノ式ノ如シ

幣物神饌色目時ニ臨テ之ヲ定ム

命納采使ノ儀

時刻使參内ス

但服裝勅使及關係諸員大禮服

皇室婚嫁令附式

次ニ宮内大臣旨ヲ羨ケ大婚ノ約ヲ成ス爲メ某親王ノ女某女王ニ納采ノ禮ヲ行フヘキ由ヲ使ニ宣フ
使幣贄ヲ奉シ后氏ノ第二向フ儀裝常ノ如シ

后氏本第ノ儀

時刻勅使后氏ノ第二至ル別當家令奉迎ス

但服裝男子ハ大禮服女子ハ中禮服

次ニ父親王正寢ノ座ニ就ク

次ニ別當前導使參進シ大婚ノ約ヲ成ス爲メ某女王ニ納采ノ禮ヲ行フ旨ヲ宣フ訖テ休所ニ退ク

次ニ父親王母妃后氏正寢ノ座ニ就ク

次ニ別當前導勅使再ビ正寢ニ參進ス父親王以下敬禮アリ

次ニ父親王敬テ勅旨ヲ奉ズト對フ

次ニ勅使幣贄ヲ賜フ旨ヲ宣フ

此時別當家令幣贄ヲ案上ニ置ク

次ニ勅使退出別當家令奉送ス

即日父親王參内シ恩ヲ謝ス

后氏本第ノ儀ハ皇族ノ女子ヲ納ル、モノトシ式ヲ設クト雖華族ノ女子ヲ納ル、トキハ其儀注左
ノ如シ賜寶冠章ノ儀以下之ニ同ジ

后氏本第ノ儀

時刻勅使后氏ノ第二至ル家令家扶門外ニ奉迎ス

次ニ家令前導シ主人廂外ニ奉迎シ勅使正寢ノ坐ニ就ク

次ニ勅使大婚ノ約ヲ成ス爲メ女某子ニ納采ノ禮ヲ行フ旨ヲ主人ニ宣フ

次ニ主人母夫人后氏ヲ伴ヒ勅使ノ前ニ詣リ敬テ勅旨ヲ奉ズト對フ

次ニ勅使幣贄ヲ賜フ旨ヲ宣フ

此時家令家扶幣贄ヲ案上ニ置ク

次ニ勅使退出主人廂外ニ奉送シ家令家扶門外ニ奉送ス

即日主人參内シテ恩ヲ謝ス

賜寶冠章ノ儀

當日勅使后氏ノ第二至ル別當家令奉迎ス

皇室婚嫁令附式

但服裝男子ハ小禮服女子ハ通常禮服

次ニ父親王母妃后氏正寢ノ座ニ就ク

次ニ使參進シ寶冠章ヲ后氏ニ上ツル

次ニ使退出ス別當家令奉送ス

命告期使ノ儀

當日何時使參内ス

但服裝勅使及關係諸員大禮服

次ニ宮内大臣旨ヲ承ケ來何日大婚ノ禮ヲ行フヲ以テ后氏ニ告グベキ由ヲ使ニ宣フ使御劍ヲ奉ジ后氏ノ第二向フ儀裝常ノ如シ

后氏本第ノ儀

時刻勅使后氏ノ第二至ル別當家令奉迎ス

但服裝男子ハ大禮服女子ハ中禮服

次ニ父親王母妃后氏正寢ノ座ニ就ク

次ニ別當前導勅使參進^ニシ大婚ノ禮ヲ行フ期日ヲ宣フ。

次ニ父親王勅旨ヲ奉ズト對フ

次ニ勅使御劍ヲ后氏ニ賜フ旨ヲ宣フ

此時別當御劍ヲ案上ニ置ク

次ニ勅使退出別當家令奉送ス

命御書使ノ儀

立后前一日何時使參内ス

但服裝勅使及關係諸員大禮服

次ニ宮内大臣御書^{紅色薄葉紙之ニ}同ジ柳宮ニ納ム^ニヲ使ニ授ク使之ヲ奉ジテ后氏ノ本第二向フ儀裝常ノ如シ

后氏本第ノ儀

時刻勅使后氏ノ第二至ル別當家令奉迎ス

但服裝男子ハ大禮服女子ハ中禮服

次ニ父親王母妃后氏正寢ノ座ニ就ク

次ニ別當前導勅使參進^スシ御書^{文杖ニ挿ミ}隨員^{捧持}ヲ后氏ニ上ツル訖テ勅使^{文杖ヲ執ル}休所ニ退ク

次ニ別當前導勅使勅使再ビ正寢ニ參進ス

次ニ后氏奉答書^{紅色薄葉、紙紫色薄葉}ヲ勅使ニ授ク

次ニ勅使奉答書ヲ柳宮ニ納メ之ヲ奉ジ退出ス別當家令奉送ス

『即日使參内奉答書ヲ上ツル』

賢所告立后ノ儀

立后當日早且御殿ヲ裝飾ス

何時宮内省勅任官奏任官着床

但服裝大禮服^{白下衣袴}

次ニ御扉ヲ開ク

此間神樂歌ヲ奏ス

次ニ神饌ヲ供ス

此間神樂歌ヲ奏ス

次ニ掌典長祝詞ヲ奏ス

次ニ御代拜御玉串ヲ奉ル

次ニ諸員一同拜禮ヲ行フ

次ニ神饌ヲ撤ス

此間神樂歌ヲ奏ス

『次ニ御扉ヲ閉ヅ此時神樂歌ヲ奏ス』

次ニ各退下

皇靈殿告立后ノ儀

其儀賢所ノ式ノ如シ

神殿告立后ノ儀

其義皇靈殿ノ式ノ如シ

宣后詔書ノ儀

時刻文武高官有爵者優遇者參内ス

但服裝大禮服白下衣袴 正裝正服

次ニ式部官前導諸員正殿ニ參進シ本位ニ就ク

次ニ天皇出御式部長前行シ侍從劔璽ヲ奉ス親王王侍從長侍從武官長侍從武官扈從ス

次ニ玉座ニ着後侍從劔璽ヲ奉シ左右ニ侍ス

次ニ宮内大臣進デ玉座ノ前面東頭ニ立ツ

次ニ侍從長詔書ヲ上ル

次ニ天皇詔書ヲ宮内大臣ニ授ケ給フ宮内大臣之ヲ受ケ本位ニ復ス

次ニ入御

次ニ諸員退下

后氏入内ノ儀

時刻勅使后氏ノ第二至ル別當家令奉迎ス

但服裝男子ハ大禮服白下衣袴 女子ハ大禮服

次ニ父親王母妃后氏大禮服 正寢ノ座ニ就ク

次ニ別當前導勅使參進シ大婚ノ禮ヲ行ハルルヲ以テ臣某等勅ヲ奉シ皇后ヲ奉迎スト啓ス休所ニ退

ク

次ニ后氏儀衛ヲ備ヘ本第ヲ出ヅ勅使以下扈從ス

次ニ后氏本宮ニ入ル

賢所大前大婚禮ノ儀

時刻文武高官有爵者優遇者並夫人朝集所ニ參集ス

但服裝男子ハ大禮服白下衣袴 正裝正服、女子ハ大禮服

同時外國交際官並夫人朝集所ニ參集ス

次ニ天皇皇后隔殿ニ渡御

次ニ天皇ニ御服御束帶黃ヲ 櫛染御袍 供ス侍從 奉仕

次ニ皇后ニ御服白御 裝束ヲ 供ス女官 奉仕

次ニ天皇ニ御手水ヲ供ス侍從 奉仕

次ニ皇后ニ御手水ヲ供ス女官 奉仕

此間扈從ノ諸臣宮内大臣侍從長 式部長皇后宮大夫 女官服裝男子ハ衣冠ヲ 易ユ 筆女子ハ掛袴ヲ

次ニ式部官前導諸員拜殿ニ參進シ本位ニ就ク

次ニ式部官前導外國交際官竝夫人拜殿ニ參進シ本位ニ就ク

次ニ御屏ヲ開ク

此間神樂歌ヲ奏ス

次ニ神饌幣物ヲ供ス

此間神樂歌ヲ奏ス

次ニ掌典長祝詞ヲ奏ス

次ニ天皇出御

式部長宮内大臣前行シ侍從鈿璽ヲ奉ス侍從長御後ニ候ス親王王侍從武官長侍從武官扈從ス

次ニ皇后出御

皇后宮大夫前行シ女官御後ニ候ス親王妃王妃扈從ス

次ニ天皇内陣ノ御座ニ着御侍從鈿璽ヲ奉シ外陣ノ左右ニ候ス

次ニ皇后内陣ノ御座ニ着御女官外陣ニ候ス

次ニ天皇皇后御同拜御鈴常儀如シ

次ニ天皇御告文ヲ姿シ給フ

次ニ掌典神盃ヲ天皇ニ獻ズ掌典長御瓶子ヲ執ル天皇神盃ヲ掌典ニ授ケ給フ

次ニ掌典神盃ヲ皇后ニ獻ズ掌典長御瓶子ヲ執ル皇后神盃ヲ掌典ニ授ケ給フ

次ニ天皇皇后御同拜訖テ隔殿ニ入御

次ニ幣物神饌ヲ撤ス

此間神樂歌ヲ奏ス

次ニ御屏ヲ閉ヅ

此間神樂歌ヲ奏ス

次ニ各退下

皇靈殿御拜ノ儀

時刻宮内省勅任官奏任官着床

次ニ御屏ヲ開ク

此間神樂歌ヲ奏ス

次ニ神饌幣物ヲ供ス

此間神樂歌ヲ奏ス

次ニ掌典長祝詞ヲ奏ス

皇室婚嫁令附式

次ニ天皇出御

式部長宮内大臣前行シ侍從劔璽ヲ奏ス侍從長御後ニ候ス親王王侍從武官長侍從武官扈從ス

次ニ皇后出御

皇后宮大夫前行シ女官御後ニ候ス親王妃王妃扈從ス

次ニ天皇内陣ノ御座ニ着御侍從劔璽ヲ奉シ外陣ノ左右ニ候ス

次ニ皇后内陣ノ御座ニ着御女官外陣ニ候ス

次ニ天皇皇后御同拜訖テ入御

次ニ諸員一同拜禮ヲ行フ

次ニ幣物神饌ヲ撤ス

此間神樂歌ヲ奏ス

次ニ御扉ヲ閉ツ

此間神樂歌ヲ奏ス

次ニ各退下

神殿御拜ノ儀

其儀皇靈殿ノ式ノ如シ

皇太后本宮行幸ノ儀

時刻天皇^{御正裝}皇后^{大禮服}儀衛ヲ備ヘ皇太后ノ本宮ニ幸ス皇太后宮大夫奉迎ス

但服裝諸員男子大禮服^{白下衣袴}正裝正服女子ハ大禮服

次ニ皇太后^{大禮服}正殿ノ廂ニ於テ迎ヘ給フ

次ニ正殿ノ御座ニ着御

次ニ天皇皇后御拜皇太后御答拜

畢テ還幸皇太后正殿ノ廂ニ於テ送リ給フ

太皇太后本宮行幸ノ儀

其儀皇太后本宮ノ式ノ如シ

大床子供膳ノ儀

時刻式部長出御ヲ奏請ス

皇室婚嫁令附式

但服裝男子ハ大禮服白下衣袴女子大禮服

次ニ天皇御正裝皇后大禮服大床子ノ御座ニ着御

次ニ御臺盤ヲ立ツ

次ニ御膳ヲ供ス

次ニ御酒ヲ供ス

次ニ天皇御盃ヲ皇后ニ賜フ

次ニ皇后御瓶子ヲ取テ天皇ノ御前ニ進ミ御酒ヲ獻ジ給フ

次ニ御箸ヲ立テ給フ

畢テ入御

供三箇夜餅ノ儀

時刻華族某勅旨ヲ奉ジ三箇夜餅ヲ調進ス

午後何時女官三箇夜餅ヲ夜御殿ニ供ス

其儀銀盤四枚ニ白餅ヲ盛リ洲濱ノ上ニ鶴形一雙ヲ立テ御箸ヲ鶴嘴ニ置キ以上悉皆銀製珍木螺鈿燕ノ宮ニ納メ蓋ヲ覆フ

大婚後饗宴第一日ノ儀

當日何時親王、内親王、親王妃、王、女王、王妃、參内ス

但服裝男子ハ大禮服白下衣袴正裝、正服、女子ハ大禮服

時刻太皇太后皇太后大禮服着御式部長宮内大臣奉迎ス

次ニ天皇御正裝皇后大禮服便殿ニ出御

次ニ太皇太后、皇太后玉座ノ右腋ニ出御

次ニ親王、内親王、親王妃、王、女王、王妃、慶ヲ奏ス

次ニ御饌ヲ供ス

次ニ御酒ヲ供ス

此間樂師樂ヲ奏ス

次ニ太皇太后皇太后退御

次ニ入御

畢テ親王以下退下

同第二日ノ儀御陪食

當日何時文武高官有爵者優遇者外國交際官並夫人參内ス
但服裝第一日ノ儀ニ同ジ

次ニ式部長出御ヲ奏請ス

次ニ天皇皇后便殿ニ出御

式部長皇后宮大夫宮内大臣前行シ親王并妃王并妃侍從長、侍從侍從武官長、侍從武官、女官扈
從ス

次ニ諸員慶ヲ奏ス

次ニ饗饌ヲ賜フ

此間樂師樂ヲ奏ス

次ニ入御

畢テ各退下

同第三日ノ儀御夜舍

當日何時文武高官有爵者優遇者外國客使並夫人參内ス

但服裝男子ハ大禮服、正裝、正服、女子ハ中禮服

次ニ式部長出御ヲ奏請ス

次ニ天皇^{御正}皇后^{中禮}出御

式部長皇后宮大夫宮内大臣前行シ親王并妃王并妃侍從長、侍從、侍從武官長、侍從武官、女官
扈從ス

次ニ饗饌ヲ賜フ

此間樂師樂ヲ奏ス

次ニ入御

畢テ各退下

神宮山陵行幸ノ儀

其儀總テ恒例親謁ノ式ノ如シ

第二編 皇太子成婚式 皇太孫之
ニ同シ

賢所告成約ノ儀

當日早且御殿ヲ裝飾ス

時刻、文武高官、有爵者、優遇者、竝夫人朝集所ニ參集ス

但服裝男子ハ大禮服、正裝、正服、女子ハ中禮服

『次ニ親王竝妃王竝妃隔殿ニ參入ス』

次ニ皇太子隔殿ニ參入ス

次ニ儀服 東帶黃丹袍ヲ供ス 東宮侍
或ハ赤色袍 從奉仕

次ニ手水ヲ供ス 東宮侍從
奉仕

此間扈從ノ諸臣 式部長東宮大夫 東宮
侍從長東宮侍從 服裝 衣冠ヲ易ク

次ニ式部官前導諸員拜殿ニ參進シ本位ニ就ク

次ニ御扉ヲ開ク

此間神樂歌ヲ奏ス

次ニ神饌幣物ヲ供ス

此間神樂歌ヲ奏ス

次ニ掌典長祝詞ヲ奏ス

次ニ式部官前導親王竝妃王竝妃拜殿ノ本位ニ就ク

次ニ皇太子内陣ニ 進ム
入ル

式部長東宮大夫前行シ東宮侍從壺切御劍ヲ奉ス東宮侍從長後ニ候ス東宮武官長東宮武官扈從ス

次ニ皇太子着座東宮侍從壺切御劍ヲ奉シ外陣ニ候ス

次ニ皇太子拜禮ヲ行フ

次ニ皇太子退下

次ニ幣物神饌ヲ撤ス

此間神樂歌ヲ奏ス

次ニ御扉ヲ閉ヅ

此間神樂歌ヲ奏ス

次ニ各退下

皇靈殿告成約ノ儀

其儀賢所ノ式ノ如シ

神殿告成約ノ儀

其儀皇靈殿ノ式ノ如シ

神宮山陵奉幣ノ儀

其儀總テ大婚式神宮山陵奉幣ノ式ノ如シ

命納采使ノ儀

時刻使參内

但服裝使及關係諸員大禮服

次ニ宮内大臣旨ヲ承ケ皇太子某女王ト婚ヲ約スル爲メ納采ノ禮ヲ行フベキ旨ヲ宣フ使幣贅ヲ奉ジ
妃氏ノ第二向フ儀裝常ノ如シ

妃氏本第ノ儀

時刻使妃氏ノ第二至ル別當家令奉迎ス

但服裝男子ハ大禮服女子ハ中禮服

次ニ父親王正寢ノ座ニ就ク

次ニ別當前導使參進シ皇太子某女王ト成婚ヲ約スル爲メ納采ノ禮ヲ行フ旨ヲ啓ス訖テ休所ニ退ク

次ニ父親王母妃氏ヲ伴ヒ正寢ノ座ニ就ク

次ニ別當前導使再ビ正寢ニ參進シ父親王敬テ令旨ヲ奉ズト答フ

次ニ使幣贅ヲ贈進シ給フ由ヲ啓ス

此時別當家令幣贅ヲ案上ニ置ク

次ニ使退出別當家令奉送ス

即日父親王參内シテ恩ヲ謝シ皇太子ノ宮ニ謁入リテ敬謝ス

賜寶冠章ノ儀

其儀大婚式賜寶冠章ニ准ズ但勅使ヲ皇后宮使ニ換_フニ

命告期使ノ儀

當日何時使參内ス

但服裝使及關係諸員大禮服

次ニ宮内大臣旨ヲ承ケ來何日皇太子婚禮ヲ行フノ旨ヲ妃氏ニ傳フベシト使ニ宣フ使御劍ヲ奉シ妃氏ノ第二向フ儀裝常ノ如シ

妃氏本第ノ儀

其儀大婚式ノ告期使ニ准ズ

御書使ノ儀

成婚前一日何時東宮使妃氏ノ第二至ル別當家令奉迎ス

但服裝男子ハ大禮服女子ハ中禮服

次ニ父親王母妃氏正寢ノ座ニ就ク

次ニ別當前導使參進_スシ御書ヲ妃氏ニ上ル訖テ休所ニ退ク
次ニ別當前導使再ビ正寢ニ參進ス
次ニ妃氏奉答書ヲ使ニ授ク
次ニ使休所ニ退キ奉答書ヲ柳篋ニ納メ之ヲ奉シテ退出ス
別當家令奉送ス
即日使奉答書ヲ皇太子ニ上ツル

賢所告成婚ノ儀

成婚當日早且御殿ヲ裝飾ス

何時宮内省勅任官奉任官着床

但服裝大禮服_{白下衣袴}

次ニ御扉ヲ開ク

此間神樂歌ヲ奏ス

次ニ神饌ヲ供ス

此間神樂歌ヲ奏ス

皇室婚嫁令附式

次ニ掌典長祝詞ヲ奏ス

次ニ皇太子代拜玉串ヲ奉ル

次ニ神饌ヲ撤ス

此間神樂歌ヲ奏ス

次ニ御扉ヲ閉ヅ

此間神樂歌ヲ奏ス

次ニ各退下

皇靈殿告成婚ノ儀

其儀賢所ノ式ノ如シ

神殿告成婚ノ儀

其儀皇靈殿ノ式ノ如シ

參内 妃氏入宮ノ儀

時刻東宮使妃氏ノ第二至ル別當家令奉迎ス

但服裝諸員男子ハ大禮服白下衣袴女子ハ大禮服

次ニ父親王母妃氏大禮服正寢ノ座ニ就ク

次ニ別當前導使參進スシ皇太子ノ令旨ヲ奉ジ妃ヲ奉迎スト訖テ休所ニ退ク

次ニ妃氏儀衛ヲ備ヘ本第ヲ出ヅ東宮使以下扈從ス

次ニ妃氏參内式部長奉迎ス

「次ニ妃氏掖殿ニ入ル式部長妃氏參内ノ由ヲ奏ス」

皇太子參内ノ儀

時刻皇太子正裝妃氏大禮服儀衛ヲ備ヘ參内式部長奉迎ス

次ニ皇太子掖殿ニ入ル

次ニ式部長皇太子參内ノ由ヲ奏ス

賢所大前成婚禮ノ儀

時刻文武高官有爵者優遇者並夫人朝集所ニ參集ス

皇室婚嫁令附式

但服裝男子ハ大禮服白下衣正裝正服、女子ハ大禮服

同時外國交際官竝夫人朝集所ニ參集ス

『次ニ親王竝妃王竝妃隔殿ニ參入ス』

次ニ皇太子皇太子妃隔殿ニ參入ス

次ニ皇太子ニ儀服東帶黃丹袍或ハ赤色袍ヲ供ス東宮侍從奉仕

次ニ皇太子妃ニ儀服五衣白唐衣竝裳ヲ供ス女官奉仕

次ニ皇太子妃ニ手水ヲ供ス女官奉仕

此間扈從ノ諸臣式部長東宮大夫東宮亮東宮侍從

女官服裝男子ハ衣冠篋女子ハ褂袴ヲ易ユ

次ニ式部官前導諸員拜殿ニ參進シ本位ニ就ク

次ニ式部官前導外國交際官竝夫人拜殿ニ參進本位ニ就ク

次ニ御屏ヲ開ク

此間神樂歌ヲ奏ス

次ニ神饌幣物ヲ供ス

此間神樂歌ヲ奏ス

次ニ掌典長祝詞ヲ奏ス

次ニ式部官前導親王竝妃王竝妃拜殿ノ本位ニ就ク

次ニ皇太子内陣ニ進ム

式部長東宮大夫前行シ東宮侍從壺切御劔ヲ奉シ東宮侍從長後ニ候ス東宮武官長東宮武官扈從ス

次ニ皇太子妃内陣ニ進ム

東宮亮前行シ女官扈從ス

次ニ皇太子着座東宮侍從壺切御劔ヲ奉シ外陣ニ候ス

次ニ皇太子妃着座女官外陣ニ候ス

次ニ皇太子皇太子妃同拜

次ニ皇太子告文ヲ奏ス

次ニ掌典神盃ヲ皇太子ニ獻ス掌典長御瓶子ヲ執ル皇太子神盃ヲ掌典ニ授ク

次ニ掌典神盃ヲ皇太子妃ニ獻ス掌典長御瓶子ヲ執ル皇太子妃神盃ヲ掌典ニ授ク

次ニ皇太子皇太子妃同拜訖テ隔殿ニ退下

次ニ幣物神饌ヲ撤ス

此間神樂歌ヲ奏ス

次ニ御扉ヲ閉ツ

此間神樂歌ヲ奏ス

次ニ各退下ス

皇靈殿拜禮ノ儀

時刻宮内省勅任官奏任官着床

次ニ御扉ヲ開ク

此間神樂歌ヲ奏ス

次ニ神饌幣物ヲ供ス

此間神樂歌ヲ奏ス

次ニ掌典長祝詞ヲ奏ス

次ニ皇太子内陣ニ着座東宮侍從壺切御劔ヲ奉シ外陣ニ候ス扈從員ハ賢所大前ノ式ニ同シ

次ニ皇太子妃内陣ニ着座女官外陣ニ候ス同上

次ニ皇太子皇太子妃同拜訖テ隔殿ニ退下

次ニ弊物神饌ヲ撤ス

此間神樂歌ヲ奏ス

次ニ御扉ヲ閉ツ

此間神樂歌ヲ奏ス

次ニ各退下

神殿拜禮ノ儀

其儀皇靈殿ノ式ノ如シ

參内拜謁ノ儀

時刻皇太子正皇太子妃大禮儀衛ヲ備ヘ參内式部長奉迎ス

但服裝男子ハ大禮服白下衣女子ハ大禮服

次ニ皇太子皇太子妃掖殿ニ入ル

次ニ式部長出御ヲ奏請ス

次ニ天皇御正皇后大禮便殿ニ出御

次ニ式部長前導皇太子皇太子妃御前ニ參進ス恩ヲ謝ス

皇室婚嫁令附式

次ニ天皇勅旨アリ

次ニ皇后慈旨アリ

次ニ皇太子皇太子妃御腋座ニ着ク

次ニ御臺盤ヲ立ツ

次ニ皇饌御酒ヲ供ス

次ニ天皇皇后御盃ヲ皇太子皇太子妃ニ賜フ

次ニ御箸ヲ立テ給フ

次ニ入御

次ニ皇太子皇太子妃掖殿ニ退ク

皇太后本宮行啓ノ儀

時刻皇太子正皇太子妃大禮儀衛ヲ備ヘ皇太后ノ本宮ニ行啓皇太后宮大夫大禮奉迎ス

次ニ皇太后正殿ニ出御

次ニ皇太子皇太子妃御前參進シ恩ヲ謝ス

次ニ皇太后慈旨アリ

次ニ皇太子皇太子妃退下

太皇太后本宮行啓ノ儀

其儀皇太后本宮ノ式ノ如シ

本宮供膳ノ儀

其儀大婚式大床子供膳ニ准ズ

供三箇夜餅ノ儀

其儀大婚式供三箇夜餅ニ准ズ

成婚後宮中饗宴ノ儀

當日皇太子皇太子妃參内其儀總テ大婚式饗宴ニ准ズ

神宮山陵行啓ノ儀

其儀大婚式神宮山陵行幸ニ准ズ

第三編 親王成婚式

王之ニ
同ジニ

賢所大前成婚禮ノ儀

當日早且御殿ヲ裝飾ス

時刻親王親王妃、隔殿ニ參入服裝及手水ノ儀アリ

但服裝親王ハ東帶妃ハ五衣唐衣竝裳時ニ臨ミ親王ハ衣冠章妃ハ褂袴ヲ用フルコトヲ得

次ニ宮内省勅任官竝夫人奏任官總代各一員親王別當竝夫人家令拜殿ニ參進シ本位ニ就ク

但服裝大禮服

次ニ御扉ヲ開ク

此間神樂歌ヲ奏ス

次ニ神饌幣物ヲ供ス

此間神樂歌ヲ奏ス

次ニ掌典長祝詞ヲ奏ス

其儀大婚式神宮山陵行幸ニ准ズ

第三編 親王成婚式

王之ニ
同ジニ

賢所大前成婚禮ノ儀

當日早且御殿ヲ裝飾ス

時刻親王親王妃、隔殿ニ參入服裝及手水ノ儀アリ

但服裝親王ハ東帶妃ハ五衣唐衣竝裳時ニ臨ミ親王ハ衣冠章妃ハ褂袴ヲ用フルコトヲ得

次ニ宮内省勅任官竝夫人奏任官總代各一員親王別當竝夫人家令拜殿ニ參進シ本位ニ就ク

但服裝大禮服

次ニ御扉ヲ開ク

此間神樂歌ヲ奏ス

次ニ神饌幣物ヲ供ス

此間神樂歌ヲ奏ス

次ニ掌典長祝詞ヲ奏ス

次ニ親王親王妃外陣ニ進ミ座ニ着ク

次ニ親王親王妃同拜

次ニ親王告匱文ヲ奏ス

次ニ掌典神盃ヲ親王親王妃ニ上ツル掌典長御瓶子ヲ執ル親王親王妃神盃ヲ掌典ニ授ク

次ニ親王親王妃同拜訖テ隔殿ニ退ク下

次ニ幣物神饌ヲ撤ス

此間神樂歌ヲ奏ス

次ニ御扉ヲ閉ツ

此間神樂歌ヲ奏ス

次ニ各退下

皇靈殿拜禮ノ儀

時刻宮内省勅任官竝夫人奏任官總代各一員親王別當竝夫人家令着床

次ニ御扉ヲ開ク

此間神樂歌ヲ奏ス

皇室婚嫁令附式

次ニ神饌幣物ヲ供ス

此間神樂歌ヲ奏ス

次ニ掌典長祝詞ヲ奏ス

次ニ親王親王妃外陣ニ進ミ座ニ着ク

次ニ親王親王妃同拜訖テ退下

次ニ幣物神饌ヲ撤ス

此間神樂歌ヲ奏ス

次ニ御扉ヲ閉ヅ

此間神樂歌ヲ奏ス

次ニ各退下

神殿拜禮ノ儀

其儀皇靈殿ノ式ノ如シ

參内拜謁ノ儀

其儀皇太子成婚式ニ同ジ

皇太后本宮拜謁ノ儀

其儀皇太子成婚式ニ同ジ

太皇太后本宮拜謁ノ儀

其儀皇太子成婚式ニ同ジ

第四編 書 式

大婚公告ノ書式

本日某親王殿下ノ第何女某女王殿下ト大婚ノ御成約在ラセラル右告示ス

年 月 日

宮内大臣

爵

氏

名

華族ノ女子ヲ采ルトキハ其文例左ノ如シ以下之ニ倣フ

皇室婚嫁令附式

本日某官某位爵氏名ノ第何女某名云々ニ作ル來何月何日ヲ以テ大婚ノ禮ヲ行ハセラル
右告示ス

年 月 日

一御誓文

御告文

立后詔書祝詞

宮内大臣

爵

氏

名

右期ニ臨ミ之ヲ撰ム

一御書御宸筆

右期ニ臨ミ御製ノコト

皇族婚嫁ヲ聽スノ書式

某親王ノ第何女某女王ヲ以テ皇太子皇太孫某親王ノ妃ト爲スコトヲ聽ス

御名 御璽

年 月 日

宮内大臣

爵

氏

名奉

某親王ノ第何女某女王ヲ以テ某親王某王ノ妃ト爲スコトヲ聽ス

御名 御璽

年 月 日

宮内大臣

爵

氏

名奉

某内親王某女王ノ某官某位某爵某名ニ嫁スルコトヲ聽ス

御名 御璽

年 月 日

宮内大臣

爵

氏

名奉

皇族婚嫁公告ノ書式

本日皇太子皇太孫某親王殿下某親王殿下ノ第何女某女王殿下ト結婚ヲ約セラル
右告示ス

年 月 日

宮内大臣

爵

氏

名

來何月何日ヲ以テ皇太子皇太孫某親王殿下婚禮ヲ行ハセラル

右告示ス

皇室婚嫁令附式

年 月 日

宮内大臣 爵 氏 名

來何月何日ヲ以テ某親王殿下某親王殿下第何女某女王殿下ト婚禮ヲ行ハル
右告示ス

年 月 日

宮内大臣 爵 氏 名

皇太子某親王
皇太孫某親王殿下本日婚禮濟セラル

右告示ス

年 月 日

宮内大臣 爵 氏 名

某王殿下本日某親王殿下ノ第何女某女王殿下ト婚禮濟セラル

右告示ス

年 月 日

宮内大臣 爵 氏 名

本日某内親王
某女王殿下某官某位某爵某名ニ嫁セラル

右告示ス

年 月 日

宮内大臣 爵 氏 名



第二章 皇族婚嫁

第二十三條 皇族婚嫁ノ勅許ヲ奏請スルハ其ノ約ヲ成ス前ニ於テ之ヲ奏請スベシ

第二十四條 未成年ノ皇族婚嫁ヲ成スニハ其ノ父母ノ同意アルコトヲ要ス

婚嫁ヲ成サントスル皇族ニ後見人アルトキハ其ノ同意アルコトヲ要ス

第二十五條 皇太子、皇太孫、親王、王結婚ノ禮ハ別ニ定ムル式ニ依リ賢所大前ニ於テ之ヲ行フ

附箋1 皇族婚嫁令第六條修正

第二十六條 皇太子、皇太孫ノ結婚ニハ第一條第二條第五條、第六條、第七條、第八條、第九條、第

十條、第十一條、第十二條、第十三條、第十五條、第十七條、第十八條、第十九條ノ規定ヲ準用

ス

附箋2 皇族婚嫁令第九條修正

皇室婚嫁令附式

第二十七條^五 親王、王ノ結婚ニハ第一條第二條、第十五條^二、第十六條ノ規定ヲ準用ス

第二十八條^四 親王、王結婚ノ期日定マリタルトキハ宮内大臣之ヲ公告ス

附箋3 皇族婚嫁令第八條第十條修正

第二十九條^六 皇太子、皇太孫、親王、王結婚ノ禮訖リタルトキハ妃ト共ニ天皇、太皇太后、皇太后皇后ニ拜謝ス

附箋4 皇族婚嫁令第七條修正

第二十七條 皇族ノ婚嫁男子ハ滿十七年以上女子ハ滿十五年以上ニ達スルニ非ラザレバ之ヲ成スコトヲ得ズ

附箋5 皇族婚嫁令第一條修正

第二十八條 皇族ノ婚嫁ハ直系親族又ハ三親等内ノ傍系血族ノ間ニ於テハ之ヲ成スコトヲ得ズ

第二十九條 皇族ノ婚嫁ハ諒闇中及皇族直系尊屬ノ喪中之ヲ成スコトヲ得ズ

附箋6 皇族婚嫁令第十一條修正

第三十二條 皇族ノ婚嫁皇室典範第三十九條、第四十條ニ違フトキハ無効トス

附箋7 皇族婚嫁令第二條修正

第三十三條^一 皇族ノ離婚ハ勅許ヲ經ルコトヲ要ス之ニ違フトキハ無効トス

第三十四條^二 未成年ノ皇族協議ニ因リ離婚ヲ成ストキハ第二十四條^一ノ規定ヲ準用ス 但重大ナル事由アルトキハ此限ニアラズ

第三十五條 皇族ハ重大ナル事由アルトキハ協議ニ因ラズシテ離婚ヲ成スコトヲ得

第三十六條^三 皇族ノ婚嫁ニ關スル事項ハ圖書頭之ヲ皇統譜ニ登録ス

附箋8 皇族婚嫁令第十一條修正

8 箋附

大婚令皇室婚嫁令

同 第三案 修正濟
同 第二案 原案修正濟

『第一章 大 婚』

以下之ニ依
フ

天皇皇后ヲ
定メントス
ルトキハ太
皇太后意ア
ルコトヲ要
ス但天皇未
成年トキニ
ザルトキニ
皇太后攝政
ノ同意アル
コトヲ要ス

第一條 天皇ノ大婚ハ成年以上ニ達スルニ非ラザレバ之ヲ成サズ。

『第一條 大婚ノ禮ハ天皇滿十七年ニ達シタル後ニ之ヲ行フ』

第二條 天皇正配ヲ立ツルニハ皇族又ハ華族侯爵以上名家ノ女子滿十五年以上ノ者ニ限ル。

『第二條 天皇皇后ヲ立ツルハ皇族又ハ特ニ定メタル華族ノ女子滿十五年以上ノ者ニ限ル』

第三條 天皇正配ヲ定ムルトキハ宮内大臣之ヲ公告ス。

『第三條 天皇皇后ヲ定メタルトキハ宮内大臣之ヲ公告ス』

第四條 天皇正配ヲ定ムルトキハ其女子ニ勳一等寶冠章ヲ授賜ス。

『第四條 天皇正配ヲ定ムルトキハ其女子ニ勳一等寶冠章ヲ授賜ス』

第五條 天皇皇族ニ非ラザル女子ヲ正配ト定ムルトキハ其女子仍ホ生家ノ籍ニ在ルモ特ニ殿下ノ敬

稱ヲ宣賜ス宮内大臣之ヲ公告ス。

第六條 天皇正配ヲ定ムルトキハ奉幣使ヲ神宮神武天皇山陵竝先帝山陵ニ遣ハシ皇后冊立及大婚ノ禮ヲ行フコトヲ虔告ス。

『第七條 天皇皇后ヲ定メタルトキハ之ヲ賢所皇靈殿神殿ニ奉告シ神宮神武天皇山陵竝先帝先后ノ山陵ニ奉幣使ヲ發遣ス。』

第八條 天皇皇后ヲ定メタルトキハ定例ニ照ラシ之ヲ外國ノ君主ニ通知ス。

第九條 天皇皇后ヲ定メタルトキハ外務大臣之ヲ外國代表者ニ通知ス。

第十條 天皇皇后ヲ定メタルトキハ皇族百官臣僚及外國代表者ヲ會シ饗宴ヲ行フ』

第七條 皇后冊立及大婚ヲ行フ期日ハ宮内大臣之ヲ公告ス。

『第十一條 大婚ノ禮ヲ行フ期日ハ宮内大臣之ヲ公告ス。』

第十二條 大婚ノ禮ヲ行フ期日定マリタルトキハ外務大臣之ヲ外國使臣ニ通知ス。

第十三條 大婚ノ禮ヲ行フ當日之ヲ賢所皇靈殿神殿ニ奉告ス』

第八條 天皇ハ別ニ定メタル式ニ依リ皇后冊立ノ禮ヲ行フ。

第九條 天皇ハ皇后冊立ノ禮訖レハ別ニ定メタル式ニ依リ賢所大前ニ於テ大婚ノ禮ヲ行フ。

『第十四條 大婚ノ禮ハ別ニ定ムル式ニ依リ賢所大前ニ於テ之ヲ行フ。』

第十五條 大婚ノ禮訖リタルトキハ天皇皇后ト共ニ皇靈殿神殿ニ拜謝ス

第十條 天皇大婚ノ禮訖レハ皇后ト皇尊屬親太皇太后皇太后包含シテ言フニ親謁シ告謝ノ禮ヲ行フ。

第十六條 大婚ノ禮訖リタルトキハ天皇皇后ト共ニ太皇太后皇太后ニ拜謝ス

第十一條 天皇皇尊屬親告謝ノ禮訖レハ皇后ト皇族ヲ會見シ饗宴ヲ賜フ。

第十二條 天皇大婚ノ禮ヲ行フタル次日皇后ト百官臣僚ヲ會見シ饗宴ヲ賜フ。

第十七條 大婚ノ禮訖リタルトキハ皇族百官臣僚及外國代表者ヲ會シ饗宴ヲ行フ

第十三條 天皇ハ大婚ノ禮ヲ行フタル後一個月以内ニ皇后ト神宮神武天皇山陵竝ニ先帝山陵ニ親謁シ告謝ノ禮ヲ行フ

第十八條 大婚ノ禮ヲ行ヒタルトキハ天皇皇后ト共ニ神宮神武天皇山陵竝先帝先后ノ山陵ニ拜謝ス

第十九條 天皇大婚ノ禮ヲ行ヒタルトキハ定例ニ照ラシ之ヲ外國ノ君主ニ通知ス

第十四條 立后ノ詔書ヲ公布スルハ當日ヲ以テシ宮内大臣之ニ副署ス。

第二十條 立后ノ詔書ハ大婚ノ當日之ヲ公布ス

第十五條 皇后冊立ノ日直ニ皇后宮職職員ヲ任命ス。

第十六條 皇后冊立シタルトキハ宮内大臣圖書頭ニ命ジ皇統譜ニ之ヲ録サシム

第二十一條 立后ノ詔書公布セラレタルトキハ圖書頭其事項ヲ皇統譜ニ登録ス。

大婚ニ關スル記録ハ圖書寮ニ於テ於テ尙藏ス

第十七條 天皇諒闇中ハ正配ヲ定メス又大婚ヲ行ハス。

第二十二條 天皇諒闇中ハ大婚ノ禮ヲ行ハス

第十八條 皇后冊立及大婚ノ禮ヲ行フ經費ハ國庫ヨリ支出セシム。

皇室婚嫁令

第三案
修正済

第一章 大 婚

第一條 大婚ノ禮ハ天皇滿十七年ニ達シタル後ニ於テ之ヲ行フ。

第二條 天皇皇后ヲ立ツルハ皇族又ハ特ニ定メタル華族ノ女子滿十五年以上ノ者ニ限ル。

第三條 天皇皇后ヲ定メタルトキハ宮内大臣之ヲ公告ス。

第四條 天皇皇后ヲ定メタルトキハ之ヲ賢所皇靈殿神殿ニ奉告シ神宮神武天皇山陵竝先帝先后ノ山陵ニ奉幣使ヲ發遣ス。

第五條 天皇皇后ヲ定メタルトキハ定例ニ照ラシ之ヲ外國ノ君主ニ通知ス。

大婚令「皇室婚嫁令」

- 第六條 天皇皇后ヲ定メタルトキハ外務大臣之ヲ外國代表者ニ通知ス。
- 第七條 天皇皇后ヲ定メタルトキハ皇族百官臣僚及外國代表者ヲ會シ饗宴ヲ行フ。
- 第八條 大婚ノ禮ヲ行フ期日ハ宮内大臣之ヲ公告ス。
- 第九條 大婚ノ禮ヲ行フ期日定マリタルトキハ外務大臣之ヲ外國代表者ニ通知ス。
- 第十條 大婚ノ禮ヲ行フ當日之ヲ賢所皇靈殿神殿ニ奉告ス。
- 第十一條 大婚ノ禮ハ別ニ定ムル式ニ依リ賢所大前ニ於テ之ヲ行フ。
- 第十二條 大婚ノ禮訖リタルトキハ天皇皇后ト共ニ皇靈殿神殿ニ拜謝ス。
- 第十三條 大婚ノ禮訖リタルトキハ天皇皇后ト共ニ太皇太后皇太后ニ拜謝ス。
- 第十四條 大婚ノ禮訖リタルトキハ皇族百官臣僚及外國代表者ヲ會シ饗宴ヲ行フ。
- 第十五條 大婚ノ禮ヲ行ヒタルトキハ天皇皇后ト共ニ神宮神武天皇山陵竝先帝先后ノ山陵ニ拜謝ス。
- 第十六條 天皇大婚ノ禮ヲ行ヒタルトキハ定例ニ照ラシ之ヲ外國ノ君主ニ通知ス。
- 第十七條 立后ノ詔書ハ大婚ノ當日之ヲ公布ス。
- 第十八條 立后ノ詔書公布セラレタルトキハ圖書頭其ノ事項ヲ皇統譜ニ登録ス。
- 第十九條 大婚ニ關スル記錄ハ圖書寮ニ於テ之ヲ尙藏ス。
- 天皇諒闇中ハ大婚ノ禮ヲ行ハス。

第二案
修正案
對照

大婚令『皇室婚嫁令』

第一章 大 婚

- 第一條 天皇ノ大婚ハ成年以上ニ達スルニ非ラサレハ之ヲ成サス
- 『第一條 大婚ノ禮ハ天皇滿十七年ニ達シタル後ニ於テ之ヲ行フ』
- 第二條 天皇正配ヲ立ツルニハ皇族又ハ華族侯爵以上名家ノ女子滿十五年以上ノ者ニ限ル
- 『第二條 天皇皇后ヲ立ツルハ皇族又ハ特ニ定メタル華族ノ女子滿十五年以上ノ者ニ限ル』
- 第三條 天皇未タ成年ニ達セサルトキ皇后ヲ定ムルニハ攝政同意アルコトヲ要ス
- 第四條 天皇皇后ヲ定メントスルトキハ之ヲ太皇太后皇太后ニ啓告ス』
- 第三條 天皇正配ヲ定ムルトキハ宮内大臣之ヲ公告ス
- 『第五條 天皇皇后ヲ定メタルトキハ宮内大臣之ヲ公告ス』
- 第四條 天皇正配ヲ定ムルトキハ其女子ニ勳一等寶冠章ヲ授賜ス
- 『第六條 天皇華族ノ女子ヨリ皇后ヲ定メタルトキハ特ニ其戸主ノ爵ニ均シキ名稱ヲ賜フ』
- 第五條 天皇皇族ニ非ラサル女子ヲ正配ト定ムルトキハ其女子仍ホ生家ノ籍ニ在ルモ特ニ殿下ノ敬

大婚令『皇室婚嫁令』

稱ヲ宣賜ス宮内大臣之ヲ公告ス

第六條 天皇正配ヲ定ムルトキハ奉幣使ヲ神宮神武天皇山陵竝先帝山陵ニ遣ハシ皇后冊立及大婚ノ禮ヲ行フコトヲ虔告ス

第七條 天皇皇后ヲ定メタルトキハ之ヲ賢所皇靈殿神殿ニ奉告シ神武天皇山陵竝先帝先后ノ山陵ニ奉幣使ヲ發遣ス

第八條 天皇皇后ヲ定メタルトキハ定例ニ照ラシ之ヲ外國ノ君主ニ通知ス

第九條 天皇皇后ヲ定メタルトキハ宮内大臣之ヲ外國使臣ニ通知ス

第十條 天皇皇后ヲ定メタルトキハ皇族百官臣僚及外國使臣ヲ會シ饗宴ヲ行フ

第七條 皇后冊立及大婚ヲ行フ期日ハ宮内大臣之ヲ公告ス

第十一條 大婚ノ禮ヲ行フ期日ハ宮内大臣之ヲ公告ス

第十二條 大婚ノ禮ヲ行フ期日定マリタルトキハ宮内大臣之ヲ外國使臣ニ通知ス

第十三條 大婚ノ禮ヲ行フ當日之ヲ賢所皇靈殿神殿ニ奉告ス

第八條 天皇ハ別ニ定メタル式ニ依リ皇后冊立ノ禮ヲ行フ

第九條 天皇ハ皇后冊立ノ禮訖レハ別ニ定メタル式ニ依リ賢所大前ニ於テ大婚ノ禮ヲ行フ

第十四條 大婚ノ禮ハ別ニ定ムル式ニ依リ賢所大前ニ於テ之ヲ行フ

第十五條 大婚ノ禮訖リタルトキハ天皇皇后ト共ニ皇靈殿神殿ニ拜謝ス

第十條 天皇大婚ノ禮訖レハ皇后ト皇尊屬親ヲ太皇太后皇太后包含シテ言フニ親謁シ告謝ノ禮ヲ行フ

第十六條 大婚ノ禮訖リタルトキハ天皇皇后ト共ニ太皇太后皇太后ニ拜謝ス

第十一條 天皇尊屬親告謝ノ禮訖レハ皇后ト皇族ヲ會見シ饗宴ヲ賜フ

第十二條 天皇大婚ノ禮ヲ行フタル次日皇后ト百官臣僚ヲ會見シ饗宴ヲ賜フ

第十七條 大婚ノ禮訖リタルトキハ皇族百官臣僚及外國使臣ヲ會シ饗宴ヲ行フ

第十三條 天皇ハ大婚ノ禮ヲ行フタル後一箇月以内ニ皇后ト神宮神武天皇山陵竝先帝山陵ニ親謁

シ告謝ノ禮ヲ行フ

第十八條 大婚ノ禮ヲ行ヒタルトキハ天皇皇后ト共ニ神宮神武天皇山陵竝先帝先后ノ山陵ニ拜謝ス。

第十九條 天皇大婚ノ禮ヲ行ヒタルトキハ定例ニ照ラシ之ヲ外國ノ君主ニ通知ス

第十四條 立后ノ詔書ヲ公布スルハ當日ヲ以テシ宮内大臣之ニ副署ス

第二十條 立后ノ詔書ハ大婚ノ當日之ヲ公布ス

第十五條 皇后冊立ノ日直ニ皇后宮職職員ヲ任命ス

第十六條 皇后冊立シタルトキハ宮内大臣圖書頭ニ命ジ皇統譜ニ之ヲ録サシム

第二十一條 立后ノ詔書公布セラレタルトキハ圖書頭其事項ヲ皇統譜ニ登録ス

大婚ニ關スル記録ハ圖書寮ニ於テ之ヲ尙藏ス

第十七條 天皇諒闇中ハ正配ヲ定メズ又大婚ノ禮ヲ行ハズ

第二十二條 天皇諒闇中ハ大婚ノ禮ヲ行ハズ

第十八條 皇后冊立及大婚ノ禮ヲ行フ經費ハ國庫ヨリ支出セシム。

皇室婚姻式草案

第一編 大 婚 式

賢所告納后ノ儀

皇靈殿告納后ノ儀

神殿告納后ノ儀

神宮山陵大奉幣使發遣ノ儀

神宮大陵大奉幣ノ儀

命納采使ノ儀附后氏本第ノ儀

賜寶冠章ノ儀

納采後后氏參内ノ儀

納采後慶宴ノ儀

命告期使ノ儀 附后氏本第ノ儀

命御書使ノ儀 附后氏本第ノ儀

皇室婚姻式草案

賢所告立后ノ儀

皇靈殿告立后ノ儀

神殿告立后ノ儀

后氏入内ノ儀

立后詔書宣布ノ儀

賢所大前大婚誓盟竝拜謝ノ儀

皇靈殿拜謝ノ儀

神殿拜謝ノ儀

皇太后本宮行幸告謝ノ儀

太皇太后本宮行幸告謝ノ儀

大床子供膳ノ儀

供三個夜餅ノ儀

大婚後慶宴 第一日ノ儀

同 第二日ノ儀

同 第三日ノ儀

神宮山陵行幸拜謝ノ儀

附例三條

第一編

皇太子成婚式

皇太孫之
ニ同ジ

賢所告納妃ノ儀

皇靈殿告納妃ノ儀

神殿告納妃ノ儀

神宮山陵奉幣ノ儀

命納采使ノ儀 附妃氏本第ノ儀

賜寶冠章ノ儀

納采後宮中慶宴ノ儀

命告期使ノ儀 附妃氏本第ノ儀

御書使ノ儀

賢所告成婚ノ儀

皇靈殿告成婚ノ儀

皇室婚姻式草案

神殿告成婚ノ儀

妃氏入宮ノ儀

皇太子妃氏參内ノ儀

賢所大前成婚誓盟竝拜謝ノ儀

皇靈殿拜謝ノ儀

神殿拜謝ノ儀

參内拜謝ノ儀

皇太后本宮行啓拜謝ノ儀

太皇太后本宮行啓拜謝ノ儀

本宮供膳ノ儀

供三箇夜餅ノ儀

成婚後宮中慶宴ノ儀

神宮山陵行啓拜謝ノ儀

附例二條

第三編 親王成婚式 王之ニ
同シ

賢所大前成婚誓盟竝拜謝ノ儀

皇靈殿拜謝ノ儀

神殿拜謝ノ儀

參内拜謝ノ儀

皇太后本宮拜謝ノ儀

太皇太后本宮拜謝ノ儀

附例二條

第四編 書式

大婚公告ノ書式二通

附例一條

皇族婚嫁ヲ聽スノ書三通

皇族婚嫁公告ノ書式五通

皇室婚姻式草案

皇室婚姻式

第一編 大婚式

賢所告納后ノ儀

當日早旦御殿ヲ裝飾ス

時刻大勳位、親任官、公爵、從一位、勳一等、宮内省、判任官、及夫人同各廳勅任官、侯爵麝香間及錦鷄間祇、侯伯爵、子爵、男爵、及夫人、宮内省、奏任官、各廳奏任官以上總代朝集所ニ參集ス。

次ニ天皇隔殿ニ渡御

次ニ御服御束帶黃櫛ヲ供ス侍從
染御袍

次ニ御手水ヲ供ス侍從
奉仕

此間扈從ノ諸臣服裝ヲ易ユ

次ニ式部前導諸員拜殿ニ參進本位ニ就ク

次ニ御扉ヲ開ク

此間神樂歌ヲ奏ス

次ニ神饌幣物ヲ供ス

此間神樂歌ヲ奏ス

次ニ掌典長祝詞ヲ奏ス

次ニ出御式部長侍從長前行侍從劔璽ヲ奉ス親王妃王竝妃宮内大臣扈從ス諸員最敬禮ヲ行フ

次ニ内陣ノ御座ニ着御侍從劔璽ヲ奉シ外陣ノ左右ニ候ス

次ニ御拜御告文ヲ奏シ給フ御鈴常儀
ノ如シ

次ニ隔殿ニ入御諸員最敬禮ヲ行フ

次ニ諸員一同拜禮ヲ行フ

次ニ幣物神饌ヲ撤ス

此間神樂歌ヲ奏ス

次ニ御扉ヲ閉ヅ

此間神樂歌ヲ奏ス

次ニ各退下

皇靈殿告納后ノ儀

其儀賢所ノ式ノ如シ

神殿告納后ノ儀

其儀皇靈殿ノ式ノ如シ

神宮山陵大奉幣使發遣ノ儀

其儀恒例奉幣使發遣式ノ如シ

神宮山陵大奉幣ノ儀

神宮奉幣ノ儀ハ神嘗祭奉幣式ノ如ク山陵奉幣ノ儀ハ四月三日畝傍山東北陵奉幣ノ式ノ如シ

命納采使ノ儀

時刻使參内ス

次ニ式部長出御ヲ奏請ス

次ニ式部長使ヲ引キ御前ニ參進ス使最敬禮ヲ行フ

次ニ宮内大臣旨ヲ承ケ使ニ對シ其親王ノ女某女王ヲ納シ皇后ト爲スヲ以テ某親王ニ告グベキ由ヲ宣フ使最敬禮ヲ行フ
次ニ入御
畢テ使幣贊ヲ奉ジ后氏ノ第二向フ義裝常ノ如シ

后氏本第ノ儀

時刻勅使后氏ノ第二至ル別當家令奉迎ス

次ニ父親王正寢ノ座ニ就ク

次ニ別當前導勅使參進ス父親王敬禮アリ

次ニ勅使某女王ヲ納レ皇后ト爲ス旨ヲ宣フ父親王敬禮アリ訖テ休所ニ退ク

次ニ父親王母妃后氏正寢ノ座ニ就ク

次ニ別當前導勅使參進ス父親王以下敬禮アリ

次ニ父親王敬テ勅旨ヲ奉ズト對フ

次ニ勅使幣贊ヲ賜フ旨ヲ父親王ニ宣フ

次ニ勅使ノ隨員幣贊ノ案ヲ昇ギ之ヲ別當ニ進ム

次ニ別當家令幣贊ノ案ヲ昇ギ父親王ノ前ニ置ク

父親王以下最敬禮アリ

次ニ幣使退出別當家令奉送ス

翌日父親王參内シ恩ヲ謝ス

后氏本第ノ儀ハ皇族ノ女子ヲ納ル、モノトシ式ヲ設クト雖華族ノ女子ヲ納ル、トキハ其儀註左ノ如シ賜寶冠章ノ儀以下之ニ同ジ

后氏本第ノ儀

時刻勅使后氏ノ第二至ル家令家扶門外ニ奉迎ス

次ニ勅使正寢ニ入ル家令前導シ主人廂外ニ奉迎ス

次ニ主人勅使ノ前ニ詣リ敬禮ヲ行フ

次ニ勅使女某子ヲ納レテ皇后ト爲ス旨ヲ主人ニ宣フ主人敬禮ヲ行フテ退ク

次ニ主人母夫人后氏勅使ノ前ニ詣リ敬禮ヲ行フ

次ニ主人敬テ勅使ヲ奉ズト對フ

次ニ勅使幣贊ヲ賜フ旨ヲ主人ニ宣フ主人以下敬禮ヲ行フ

次ニ勅使ノ隨員幣贊ノ案ヲ昇ギ之ヲ家令ニ授ク

次ニ家令家扶幣贊ノ案ヲ昇ギ主人ノ前ニ置ク主人以下敬禮ヲ行フ

次ニ勅使退出主人以下廂外ニ奉送シ家令家扶門外ニ奉送ス

翌日主人參内シテ恩ヲ謝ス

舊例天皇大婚ノ約ヲ結ビ給フニ勅使ヲ以テ其主家ニ告シムルモ別ニ儀式ヲ行ナハズ而シテ納采使ノ名稱ナシ今新ニ之ヲ設ク

賜寶冠章ノ儀

當日皇太后使后氏ノ第二至ル別當家令奉迎ス

次ニ父親王母妃后氏正寢ノ座ニ就ク

次ニ使參進シ寶冠章ヲ后氏ニ上ツル

次ニ使退出ス別當家令奉送ス

寶冠章ハ皇后ヨリ授賜セラル、ノ例ナルニ由リ皇太后使ヲ以テ進贈セラル若シ皇太后在ラザレバ勅使ヲ以テ之ヲ進贈セラル

ハ朱書

納采後后氏參内ノ儀

兼日勅使后氏ノ第二至テ其日慶宴ヲ行フヲ以テ后氏參内アルベキ旨ヲ父親王ニ宣フ
當日何時后氏參内ス
次ニ天后后氏ヲ引見ス
畢テ后氏休廬ニ退ク

納采後慶宴ノ儀

當日何時群官臣僚外國客使及夫人參内ス
次ニ式部長出御ヲ奏請ス
次ニ天皇出御后氏陪隨式部長侍從長前行親王竝妃王竝妃宮内大臣扈從ス諸員最敬禮ヲ行フ
次ニ諸員慶ヲ奉ズ其儀別ニ定ム
次ニ饗饌ヲ賜フ
次ニ入御諸員最敬禮ヲ行フ
畢テ諸員退下

『當日召スベキ諸員ハ期ニ臨ミ之ヲ定メラル』

命告期使ノ儀

當日何時使參内ス
次ニ式部長出御ヲ奏請ス
次ニ天皇便殿ニ出御
次ニ式部長使ヲ引キ御前ニ參進ス使最敬禮ヲ行フ
次ニ宮内大臣旨ヲ承テ使ニ對シテ來何日大婚ノ禮ヲ行フヲ以テ后氏ノ父親王ニ告グベキ由ヲ宣フ
使最敬禮ヲ行フ
次ニ入御
畢テ使御劔ヲ奉ジ后氏ノ第二向フ儀裝常ノ如シ

后氏本第ノ儀

時刻勅使后氏ノ第二至ル別當家令奉迎ス
次ニ父親王母妃后氏正寢ノ座ニ就ク

皇室婚姻式草案

次ニ勅使參進別當前導ス
 次ニ勅使大婚ノ例ヲ行フ期日ヲ父親王ニ宣フ
 次ニ勅使御劔ヲ后氏ニ賜フ旨ヲ父親王ニ宣フ
 次ニ勅使隨員御劔
 次ニ別當家令御劔ノ案ヲ昇ギ后氏ノ前ニ置ク后氏敬禮アリ
 次ニ勅使退出別當家令奉送ス
 『古例立后ニハ兼宣旨使ト稱シ何月何日立后アルヘキ旨ヲ皇后タルヘキ本人ニ告ケシメラル今新ニ告期使ノ名稱ヲ設ケ儀式ハ兼宣旨使ノ例ヲ參酌ス
 古例御劔ヲ賜フノ期定マラス今告期ノ日時ニ於テ之ヲ賜フモノトス。』

命御書使ノ儀

立后前一日何時使參内ス
 次ニ式部長出御ヲ奏請ス
 次ニ天皇便殿ニ出御
 次ニ式部長使ヲ引キ御前ニ參進ス使最敬禮ヲ行フ

次ニ宮内大臣御書紅色薄葉、斐紙之ニ同シヲ使ニ授ク使之ヲ受ケ最敬禮ヲ行フ
 次ニ入御
 畢テ使御書ヲ柳篋ニ納メ之ヲ奉シテ后氏ノ本第二向フ儀裝常ノ如シ

后氏本第ノ儀

時刻勅使后氏ノ第二至ル別當家令奉迎ス
 次ニ父親王母妃后氏正寢ノ座ニ就ク
 次ニ勅使參進別當前導ス
 次ニ勅使御書文杖ニ挿ミ、隨員捧持ヲ后氏ニ上ツル后氏之ヲ受ケ敬禮アリ勅使文杖ヲ執ル休所ニ退ク
 次ニ再ヒ正寢ニ參進別當前導ス
 次ニ后氏奉答書紅色薄葉、斐紙紫色薄葉ヲ勅使ニ授ク
 次ニ勅使休所ニ退キ后氏ノ奉答書ヲ柳篋ニ納メ之ヲ奉シテ退出ス別當家令奉送ス
 即日勅使后氏ノ奉答書ヲ御前ニ上ツル
 『御書使ノ儀ハ古例ヲ參酌ス』

賢所告立后ノ儀

立后當日早且御殿ヲ裝飾ス

何時宮内省勅任官奏任官着床

次ニ御扉ヲ開ク

此間神樂歌ヲ奏ス

次ニ神饌ヲ供ス

此間神樂歌ヲ奏ス

次ニ掌典長祝詞ヲ奏ス

次ニ御代拜御玉串ヲ奉ル

次ニ諸員一同拜禮ヲ行フ

次ニ神饌ヲ撤ス

此間神樂歌ヲ奏ス

次ニ御扉ヲ閉ツ

此間神樂歌ヲ奏ス

次ニ各退下

皇靈殿告立后ノ儀

其儀賢所ノ式ノ如シ

神殿告立后ノ儀

其儀皇靈殿ノ式ノ如シ

后氏入内ノ儀

時刻勅使后氏ノ第二至ル別當家令奉迎ス

次ニ父親王母妃后氏正寢ノ座ニ就ク

次ニ勅使參進別當前導ス

次ニ勅使臣某等勅旨ヲ奉シ某女王ヲ奉迎スト父親王ニ啓ス父親王以下

次ニ勅使休所ニ退ク

次ニ后氏車ニ升リ儀衛ヲ傳へ本第ヲ出ヅ勅使以下扈ス

次ニ后氏本宮ニ入ル

「人内ノ儀ハ古例ニ參酌ス」

立后詔書宣布ノ儀

時刻大勳位、親任官、公爵、從一位、勳一等、一等官、侯爵、正二位、二等官、麝香間及錦鷄間
祇候伯爵、子爵、男爵、三等官以下參内ス

次ニ式部官前導諸員正殿ニ參進シ本位ニ就ク

次ニ式部長出御ヲ奏請ス

次ニ出御式部長前行侍從劔璽ヲ奉ス親王並侍從長扈從ス諸員最敬禮ヲ行フ

次ニ玉座ニ着御侍從劔璽ヲ奉ジ左右ニ侍ス

次ニ宮内大臣進テ玉座ノ前面東頭ニ立ツ

次ニ侍從長詔書ヲ上ル

次ニ天皇宮内大臣ヲ召シ立后詔書ヲ宣布スヘキ旨ヲ勅シ之ヲ授ケ給フ宮内大臣詔書ヲ受ケ最敬禮
ヲ行フテ本位ニ復ス

次ニ入御

次ニ諸員退下

「立后詔書宣布ノ儀ハ冊立皇后ノ古儀ヲ參酌ス」

賢所大前大婚誓盟並拜謝ノ儀

時刻大勳位、親任官、公爵、從一位、勳一等、一等官、侯爵、正二位、二等官、麝香間及錦鷄間
祇候、伯爵、子爵、男爵、及夫人、三等官以下朝集所ニ參集ス

同時外國客使並夫人朝集所ニ參集ス

次ニ天皇皇后隔殿ニ渡御

次ニ天皇ニ御服御束帶黃
櫛染御袍ヲ供ス侍從
奉仕

次ニ皇后ニ御服白御
裝束ヲ供ス女官
奉仕

次ニ天皇ニ御手水ヲ供ス侍從
奉仕

次ニ皇后ニ御手水ヲ供ス女官
奉仕

此間扈從ノ諸臣女官服裝ヲ易ユ

次ニ式部官前導諸員拜殿ニ參進シ本位ニ就ク

次ニ式部官前導外國客使並夫人拜殿ノ陪位ニ就ク

次ニ御扉ヲ開ク

此間神樂歌ヲ奏ス

次ニ神饌幣物ヲ供ス

此間神樂歌ヲ奏ス

次ニ掌典長祝詞ヲ奏ス

次ニ天皇出御式部長侍從長前行侍從鈿璽ヲ奉ス親王竝宮内大臣扈從ス諸員最敬禮ヲ行フ

次ニ皇后出後皇后宮大夫前行親王妃王妃女官扈從ス諸員最敬禮ヲ行フ

次ニ天皇内陣ノ御座ニ着御侍從鈿璽ヲ奉シ外陣ノ左右ニ候ス

次ニ皇后内陣ノ御座ニ着御女官外陣ニ候ス

次ニ天皇皇后御同拜

次ニ天皇御誓文ヲ奏シ給フ御鈴常儀ノ如シ

此間皇后御面伏

次ニ掌典神盃ヲ天皇ニ献ス掌典長御瓶子ヲ執ル天神盃ヲ掌典ニ授ケ給フ

次ニ掌典神盃ヲ皇后ニ献ス掌典長御瓶子ヲ執ル皇后神盃ヲ掌典ニ授ケ給フ

次ニ天皇皇后御同拜

次ニ天皇謝恩ノ御告文ヲ奏シ給フ

此間皇后御面伏

次ニ天皇皇后隔殿ニ入御諸員最敬禮ヲ行フ

次ニ諸員一同拜禮ヲ行フ

次ニ幣物神饌ヲ撤ス

此間神樂歌ヲ奏ス

次ニ御扉ヲ閉ツ

此間神樂歌ヲ奏ス

次ニ各退下

『天皇皇后ニ神盃ヲ献スルハ天皇元服ノ禮ニ祭體祭肴ヲ啐メ給フ古例ヲ參酌ス』

皇靈殿拜謝ノ儀

時刻宮内省勅任官奏任官着床

次ニ御扉ヲ開ク

此間神樂歌ヲ奏ス

皇室婚姻式草案

次ニ神饌幣物ヲ供ス

此間神樂歌ヲ奏ス

次ニ掌典長祝詞ヲ奏ス

次ニ天皇出御式部長侍從長前行侍從鈿璽ヲ奉ス親王竝宮内大臣扈從ス諸員最敬禮ヲ行フ

次ニ皇后出御皇后宮大夫前行親王妃王妃女官扈從ス諸員最敬禮ヲ行フ

次ニ天皇内陣ノ御座ニ着御侍從鈿璽ヲ奉ジ外陣ノ左右ニ候ス

次ニ皇后内陣ノ御座ニ着御女官外陣ニ候ス

次ニ天皇皇后御同拜

次ニ天皇御告文ヲ奏シ給フ

此間皇后御面伏

次ニ天皇皇后隔殿ニ入御諸員最敬禮ヲ行フ

次ニ諸員一同拜禮ヲ行フ

次ニ幣物神饌ヲ撤ス

此間神樂歌ヲ奏ス

次ニ御扉ヲ閉ツ

此間神樂歌ヲ奏ス

次ニ各退下

神殿拜謝ノ儀

其儀皇靈殿ノ式ノ如シ

皇太后本宮行幸告謝ノ儀

時刻天皇皇后儀衛ヲ備ヘ皇太后ノ本宮ニ幸ス

次ニ皇太后正殿ノ廂ニ於テ迎ヘ給フ

次ニ正殿ノ御座ニ着御

次ニ天皇皇后拜謝皇太后答拜

畢テ還幸皇太后正殿ノ廂ニ於テ送り給フ

太皇太后本宮行幸告謝ノ儀

其儀皇太后本宮ノ式ノ如シ

皇室婚姻式草案

大床子供膳ノ儀

時刻勅使ノ内侍皇后ノ本官ニ至リ召ス由ヲ啓ス

次ニ天皇皇后大床子ノ御座ニ着御

次ニ御臺盤ヲ立ツ

次ニ御膳ヲ供ス

次ニ御酒ヲ供ス

次ニ天皇御盃ヲ皇后ニ賜フ陪膳女官御
瓶子ヲ取ル

次ニ皇后御瓶子ヲ取テ天皇ノ御前ニ進ミ御酒ヲ獻ジ給フ

次ニ御箸ヲ立テ給フ

畢テ入御

『大床子ノ御膳ハ天皇元服後宴立后節會及女御入内ノ翌日賜天盃ノ古例ヲ參酌ス』

供三箇夜餅ノ儀

時刻華族某勅旨ヲ奉ジ三箇夜餅ヲ調進ス

午後何時女官三箇夜餅ヲ御寢所ニ供ス

其儀銀盤四枚ニ白餅ヲ盛リ洲濱ノ上ニ鶴形一雙ヲ立テ御箸ヲ鶴嘴ニ置キ以上悉皆
銀製珍木螺鈿燕ノ宮

ニ納メ蓋ヲ覆フ

翌日三箇夜餅ハ清淨ノ地ニ埋ム

『三箇夜餅ハ總テ古例ニ據ル』

大婚後慶宴第一日ノ儀

當日何時親王、内親王、親王妃、王、女王、王妃、參内ス

時刻太皇太后皇太后着御式部長宮内大臣奉迎ス

次ニ天皇皇后便殿ニ出御

次ニ太皇太后、皇太后玉座ノ右腋ニ出御

次ニ親王、内親王、親王妃、王、女王、王妃慶ヲ奏ス

次ニ御饌ヲ供ス

次ニ御酒ヲ供ス

此間樂師樂ヲ奏ス

次ニ太皇太后皇太后退御

次ニ入御

畢テ親王以下退下

同日ノ儀

當日何時群官臣僚外國客使及夫人參内ス

次ニ式部長出御ヲ奏請ス

次ニ天皇皇后便殿ニ出御式部長侍從長前行親王竝妃王竝妃宮内大臣皇后宮大夫女官扈從ス諸員最

敬禮ヲ行フ

次ニ諸員慶ヲ奏其儀別ニ定ム

次ニ饗饌晚餐ヲ賜フ

此間樂師樂ヲ奏ス

次ニ入御諸員最敬禮ヲ行フ

畢テ各退下

同日ノ儀

當日何時群官臣僚各國客使及夫人參内ス

次ニ諸員正殿ニ參列

次ニ式部長出御ヲ奏請ス

次ニ天皇皇后出御式部長侍從長前行親王竝妃王竝妃宮内大臣皇后宮大夫女官扈從ス諸員最敬禮ヲ

行フ

次ニ舞樂御覽諸員陪侍ス

次ニ饗饌ヲ賜フ

此間樂師樂ヲ奏ス

次ニ入御諸員最敬禮ヲ行フ

畢テ各退下

神宮山陵行幸拜謝ノ儀

其儀總テ恒例親謁ノ式ノ如シ

- 一、立后ノ當日皇后宮太夫以下任命ス
- 一、賢所大前ノ儀訖レハ陸海軍ニ於テ禮砲執行ス
- 一、紀會章ヲ製シ大婚ノ式ニ關スル群官臣僚ニ賜フ
但大婚當日參内シタル外國客使ニ賜フ

第一編 皇太子成婚式 皇太孫之ニ同ジ

賢所告納妃ノ儀

當日早且御殿ヲ裝飾ス

時刻親王竝妃、王竝妃、大勳位、親任官、公爵、從一位、勳一等、宮内省勅任官、及夫人同、各廳勅任官、侯爵、麝香間及錦鷄間祇候伯爵、子爵、男爵、及夫人 總代各一員 宮内省奏任官、各廳奏任官 總代各一員 朝集所ニ參集ス

次ニ皇太子隔殿ニ參入

次ニ儀服 東帶黃丹袍ヲ供ス 東宮侍從奉仕

次ニ手水ヲ供ス 東宮侍從奉仕

此間扈從ノ諸臣服裝ヲ易ユ

次ニ式部官前導諸員拜殿ニ參進本位ニ就ク

次ニ御扉ヲ開ク

此間神樂歌ヲ奏ス

次ニ神饌幣物ヲ供ス

此間神樂歌ヲ奏ス

次ニ掌典長祝詞ヲ奏ス

次ニ天皇御代拜

次ニ皇后御代拜

次ニ皇太子内陣ニ着座式部長東宮侍從長前行東宮侍從壺切御劔ヲ奉ズ東宮大夫扈從ス諸員敬禮ヲ行フ

次ニ皇太子拜禮ヲ行フ

次ニ皇太子隔殿ニ退ク諸員敬禮ヲ行フ

次ニ諸員一同拜禮ヲ行フ

次ニ幣物神饌ヲ撤ス

此間神樂歌ヲ奏ス

次ニ御屏ヲ閉ツ

此間神樂歌ヲ奏ス

次ニ各退下

皇靈殿告納妃ノ儀

其儀賢所ノ式ノ如シ

神殿告納妃ノ儀

其儀皇靈殿ノ式ノ如シ

神宮山陵奉幣ノ儀

其儀總テ大婚式神宮山陵奉幣ノ式ノ如シ

命納采使ノ儀

時刻使參内

次ニ皇太子參内

次ニ式部長出御ヲ奏請ス

次ニ天皇皇后便殿ニ出御

次ニ皇太子御腋座ニ着ク

次ニ式部長使ヲ引キ御前ニ參進ス使最敬禮ヲ行フ

次ニ宮内大臣使ニ對シ皇太子某女王ト婚ヲ成スコトヲ約ス其旨ヲ父親王ニ傳フベシト告グ使最敬

禮ヲ行フ

次ニ入御

次ニ皇太子休廬ニ退ク

畢テ使幣贊ヲ奉ジ妃氏ノ第二向フ儀裝常ノ如シ

妃氏本第ノ儀

時刻使妃氏ノ第二至ル別當家令奉迎ス

次ニ父親王正寢ノ座ニ就ク

次ニ別當前導使參進シ皇太子某女王ト婚ヲ成スコトヲ約スト父親王ニ啓ス訖テ休所ニ退ク
 次ニ父親王母妃妃氏正寢ノ座ニ就ク
 次ニ別當前導使參進ス
 次ニ父親王敬テ令旨ヲ奉ズト答フ
 次ニ使幣贊ヲ贈進シ給フ由ヲ父親王ニ啓ス
 次ニ使ノ隨員幣贊ノ案ヲ昇ギ之ヲ別當ニ進ム
 次ニ別當家令幣贊ノ案ヲ昇ギ父親王ノ前ニ置ク
 次ニ使退出別當家令奉送ス
 翌日父親王參内シテ恩ヲ謝シ皇太子ノ宮ニ入リテ敬謝ス臣籍ノ女子ヲ采テ妃ト爲ストキハ大婚式
 納采ノ儀注ヲ準用ス

賜寶冠章ノ儀

其儀大婚式賜寶冠章ニ准ズ但皇太后使ヲ皇后使ニ換ユ

納采後宮中慶宴ノ儀

兼日勅使皇太子ノ宮竝妃氏ノ第二至リ某日宮中ニ於テ慶宴ヲ行フヲ以テ參内アルベキ旨ヲ傳宣ス
 當日何時群官臣僚外國客使及夫人參内ス
 次ニ式部長出御ヲ奏請ス
 次ニ天皇皇后、便殿ニ出御式部長侍從長前行親王竝妃王竝妃宮内大臣皇后宮大夫女官扈從ス
 次ニ皇太子妃氏御掖座ニ着ク
 次ニ諸員慶ヲ奏ス其儀別ニ之ヲ定ム
 次ニ饗饌ヲ賜フ
 畢テ各退下

命告期使ノ儀

當日何時使參内
 次ニ皇太子參内
 次ニ式部長出御ヲ奏請ス
 次ニ天皇皇后便殿ニ出御
 次ニ皇太子御掖座ニ着ク

次ニ式部長使ヲ引キ御前ニ參進使最敬禮ヲ行フ
次ニ宮内大臣使ニ對シ來何日皇太子某女王ト婚禮ヲ行フノ令旨ヲ父親王ニ傳フベシト告グ使最敬禮ヲ行フ

次ニ入御

次ニ皇太子休廬ニ退ク

畢テ使御劔ヲ奉ジ妃氏ノ第二向フ儀裝常ノ如シ

妃氏本第ノ儀

其儀大婚式ノ告期使ニ准ズ

御書使ノ儀

成婚前一日何時東宮使妃氏ノ第二至ル別當家令奉迎ス

次ニ父親王母妃氏正寢ノ座ニ就ク

次ニ使參進別當前導ス

次ニ使御書ヲ妃氏ニ上ル訖テ休所ニ退ク

次ニ使參進別當前導ス

次ニ妃氏奉答書ヲ使ニ授ク

次ニ使休所ニ退キ奉答書ヲ柳篋ニ納メ之ヲ奉ジテ退出ス別當家令奉送ス

即日使奉答書ヲ皇太子ニ上ツル

皇太子御書及妃氏奉答書總テ大婚式御書使ニ同シ

賢所告成婚ノ儀

成婚當日早且御殿ヲ裝飾ス

何時宮内省勅任官奏任官着床

次ニ御扉ヲ開ク

此間神樂歌ヲ奏ス

次ニ神饌ヲ供ス

此間神樂歌ヲ奏ス

次ニ掌典長祝詞ヲ奏ス

次ニ天皇御代拜御玉串ヲ奉ル

次ニ皇后御代拜御玉串ヲ奉ル

次ニ皇太子代拜玉串ヲ奉ル

次ニ諸員一同拜禮ヲ行フ

次ニ神饌ヲ撤ス

此間神樂歌ヲ奏ス

次ニ御扉ヲ閉ヅ

此間神樂歌ヲ奏ス

次ニ右退下

皇靈殿告成婚ノ儀

其儀賢所ノ式ノ如シ

神殿告成婚ノ儀

其儀皇靈殿ノ式ノ如シ

妃氏入宮ノ儀

時刻東宮使妃氏ノ第二至ル別當家令奉迎ス

次ニ父親王母妃氏正寢ノ座ニ就ク

次ニ使參進別當前導ス

次ニ使皇太子ノ令旨ヲ奉ジ某女王ヲ奉迎スト父親王ニ啓ス

次ニ使休所ニ退ク

次ニ妃氏車ニ升リ儀衛ヲ備ヘ本第ヲ出テ東宮使以下扈從ス

次ニ妃氏皇太子ノ宮ニ入ル

皇太子妃氏參内ノ儀

時刻皇太子妃氏儀衛ヲ備ヘ參内式部長奉迎ス

次ニ皇太子妃氏休廬ニ入ル

次ニ式部長、皇太子妃氏參内ノ由ヲ奏ス

賢所大前成婚誓盟竝拜謝ノ儀

時刻大勳位、親任官、公爵、從一位、勳一等、一等官、侯爵、正二位、二等官、麝香間及錦鷄間
祇候、伯爵、子爵男爵及夫人、三等官以下朝集所ニ參集ス同時外國客使竝夫人朝集所ニ參集ス

次ニ皇太子皇太子妃隔殿ニ參入

次ニ天皇皇后隔殿ニ渡御

次ニ天皇ニ御服御東帶黃ヲ供ス侍從
櫛染御袍

次ニ皇后ニ御服白御ヲ供ス女官
裝束

次ニ天皇ニ御手水ヲ供ス侍待
奉仕

次ニ皇后ニ御手水ヲ供ス女官
奉仕

此間扈從ノ諸臣女官服裝ヲ易ユ

次ニ皇太子ニ儀服東帶黃
丹袍ヲ供ス東宮侍
從奉仕

次ニ皇太子妃ニ儀服白裝
束ヲ供ス女官
奉仕

次ニ皇太子ニ手水ヲ供ス東宮侍
從奉仕

次ニ皇太子妃ニ手水ヲ供ス女官
奉仕

此間扈從ノ諸臣女官服裝ヲ易ユ

次ニ式部官前導諸員拜殿ニ參進本位ニ就ク

次ニ式部官前導外國客使竝夫人拜殿ノ陪位ニ就ク

次ニ御扉ヲ開ク

此間神樂歌ヲ奏ス

次ニ神饌幣物ヲ供ス

此間神樂歌ヲ奏ス

次ニ掌典長祝詞ヲ奏ス

次ニ天皇出御式部部長侍從長前行侍從劔璽ヲ奉ズ親王並宮内大臣扈從ス諸員最敬禮ヲ行フ

次ニ皇后出御皇后宮大夫前行親王妃王妃女官扈從ス諸員最敬禮ヲ行フ

次ニ天皇內陣ノ御座ニ着御侍從劔璽ヲ奉ジ外陣ノ左右ニ候ス

次ニ皇后內陣ノ御座ニ着御女官外陣ニ候ス

次ニ天皇御拜御鈴常儀
ノ如シ

次ニ皇后御拜

次ニ天皇内陣西ノ御座ニ移御

次ニ皇后内陣西ノ御座ニ移御

次ニ皇太子内陣ニ進ム式部官東官侍從長前行東官侍從壺切御劔ヲ奉ズ東官大夫扈從ス諸員敬禮ヲ行フ

次ニ皇太子妃内陣ニ進ム東官亮前行女官扈從ス諸員敬禮ヲ行フ

次ニ皇太子着座東宮侍從壺切御劔ヲ奉ジ外陣ニ候ス

次ニ皇太子皇太子妃同拜

次ニ皇太子誓文ヲ奏ス

此間皇太子妃面伏

次ニ掌典神盃ヲ皇太子ニ獻ズ掌典長御瓶子ヲ執ル皇太子神盃ヲ掌典ニ授ク

次ニ掌典神盃ヲ皇太子妃ニ獻ズ掌典長御瓶子ヲ執ル皇太子妃神盃ヲ掌典ニ授ク

次ニ天皇皇后隔殿ニ入御諸員最敬禮ヲ行フ

次ニ皇太子皇太子妃同拜

次ニ皇太子謝恩ノ告文ヲ奏ス

此間皇太子妃面伏

次ニ皇太子皇太子妃隔殿ニ退ク

次ニ諸員一同拜禮ヲ行フ

次ニ幣物神饌ヲ撤ス

此間神樂歌ヲ奏ス

次ニ御扉ヲ閉ヅ

此間神樂歌ヲ奏ス

次ニ各退下

皇太子元服ノ禮ハ紫宸殿ニ於テ之ヲ行ヒ天皇親臨シ又皇太子着袴ノ禮ニハ天皇皇后親臨スルコト有リ今マ此等ノ古例ヲ參酌スル

皇靈殿拜謝ノ儀

時刻宮内省勅任官奏任官着床

次ニ御扉ヲ開ク

此間神樂歌ヲ奏ス

次ニ神饌幣物ヲ供ス

皇室婚姻式草案

此間神樂歌ヲ奏ス

次ニ掌典長祝詞ヲ奏ス

次ニ皇太子内陣ニ着座東宮侍從壺切御劔ヲ奉ジ外陣ニ候ス

次ニ皇太子妃内陣ニ着座女官外陣ニ候ス

次ニ皇太子皇太子妃同拜

次ニ皇太子告文ヲ奏ス

此間皇太子妃面伏

次ニ皇太子皇太子妃隔殿ニ退ク

次ニ諸員一同拜禮ヲ行フ

次ニ幣物神饌ヲ撤ス

此間神樂歌ヲ奏ス

次ニ御扉ヲ閉ヅ

此間神樂歌ヲ奏ス

次ニ各退下

神殿拜謝ノ儀

其儀皇靈殿ノ式ノ如シ

參内拜謝ノ儀

時刻皇太子皇太子妃儀衛ヲ備ヘ參内式部長奉迎ス

次ニ皇太子皇太子妃休廬ニ入ル

次ニ式部長出御ヲ奏請ス

次ニ天皇皇后便殿ニ出御

次ニ式部長前導皇太子皇太子妃御前ニ參進ス

次ニ皇太子皇太子妃最敬禮ヲ行ヒ恩ヲ謝ス

次ニ皇太子皇太子妃最敬禮ヲ行ヒ恩ヲ謝ス

次ニ天皇勅旨アリ

次ニ皇后慈旨アリ

次ニ皇太子皇太子妃御腋座ニ着ク

次ニ御臺盤ヲ立ツ

次ニ御饌御酒ヲ供ス

次ニ天皇御盃ヲ皇太子ニ賜フ

次ニ天皇御盃ヲ皇太子妃ニ賜フ

次ニ皇后御盃ヲ皇太子ニ賜フ

次ニ皇后御盃ヲ皇太子妃ニ賜フ

次ニ御箸ヲ立テ給フ

次ニ入御

次ニ皇太子皇太子妃休廬ニ退ク

皇太后本宮行啓拜謝ノ儀

時刻皇太子皇太子妃儀衛ヲ備ヘ皇太后ノ本宮ニ行啓

次ニ皇太后正殿ニ出御

次ニ皇太子皇太子妃最敬禮ヲ行ヒ恩ヲ謝ス

次ニ皇太后慈旨アリ

次ニ皇太子皇太子妃退下

太皇太后本宮行啓拜謝ノ儀

其儀皇太后本宮ノ式ノ如シ

本宮供膳ノ儀

其儀大婚式大床子供膳ニ准ス

供三箇夜餅ノ儀

其儀大婚式供三箇夜餅ニ准ス

成婚後宮中慶宴ノ儀

當日皇太子皇太子妃參内其儀總テ大婚式慶宴ノ儀ニ准ス

神宮山陵行啓拜謝ノ儀

其儀大婚式神宮山陵行幸拜謝ニ准ス

一、賢所大前ノ儀訖レバ陸海軍禮砲ヲ執行ス

第三編 親王成婚式 王之ニ同シニ

賢所大前成婚誓盃竝拜謝ノ儀

當日早且御殿ヲ裝飾ス

時刻親王、親王妃、隔殿ニ參上服裝及手水ノ儀アリ

次ニ宮内省勅任官竝夫人、總代各一員奏任官親王別當竝夫人家令着床

次ニ御扉ヲ開ク

此間神樂歌ヲ奏ス

次ニ神饌幣物ヲ供ス

此間神樂歌ヲ奏ス

次ニ掌典長祝詞ヲ奏ス

次ニ天皇御代拜

次ニ皇后御代拜

次ニ親王外陣ニ進ミ座ニ着ク

次ニ親王妃外陣ニ進ミ座ニ着ク

次ニ親王親王妃同拜

次ニ親王誓文ヲ奏ス

此間親王妃面伏

次ニ掌典神盃ヲ親王ニ上ツル掌典長御瓶子ヲ執ル親王神盃ヲ掌典ニ授ク

次ニ掌典神盃ヲ親王妃ニ上ツル掌典長御瓶子ヲ執ル親王妃神盃ヲ掌典ニ授ク

次ニ親王親王妃同拜恩ヲ謝ス

次ニ親王親王妃隔殿ニ退ク

次ニ諸員拜禮ヲ行フ

次ニ幣物神饌ヲ撤ス

此間神樂歌ヲ奏ス

次ニ御扉ヲ閉ヅ

此間神樂歌ヲ奏ス

次ニ各退下

皇靈殿拜謝ノ儀

時刻宮内省勅任官竝夫人奏任官總代各一員親王別當竝夫人家令着床

次ニ御屏ヲ開ク

此間神樂歌ヲ奏ス

次ニ神饌幣物ヲ供ス

此間神樂歌ヲ奏ス

次ニ掌典長祝詞ヲ奏ス

次ニ親王外陣ニ進ミ座ニ着ク

次ニ親王妃外陣ニ進ミ座ニ着ク

次ニ親王親王妃同拜恩ヲ謝ス

次ニ親王親王妃隔殿ニ退ク

次ニ諸員拜禮ヲ行フ

次ニ幣物神饌ヲ撤ス

此間神樂歌ヲ奏ス

次ニ御屏ヲ閉ツ

此間神樂歌ヲ奏ス

次ニ各退下

神殿拜謝ノ儀

其儀皇靈殿ノ式ノ如シ

參内拜謝ノ儀

其儀皇太子成婚式ニ同ジ

皇太后本宮拜謝ノ儀

其儀皇太子成婚式ニ同ジ

太皇太后本宮拜謝ノ儀

其儀皇太子成婚式ニ同ジ

- 一、親王、王ノ成婚式中納采使、告期使、御書使、妃氏入宮、親王、王、妃氏參内本宮供膳、供三箇夜餅等ノ諸儀ハ總テ皇太子成婚式ヲ准用ス
- 一、親王王成婚後本宮ニ於テ慶宴ヲ行フトキハ皇太子成婚後宮中慶宴ノ儀ヲ准用ス

第四編 書式

大婚公告ノ書式

本日某親王殿下ノ第何女某女王殿下ヲ納レ皇后ト爲スコトヲ約セラル、旨仰出サル
右告示ス

年號何年何月何日

宮内大臣 某爵 某 名

華族ノ女子ヲ采ルトキハ其文例左ノ如シ以下之ニ倣フ本日某官某位某爵某名ノ第何女某名ヲ納レ皇后ト爲スコトヲ約セラル、旨仰出サル

來何月何日大婚ノ禮ヲ行ハセラル、旨仰出サル

右告示ス

年號何年何月何日

宮内大臣 某爵 某 名

一 御誓文 御告文 立后詔書 外國君主ニ贈ル御親書

右期ニ臨ミ之ヲ撰ム

一 御書 御製ノ歌宸筆ヲ染メ給フ

右期ニ臨ミ御製ノコト

皇族婚嫁ヲ聽スノ書式

皇太子某親王ノ某親王第何女某女王ヲ納レ妃ト爲スコトヲ聽ス

御名 御璽

年號何年何月何日

宮内大臣 某爵 某 名 奉

某親王ノ某親王第何某女王ヲ娶ルコトヲ聽ス

御名 御璽

年號何年何月何日

皇室婚姻式草案

某内親王ノ某官某位某爵某名ニ嫁スルコトヲ聽ス

宮内大臣 某爵 某名 奉

御名 御璽

年號何年何月何日

宮内大臣 某爵 某名 奉

皇族婚嫁公告ノ書式

本日皇太子某親王殿下某親王殿下第何女某女王殿下ト結婚ヲ約セララル

右告示ス

年號何年何月何日

宮内大臣 某爵 某名

來何月何日皇太子某親王殿下婚禮ヲ行ハル

右告示ス

年號何年何月何日

宮内大臣 某爵 某名

來何月何日某親王殿下某親王殿下第何女某女王殿下ト婚禮ヲ行ハル

右告示ス

年號何年何月何日

宮内大臣 某爵 某名

皇太子某親王殿下 本日婚禮濟セララル
某親王殿下

右告示ス

年號何年何月何日

宮内大臣 某爵 某名

本日某内親王殿下某官某位某爵某名ニ嫁セララル

右告示ス

年號何年何月何日

宮内大臣 某爵 某名

皇室婚嫁令

墨書 御用掛案

朱書 本局修正別案

第一章 大婚

以下ハ朱書
以之ニ同
ジ且ツ墨
書正モ朱
ル文字モ

第一條 立后ノ禮ヲ大婚ト稱ス

第二條 大婚ノ禮ハ天皇滿十七年ニ達シタル後ニ於テ之ヲ行フ

第三條 立后ノ禮ハ皇族又ハ特ニ定メタル華族ノ女子滿十五年以上ノ者ニ限ル

第四條 天皇皇后ヲ拜ミタルトキハ勅使ヲ遣ハシ大婚ノ約ヲ定ム

第五條 大婚ノ約ヲ定メタルトキハ宮内大臣之ヲ公告ス

第六條 大婚ノ約ヲ定メタルトキハ之ヲ賢所皇靈殿神殿ニ奉告シ又奉幣使ヲ神宮神武天皇山陵竝先

帝先后ノ山陵ニ奉幣使ヲ發遣ス

第七條 大婚ノ禮ヲ行フ期日ハ宮内大臣之ヲ公告ス

第八條 大婚ノ當日之ヲ賢所皇靈殿神殿ニ奉告ス

第九條 大婚ノ當日立后ノ詔書ヲ公布ス

第十條 大婚ハ別ニ定ムル式ニ依リ賢所大前ニ於テ之ヲ行フ

第十一條 大婚ノ禮訖リタルトキハ天皇皇后ト共ニ皇靈殿神殿ニ拜謝ス

第十二條 大婚ノ禮訖リタルトキハ天皇皇后ト共ニ太皇太后皇太后ニ拜謝ス

第十三條 大婚ノ禮訖リタルトキハ天皇皇后ト共ニ皇族文武百官臣僚優遇者及外國代表者ヲ會シ

饗宴ヲ行フ

第十四條 大婚ノ禮ヲ行ヒタルトキハ天皇皇后ト共ニ神宮神武天皇山陵竝先帝先后ノ山陵ニ拜謝ス

第十五條 立后ノ詔書公布セラレタルトキハ圖書頭其ノ事項ヲ皇統譜ニ登録ス

第十六條 大婚ニ關スル記録ハ圖書寮ニ於テ之ヲ尙藏ス

第十七條 天皇諒闇中ハ大婚ノ禮ヲ行ハズ

皇族婚嫁令

朱書 本局修正原案
墨書 御用掛再修正案

第一章 大 婚

『三六朱書』

『第一條』 大婚ノ禮ハ天皇滿十七年ニ達シタル後ニ於テ之ヲ行フ

『第二條』 天皇皇后ヲ立ツルハ皇族又ハ特ニ定メタル華族ノ女子滿十五年以上ノ者ニ限ル

『第三條』 大婚ノ約成定メタルトキハ宮内大臣之ヲ公告ス

『第四條』 大婚ノ約成定メタルトキハ之ヲ賢所皇靈殿神殿ニ奉告シ又奉幣使ヲ神宮神武天皇山陵竝先帝先后ノ山陵ニ發遣ス

第五條 大婚ノ約成リタルトキハ定例ニ照ラシ之ヲ外國ノ君主ニ通知ス。

第六條 大婚ノ約成リタルトキハ外務大臣之ヲ外國代表者ニ通知ス。

第七條 大婚ノ約成リタルトキハ皇族文武高官有爵者優遇者及外國代表者ヲ會シ慶宴ヲ行フ

『第八條』 大婚ノ禮ヲ行フ期日ハ宮内大臣之ヲ公告ス

第九條 大婚ノ禮ヲ行フ期日定マリタルトキハ外務大臣之ヲ外國代表者ニ通知ス。

『第十條』 大婚ノ禮ヲ行フ當日之ヲ賢所皇靈殿神殿ニ奉告ス

『第十一條』 大婚ノ禮ハ別ニ定メタル式ニ依リ賢所大前ニ於テ之ヲ行フ

第十二條 立后ノ詔書ハ大婚ノ禮ヲ行フ當日之ヲ公布ス。

『第十二條』 大婚成リタルトキハ天皇皇后ト共ニ皇靈殿神殿ニ謁謝ス

『第十三條』 大婚成リタルトキハ天皇皇后ト共ニ太皇太后皇太后ニ謁謝ス

『第十三條』 大婚成リタルトキハ天皇皇后ト共ニ皇族文武高官有爵者優遇者及外國代表者ヲ會シ慶宴ヲ行フ

『第十四條』 大婚ノ禮ヲ行ヒタルトキハ天皇皇后ト共ニ神宮神武天皇山陵竝先帝后ノ山陵ニ謁謝ス

第十七條 天皇大婚ノ禮ヲ行ヒタルトキハ定例ニ照ラシ之ヲ外國ノ君主ニ通知ス

『第十條』 立后ノ詔書公布セラレタルトキハ圖書頭其ノ事項ヲ皇統譜ニ登録ス

大婚ニ關スル記録ハ圖書寮ニ於テ之ヲ尙藏ス

『第十條』 諒闇中ハ大婚ノ禮ヲ行ハズ

二十九年 度

御資部歳入歳出豫算

内 藏 寮

一金百七十萬九百五十八圓六十七錢四厘

歳 入 豫 算 高

此項別

金二十七萬六千七百六十六圓也

公 債 利 子

此目別

金六百七十九圓五十錢也

五分利金祿公債利子

但五分利金祿公債證書額面一萬三千五百九十圓ニ對スル利子ニシテ五月、十二月ノ二期ニ收

入スベキ分

金一萬千九百五圓也

整 理 公 債 利 子

但整理公債證書額面二十三萬八千百圓ニ對スル年五分ノ利子ニシテ六月、十二月ノ二期ニ收

入スベキ分

金二千七百十二圓五十錢也

鐵 道 公 債 利 子

但鐵道公債證書額面五萬四千二百五十圓ニ對スル年五分ノ利子ニシテ六月、十二月ノ二期ニ

收入スベキ分

金一萬七千二百二十圓也

東 京 市 公 債 利 子

但東京市公債證書額面二十八萬七千圓ニ對スル年六分ノ利子ニシテ六月、十二月ノ二期ニ收

入スベキ分

金三萬六千三百二十四圓也

大 阪 市 公 債 利 子

但大阪市公債證書額面六十萬五千四百圓ニ對スル年六分ノ利子ニシテ六月、十二月ノ二期ニ

收入スベキ分

金二十萬七千九百二十五圓也

軍 事 公 債 利 子

但軍事公債證書額面四百五十萬八千五百圓ニ對スル年五分ノ利子ニシテ六月、十二月ノ二期ニ

ニ收入スベキ分

金百三十萬三千六百九十四圓四十九錢四厘

株 券 利 賦

此目別

金百三萬五千圓也

日 本 銀 行 割 賦 金

二十九年 度 御 資 部 歳 入 歳 出 豫 算

但日本銀行株式六萬九千株ニ係ル現拂込額千三十五萬圓ニ對スル二十八年下半年及二十九年上半季割賦金ニシテ配當年一割ノ見込

金十五萬八千四百三十七圓五十錢也

正金銀行割賦金

但正金銀行舊株券額面八十萬二千五百圓ニ對スル二十八年下半年季及二十九年上半季割賦金年一割五分ノ見込ニテ十二萬三百七十五圓ト同新株式五千七十五株ニ係ル現拂額面二十五萬三千七百五十圓ニ對スル同上見込ニテ三萬八千六十二圓五十錢ト併テ本行ノ通收入ノ見込

金百四十三圓也

第十五國立銀行割賦金

但第十五國立銀行株券額面千百圓ニ對スル二十八年下半年季及二十九年上半季割賦金ニシテ配當年一割三分ノ見込

金八百六十圓也

札幌製糖會社割賦金

但札幌製糖會社株式四百株ニ係ル現拂込額一萬七千二百圓ニ對スル二十八年度分割賦金ニシテ配當年五分ノ見込

金六萬圓也

北海道炭礦鐵道會社割賦金

但北海道炭礦鐵道會社株券額面五十萬圓ニ對スル二十八年下半年季及二十九年上半季割賦金ニシテ配當年一割二分ノ見込

金千六百七十二圓也

參宮鐵道株式會社割賦金

但參宮鐵道株式會社舊株券額面九千五百圓ニ對スル二十八年下半年季及二十九年上半季割賦金年一割ノ見込ニテ九百五十圓ト同新株式百九十株ニ係ル現拂込額七千二百二十圓ニ對スル同上見込ニテ七百二十二圓ト併セテ本行ノ通收入ノ見込

金千二百圓也

總武鐵道會社割賦金

但總武鐵道會社株券額面一萬二千圓ニ對スル二十八年下半年季及二十九年上半季割賦金ニシテ配當年一割ノ見込

金四萬六千三百八十一圓九十九錢四厘

日本郵船株式會社割賦金

但日本郵船株式會社株券額面六十萬六千圓ニ對スル二十八年下半年季及二十九年上半季割賦金(年一割ノ見込)六萬六千圓ノ内一萬三千六百七十八圓六厘ハ右株券價格低減ノ爲メ財本部ニ引入ニ付差引本行ノ通收入ノ見込

金一萬七千七百圓也

會社債利子

此目別

金一萬七千七百圓也

日本郵船會社債利子

但日本郵船會社債券額面二十九萬五千圓ニ對スル年六分ノ利子ニシテ四月十月ノ二期ニ收

二十九年度御資部歳入歳出豫算

入スベキ分

金三萬三千五百圓也

繰替貸利子

此目別

金三萬三千五百圓也

御料部超年繰替貸利子

但御料部超年繰替貸六十八萬圓ノ内六十六萬圓ニ對スル全年度分利子三萬三千圓ト二十九年

六月返入見込額二萬圓ニ對スル六ヶ月分利子五百圓ト併セテ本行ノ通年五分ニテ收入ノ見込

金六萬九千二百九十八圓十八錢也

皇族家世襲財産準備利益

此目別

金六萬九千二百九十八圓十八錢也

皇族家世襲財産準備利益

但皇族家世襲財産準備部ニ屬スル大阪市公債證書額面二萬三百圓ニ對スル全年度分利子千二

百十八圓ト日本郵船株式會社株券額面百一萬四千四百圓ニ對スル二十八年下半年及二十九年

上半季割賦金(年一割ノ見込)十萬千四百四十圓ノ内三萬三千三百五十九圓八十二錢ハ右株券

價格低減ノ爲メ同準備部ニ引入ニ付殘リ六萬八千八十圓十八錢ト併セテ本行ノ通收入ノ見込

一金三十七萬四千二百七十四圓二十四錢七厘

歲出豫算高

此項別

金三十七萬三千九百七十四圓二十四錢七厘

借入金利子

此目別

金三十二萬八千九百七十四圓二十四錢七厘

日本銀行借入金利子

但日本銀行ヨリ借入金二百八十萬圓竝ニ右返却殘ニ對スル二十八年十一月三十日ヨリ二十九

年十一月三十日ニ至ル年七分利子十五萬七千五百五圓七十五錢四厘ト同上二百八十五萬圓ニ

對スル同上年六分利子十七萬千四百六十八圓四十九錢三厘ト併セテ本行ノ通支出ノ見込

金四萬五千圓也

日本郵船株式會社借入金利子

但日本郵船株式會社ヨリ借入金七十五萬圓ニ對スル全年度分年六分ノ利子

金三百圓也

雜出

此目別

金三百圓也

雜費

但公債證書竝銀行會社株券書換手數料其他雜費見込

一金百三十二萬六千六百八十四圓四十二錢七厘

財本ニ繰入

二十九年 度

御資部財本増減豫算

一金二千百七萬三千八百四十二圓五十一錢一厘
一金六百四十萬圓也

前年度ヨリ繰越財本
前年度ヨリ繰越借入金

内

金五百六十五萬圓也
金七十五萬圓也

日本銀行ヨリ借入
日本郵船株式會社ヨリ借入

合計金二千七百四十七萬三千八百四十二圓五十一錢一厘

内

金五百二十五萬三千八百二十圓二十一錢四厘

公 債 證 書

此譯

金一萬四千四百三十一圓二十錢也
金二十三萬八千三百二十三圓七十七錢八厘

五分利金祿公債證書額面一萬三千五百九十圓
整理公債證書額面二十三萬八千五百圓

金五萬七千八百八十五圓二十錢也

鐵道公債證書額面五萬四千二百五十圓

金二十九萬千三十一圓七十錢也

東京市公債證書額面二十八萬七千圓

金六十八萬三千五百五十五圓七十八錢也

大阪市公債證書額面六十萬五千四百圓

金三百九十六萬八千五百九十二圓五十五錢六厘

軍事公債證書額面四百十五萬八千五百圓

金千四百二十萬千二百二十五圓也

株 券

此譯

金千二百二十二萬五千圓也

日本銀行株式六萬九千株ニ對ス

金百三十五萬九千二百五圓也

正金銀行舊株券額面八十萬二千五百圓ニ對ス

ル價格八十萬六千二百八十七圓五十錢及同上

新株式五千七十五株ニ係ル現拂込額二十五萬

三千七百五十圓ニ對スル價格五十五萬二千九

百十七圓五十錢

第十五國立銀行株券額面千百圓

帝國ホテル株券額面五萬五千圓

札幌製糖會社株式四百株ニ對スル現拂込額(一)

金千百圓也

金五萬五千圓也

金一萬七千二百圓也

二十九年 度御資部財本増減豫算

金五十萬圓也

株ニ付四十三圓)

金一萬六千七百二十圓也

北海道炭鑛鐵道會社株券額面五十萬圓

金一萬二千圓也

參宮鐵道株式會社舊株券額面九千五百圓及同

金一萬五千圓也

上新株式百九十株ニ對スル現拂込額七千二百

二十圓(一株ニ付三十八圓)

金二十九萬五千圓也

會社々債券

此譯

金二十九萬五千圓也

日本郵船會社々債券額面二十九萬五千圓

金三萬八千六百七十九圓六錢二厘

地 金 銀

此譯

金三萬八千二百六十五圓五十九錢五厘

金四百十三圓四十六錢七厘

地 地 銀 金

金五十六萬九千四百七十二圓八十三錢七厘

現 金

此譯

金五十六萬九千四百七十二圓八十三錢七厘

現 金

金九十七萬九千二百七十九圓六十三錢也

御料部分置基金

此譯

金九十七萬七千二百七十九圓六十三錢也

御料部分置基金

金百三十九萬三千四百三十二圓七十六錢六厘

皇族家世襲財產準備

此譯

金百三十九萬三千四百三十二圓七十六錢六厘

皇族家世襲財產準備

金百九十九萬圓也

舊堂上華族惠恤金

此譯

金百九十九萬圓也

舊堂上華族惠恤金

金一萬四千九百三十三圓二厘

牧場分置資本

此譯

金一萬四千九百三十三圓二厘

牧場分置資本

金六十八萬圓也

御料部超年繰替貸

此譯

金六十八萬圓也

御料部超年繰替貸

金二百六萬圓也

預ケ金

此譯

金二百六萬圓也

宮内大臣特任預ケ金

一金百六十一萬千六百八十四圓四十二錢七厘

本年度財本増入

内

金百三十二萬六千六百八十四圓四十二錢七厘

現金

但二十九年御資部歳入歳出差引殘金財本ニ繰入見込額

金二百八萬五千圓也

現金

但二十九年御常用部ヨリ移入見込額

一金百七十二萬四千二百九十七圓五十六錢也

轉換入高

一金百七十二萬四千二百九十七圓五十六錢也

轉換出高

内

金六十八萬圓也

御料部超年繰替貸

此譯

金六十八萬圓也

御料部超年繰替貸

金二百六萬圓也

預ケ金

此譯

金二百六萬圓也

宮内大臣特任預ケ金

一金百六十一萬千六百八十四圓四十二錢七厘

本年度財本増入

内

金百三十二萬六千六百八十四圓四十二錢七厘

現金

但二十九年御資部歳入歳出差引殘金財本ニ繰入見込額

金二百八萬五千圓也

現金

但二十九年御常用部ヨリ移入見込額

一金百七十二萬四千二百九十七圓五十六錢也

轉換入高

一金百七十二萬四千二百九十七圓五十六錢也

轉換出高

内

金七十八萬千十七圓十七錢四厘

日本郵船株式會社株券入高

金七十八萬千十七圓十七錢四厘

現金出高

但日本郵船會社株式一萬二千二十二株購入ノ分

金二千二百八十圓也

參宮鐵道株式會社株券入高

金二千二百八十圓也

現金出高

但參宮鐵道株式會社新株式百九十株ニ對スル株金拂込見込

金二千八百圓也

札幌製糖會社株券入高

金二千八百圓也

現金出高

但札幌製糖會社株式四百株ニ對スル株金拂込見込

金六萬圓也

京都鐵道株式會社株券入高

金六萬圓也

現金出高

但京都鐵道株式會社株式三千株ニ對スル株金拂込見込

金六萬九千二百九十八圓十八錢也

皇族家世襲財產準備積立高

金六萬九千二百九十八圓十八錢也

現金出高

但廿九年度御資部歳入出殘財本ニ繰入見込額百三十二萬六千六百八十四圓四十二錢七厘ノ内

皇族家世襲財産準備利益即チ本行ノ通本準備ニ加入見込

金二十八萬五千圓也

皇族家世襲財産準備積立高

金二十八萬五千圓也

現金出高

但二十九年常用部ヨリ移入ノ分ニシテ本準備ニ積立見込

金二萬圓也

現金入高

金二萬圓也

御料部超年繰替貸返入高

但御料部超年繰替貸現在高六十八萬圓ノ内本行ノ通廿九年六月ニ返入ノ見込

金一萬三千六百七十八圓六厘

現金入高

金一萬三千六百七十八圓六厘

日本郵船株式會社株券出高

但日本郵船株式會社株券額面六十萬六千六百圓ニ對スル廿八年下半年及二十九年上半季割賦金六萬六千圓ノ内四萬六千三百八十一圓九十九錢四厘ハ歲入ニ組入殘リ本行ノ通右株券價格低減ノ爲メ引入ノ見込

金五萬七千六百七十五圓也

北海道炭鑛鐵道會社株券入高

金五萬七千六百七十五圓也

現金出高

但北海道炭鑛鐵道會社新株式二千三百七十七株ニ對スル株金拂込見込

金二萬圓也

岩越鐵道株式會社株券入高

金二萬圓也

現金出高

但岩越鐵道株式會社株式千株ニ對スル株金拂込見込

金四十一萬二千五百四十九圓二十錢也

現金入高

金四十一萬二千五百四十九圓二十錢也

軍事公債證書出高

但軍事公債證書額面四十三萬三千三百五十圓皇族家世襲財産準備部へ賣讓見込

金百三十萬圓也

借入金返却

此譯

金百三十萬圓也

現金

但日本銀行ヨリ借入金五百六十五萬圓ノ内本行ノ通返却見込

金二千二百六十八萬五千五百二十六圓九十三錢八厘

次年度へ繰越財本

金五百十萬圓也

次年度へ繰越借入金

内

金四百三十五萬圓也

日本銀行ヨリ借入

金七十五萬圓也

日本郵船株式會社ヨリ借入

合計金二千七百七十八萬五千五百二十六圓九十三錢八厘

内

金四百八十四萬二千二百七十一圓一錢四厘

公債證書

此譯

金一萬四千四百三十一圓二十錢也

五分利金祿公債證書額面一萬三千五百九十圓

金二十三萬八千三百二十三圓七十七錢八厘

整理公債證書額面二十三萬八千圓

金五萬七千八百八十五圓二十錢也

鐵道公債證書額面五分四千二百五十圓

金二十九萬三千三十一圓七十錢也

東京市公債證書額面二十八萬七千圓

金六十八萬三千五百五十五圓七十八錢也

大阪市公債證書額面六十萬五千四百圓

金三百五十五萬六千四十三圓三十五錢六厘

軍事公債證書額面三百七十二萬五千五百五十圓

金千五百一十一萬三千三百十九圓十六錢八厘

株券

此譯

金千二百二十二萬五千圓也

日本銀行株式六萬九千株ニ對スル現拂込額千

三十五萬圓

金百三十五萬九千二百五圓

正金銀行舊株券額面八十萬二千五百圓ニ對ス

ル價格八十萬六千二百八十七圓五十錢及同上

新株式五千七十五株ニ係ル現拂込額二十五萬

三千七百五十圓ニ對スル價格五十五萬二千九

百十七圓五十錢

第十五國立銀行株券額面千百圓

帝國ホテル株券額面五萬五千圓

札幌製糖會社株券額面二萬圓

北海道炭礦鐵道會社株券額面五十萬圓及同上

新株式二千三百七株ニ對スル現拂込額五萬七

千六百七十五圓(一株ニ付二十五圓)

參宮鐵道株式會社株券額面一萬九千圓

總武鐵道會社株券額面一萬二千圓

京都鐵道株式會社株式三千株ニ對スル現拂込

額(一株ニ付二十五圓)

日本郵船株式會社株券額面六十萬六百圓

金千百圓也

金五萬五千圓也

金二萬圓也

金五十五萬七千六百七十五圓也

金一萬九千圓也

金一萬二千圓也

金七萬五千圓也

金七十六萬七千三百三十九圓十六錢八厘

金二萬圓也

金二十九萬五千圓也

此譯

金二十九萬五千圓也

金三萬八千六百七十九圓六錢二厘

此譯

金三萬八千二百六十五圓五十九錢五厘

金四百十三圓四十六錢七厘

金四萬九千三百十四圓十一錢六厘

此譯

金四萬九千三百十四圓十一錢六厘

金九十七萬七千二百七十九圓六十三錢也

此譯

金九十七萬七千二百七十九圓六十三錢也

岩越鐵道株式會社株式千株ニ對スル現拂込額
(一株ニ付二十圓)

會社々債券

日本郵船會社々債券額面二十九萬五千圓

地 金 銀

地 金

地 銀 金

現 金

現 金

現 金

御料部分置基金

御料部分置基金

御料部分置基金

金百七十四萬七千七百三十圓九十四錢六厘

此譯

金百七十四萬七千七百三十圓九十四錢六厘

金百九十九萬圓也

此譯

金百九十九萬圓也

金一萬四千九百三十三圓二厘

此譯

金一萬四千九百三十三圓二厘

金六十六萬圓也

此譯

金六十六萬圓也

金二百六萬圓也

此譯

金二百六萬圓也

二十九年度御資部財本増減豫算

皇族家世襲財產準備

皇族家世襲財產準備

舊堂上華族惠恤金

舊堂上華族惠恤金

牧場分置資本

牧場分置資本

御料部超年繰替貸

御料部超年繰替貸

預ケ金

宮内大臣特任預ケ金

廿九年度

常用部歳入歳出豫算書

歳入之部

款	項	目	本年度豫算額	内	譯
國庫	國庫常額	國庫常額	三,〇〇〇,〇〇〇・〇〇〇	國庫常額	
通貸下返入	貸下返入	無利子貸下返入	三,〇〇〇,〇〇〇・〇〇〇	本年度貸下返入	
通計	小計		三,〇〇〇,〇〇〇・〇〇〇		
雜通	遺族扶助例收入	同	一三,〇七三・一四一	遺族扶助例收入	
收計	小計	上	一三,〇七三・一四一		
			四,四四二・八五〇		

款	項	目	本年度豫算額	内	譯
陵墓物件拂下代	物件拂下代	陵墓物件拂下代	五〇〇・〇〇〇	陵墓物件拂下代	
御厩物件拂下代	御厩物件拂下代	御厩物件拂下代	一,五〇〇・〇〇〇	御厩物件拂下代	
内匠寮物件拂下代	内匠寮物件拂下代	内匠寮物件拂下代	七,一〇〇・〇〇〇	内匠寮物件拂下代	
主殿寮京都出張所物件拂下代	主殿寮京都出張所物件拂下代	主殿寮京都出張所物件拂下代	三五・〇〇〇	主殿寮京都出張所物件拂下代	
調度局管掌物件拂下代	調度局管掌物件拂下代	調度局管掌物件拂下代	三,〇〇〇・〇〇〇	調度局管掌物件拂下代	
雜入	雜入		一二,三三五・〇〇〇	賠償懲罰金二百圓内閣樞密院廳 用費償入二百五圓十八錢三厘	
小計	小計		四〇五・一八三		
臨時收入	宮内官獻金	同	一七,〇八三・〇三三	宮内官獻金	
通計	小計	上	五六,七四五・五〇〇		
合通	小計		五六,七四五・五〇〇		
計	小計		三,〇八五,九〇一・六七四		

歲出之部

款	項	目	本年度豫算額	內	譯
神事費	祭典費	賢所皇靈神殿諸祭費	五、七〇〇・〇〇	幣帛費七百六十五圓神饌費二千三百圓器具費千三百七十圓被服費四百五十圓一時雇費十五圓運搬費十圓雜費八百八十圓	
		例祭費	一〇五・〇〇〇	鎮魂祭費九十圓節折大祓費十五圓	
		神宮祭費	二、九六二・〇〇〇	幣帛費二千五百五圓神饌費二百八十二圓器具費五圓被服費五圓一時雇費五十圓運搬費三十圓雜費八十五圓	
		賀茂祭費	八七五・〇〇〇	幣帛費九十圓神饌費三十五圓手當百六十七圓器具費七十五圓被服費百七十五圓一時雇費百九十五圓賄費六十五圓運搬費五圓雜費六十八圓	
		男山祭費	六五〇・〇〇〇	幣帛費七十五圓神饌費二十五圓手當百二十五圓器具費六十圓被服費七十五圓一時雇費百三十圓	

小計	水川祭費	八〇・〇〇〇	賄費五十圓運搬費三十圓雜費八十圓	
陵墓費	春日祭費	五四〇・〇〇〇	幣帛費三十五圓神饌費十五圓器具費十三圓被服費二圓一時雇費三圓運搬費五圓雜費七圓	
陵墓諸費	陵墓祭費	三三〇・〇〇〇	幣帛費九十五圓神饌費三十五圓手當百十圓器具費四十四圓被服費三十圓一時雇費九十圓賄費三十五圓運搬費三十五圓雜費七十圓	
	官弊社祭費	四、五二〇・五〇〇	幣帛費八十八圓神饌費二十二圓器具費二十圓被服費六十圓一時雇費四十圓賄費十五圓運搬費四十圓雜費四十五圓	
	國幣社祭費	一、一四〇・五〇〇	幣帛料三千三百九十一圓五十錢神饌料千二百二十九圓	
	陵墓諸費	一七、〇〇一・〇〇〇	幣帛料八百十九圓神饌料三百二十五圓五十錢	
	小計	二六、六四二・七四	豐島岡御墓費千五百八十二圓東	

廿九年度常用部歲入歲出豫算書

京府下御陵墓費百二十九圓京都府下御陵墓費六百七十九圓八錢五厘大阪府下御陵墓費千五百十三圓八十八錢一厘神奈川縣下御陵墓費八十九圓五十錢兵庫縣下御陵墓費二百三十四圓五十六錢四厘長崎縣下御陵墓費十圓三十錢新潟縣下御陵墓費六十七圓七十六錢栃木縣下御陵墓費四十七圓三十八錢奈良縣下御陵墓費八千三百一圓三十一錢二厘三重縣下御陵墓費五百十圓八十二錢五厘愛知縣下御陵墓費七十七圓三十錢靜岡縣下御陵墓費百十圓二十七錢滋賀縣下御陵墓費二百二十七圓十錢九厘岐阜縣下御陵墓費九十七圓四十八錢長野縣下御陵墓費三十四圓七十一錢青森縣下御陵墓費五圓山形縣下御陵墓費三十圓八十二錢石川縣下御陵墓費三十九圓二十八錢島根縣下御陵墓費百九十一圓十一錢三厘鳥取縣下御陵墓費三十圓七十九錢岡山縣下御陵墓費七十七圓九十二錢山口縣下御陵墓費百五

宮廷內費		通計	
御費		小計	
御內儀用	供御費	御內儀用	供御費
二九、八二、〇〇〇	二九、八二、〇〇〇	二九、八二、〇〇〇	二九、八二、〇〇〇
四、八二、〇〇〇	四、八二、〇〇〇	四、八二、〇〇〇	四、八二、〇〇〇
二四、〇〇、〇〇〇	二四、〇〇、〇〇〇	二四、〇〇、〇〇〇	二四、〇〇、〇〇〇
二九、六四、〇〇〇	二九、六四、〇〇〇	二九、六四、〇〇〇	二九、六四、〇〇〇
三、五五、〇〇〇	三、五五、〇〇〇	三、五五、〇〇〇	三、五五、〇〇〇
御內儀用	供御費	御內儀用	供御費
御祝宴費九百圓御陪食費二千六百十五圓		御祝宴費九百圓御陪食費二千六百十五圓	
參考什器三十圓參考圖書費千圓雜費八十六圓八十二錢六厘		參考什器三十圓參考圖書費千圓雜費八十六圓八十二錢六厘	
十一圓三十三錢八厘和歌山縣下御陵墓費千七百七十七圓二十錢九厘德島縣下御陵墓費四十圓四十四錢香川縣下御陵墓費千五百九十二圓三十六錢四厘高知縣下御陵墓費三圓福岡縣下御陵墓費七十四圓六十一錢熊本縣下御陵墓費三十四圓六十五錢二厘鹿兒島縣下御陵墓費三千四百四十五圓四十九錢二厘堀浚樹木費千二百圓諸手當五百一圓二十五錢旅費五百八十六圓四十二錢		十一圓三十三錢八厘和歌山縣下御陵墓費千七百七十七圓二十錢九厘德島縣下御陵墓費四十圓四十四錢香川縣下御陵墓費千五百九十二圓三十六錢四厘高知縣下御陵墓費三圓福岡縣下御陵墓費七十四圓六十一錢熊本縣下御陵墓費三十四圓六十五錢二厘鹿兒島縣下御陵墓費三千四百四十五圓四十九錢二厘堀浚樹木費千二百圓諸手當五百一圓二十五錢旅費五百八十六圓四十二錢	

賜饌費	一、四〇〇・〇〇〇	常時賜饌費千四百圓臨時賜饌費一萬圓
贈賜食品費	五、九〇〇・〇〇〇	贈進食品費二千二百三十五圓賜與食品費三千五百三十五圓供物費百五十圓
庖厨費	一七、三六五・〇〇〇	飲食器費一萬百九十二圓厨具費二千三百七十一圓雜具費八百二十三圓雜費三千九百九十九圓
御服費	一九、〇〇〇・〇〇〇	御冠服費九百五十圓御正服千五百圓御常服費一萬三千四百圓御寢用具費三千百五十圓
御用度費	三五、一五〇・〇〇〇	什具費一萬三千三百五十六圓文房費千六百十五圓書籍費二千五百八十四圓雜具費四千圓運搬費千圓消耗費一萬千圓一時雇費千五百圓雜費九十五圓
京都御所御物保存費	二五、〇〇〇	御物修覆費百圓手當百十五圓一時雇費三十五圓雜費十五圓
贈賜金	三六、〇〇〇・〇〇〇	內贈金五千圓內賜金三萬三千圓
贈賜物品費	七、七九〇・〇〇〇	贈進物品費二千五百六十五圓賜

小計	一九二、〇六五・〇〇〇	與物品費五千二百二十五圓
皇后宮費	六六、五〇〇・〇〇〇	皇后宮費
小計	六六、五〇〇・〇〇〇	
皇太后宮費	六七、〇〇〇・〇〇〇	皇太后宮費
小計	六七、〇〇〇・〇〇〇	
東宮費	五〇、〇〇〇・〇〇〇	東宮費
小計	五〇、〇〇〇・〇〇〇	
御直宮費	三六、〇〇〇・〇〇〇	常宮周宮御養育料
小計	三六、〇〇〇・〇〇〇	富美宮御養育料
醫藥費	四六、〇〇〇・〇〇〇	治療具費千五百圓藥品費三千三百圓雜具費三百七十圓雜費四百三十圓
小計	五、六〇〇・〇〇〇	
通計	四三九、一五五・〇〇〇	

宮廷外費		外賓費		贈答物品費	
小計	宴會費	接待費	饗宴費	食饌費	修繕費
一、〇〇〇・〇〇〇	一、〇〇〇・〇〇〇	一、〇〇〇・〇〇〇	五〇〇・〇〇〇	二、五〇〇・〇〇〇	二、〇〇〇・〇〇〇
贈答物品費	新年宴會費二千六百四十圓紀元節宴會費二千五百九十七圓天長節宴會費三千四十三圓觀櫻會費千六百圓觀菊會費千六百圓	新年宴會費二千六百四十圓紀元節宴會費二千五百九十七圓天長節宴會費三千四十三圓觀櫻會費千六百圓觀菊會費千六百圓	新年宴會費二千六百四十圓紀元節宴會費二千五百九十七圓天長節宴會費三千四十三圓觀櫻會費千六百圓觀菊會費千六百圓	新年宴會費二百圓紀元節宴會費二百圓天長節宴會費二百圓觀櫻會費四百圓觀菊會費六百圓	馬車具費一萬四千五百圓乘馬具費千六百圓雜具費四百圓 購馬代五千六百圓牽付費六百圓 飼養費
一、〇〇〇・〇〇〇	二、五〇〇・〇〇〇	一、〇〇〇・〇〇〇	二、五〇〇・〇〇〇	二、〇〇〇・〇〇〇	一、六〇〇・〇〇〇
小計	御廐費	車馬具費	馬具費	購馬費	飼養費
一、五、一〇・〇〇〇	一六、五〇〇・〇〇〇	一六、二〇〇・〇〇〇	一六、八〇〇・〇〇〇	一六、八〇〇・〇〇〇	一六、八〇〇・〇〇〇

小計		諸給費	
狩獵費	習志野御獵場費	諸用度費	諸給費
六五、八六・〇〇〇	一、八三・〇〇〇	六、九〇〇・三九〇	一九、四五・六二〇
連光寺御獵場費	諸用度費	諸用度費	諸給費
七六・〇一七	六、九〇〇・三九〇	六、九〇〇・三九〇	一九、四五・六二〇
給料四百十三圓一時雇費百五十圓旅費七圓手當八百十九圓器具費七圓被服費九十二圓運搬費五十圓消耗費六圓通信費三圓動物費四十二圓營繕費二十五圓雜費五十圓補充百九十九圓	諸用度費	諸用度費	諸給費
給料百圓一時雇費六十圓旅費七圓手當百七十圓器具費十五圓被服費七十二圓運搬費十圓消耗費四圓通信費三圓動物費四十圓營繕費四圓	諸用度費	諸用度費	諸給費
小者定雇費一萬五千六百四十二圓三十九錢小者一時雇費二十四圓小者被服費二千四百九十八圓三十五錢小者手當百四十六圓四十錢小者賄費千百十四圓四十七錢	諸用度費	諸用度費	諸給費
器具費二千八百一十一圓五十四錢六厘蹄鐵費五百圓馬藥費四百圓運搬費十八圓消耗費二千七百七十圓八十四錢四厘雜費三百七十圓	諸用度費	諸用度費	諸給費

江戸川筋御 獵場費	三、五七・〇〇〇	繕費十圓雜費十六圓補充二百三十一圓一錢七厘 給料九百八十八圓一時雇費三百七十圓六十錢旅費七圓手當八百三十八圓器具費三百一圓被服費二百四十九圓五十錢運搬費八十圓消耗費八十七圓四十錢通信費十五圓動物費四百四十六圓五十錢營繕費七十五圓雜費百二圓補充三十七圓
日光御獵場 費	一、四五・〇〇〇	給料二百八十五圓一時雇費二百九十九圓旅費十七圓二十錢手當四百七十七圓器具費四十八圓被服費十七圓運搬費八十五圓消耗費七圓通信費八圓動物費四十圓營繕費七十七圓雜費十九圓八十錢補充五十五圓
岩瀬御獵場 費	七五・〇〇〇	給料三百圓一時雇費四十圓旅費十二圓十錢手當二百圓器具費十五圓被服費九十二圓運搬費十五圓消耗費四圓通信費三圓動物費三十七圓營繕費十五圓雜費二十三圓九十錢

涌谷御獵場 費	一四四・〇〇〇	一時雇費四十四圓手當五十圓運搬費三十圓通信費十圓動物費三十圓營繕費二十圓雜費十圓
長良川筋御 獵場費	七四四・〇〇〇	一時雇費二百八十五圓手當百六十五圓運搬費百十圓消耗費七十二圓通信費十圓營繕費十圓雜費十圓補充八十二圓
御苑御獵場 費	六、七〇七・〇〇〇	給料千八百八十六圓三十四錢一時雇費二百七十二圓五十錢手當百九十九圓二十錢器具費三百四十九圓被服費七十八圓消耗費三百二十二圓九十五錢動物費二千八百四十八圓八十錢雜費二十圓補充七百三十圓二十一錢
派出漁獵費	九〇〇・〇〇〇	一時雇費三百十圓器具費二十圓運搬費百六十圓消耗費百二十五圓通信費五圓雜費二百八十圓
御獵場内町 村手當	三、八七〇・〇〇〇	習志野御獵場町村手當千七十八圓五十錢五厘連光寺御獵場町村手當六十圓六十七錢七厘江戸川筋御獵場町村手當二千圓十二錢五厘日光御獵場町村手當百圓岩

通計		小計		音樂費	
小計	圖書費	寶器費	歐洲樂費	和樂費	小計
二、四四・〇〇〇	七〇〇・〇〇〇	一、七四・〇〇〇	四、〇〇・〇〇〇	四、九〇・〇〇〇	二〇、八五・〇一七
二六、四八五・〇一七	圖書購入費四百六十一圓圖書保存費二百三十九圓	一時雇費千六十三圓七錢手當百二十五圓被服費五圓器具百圓運搬費百二十圓營繕費百圓雜費百圓	一時雇費十圓旅費百圓手當三千二百四十圓器具費三百八十五圓被服費八百四十圓運搬費五圓雜費二百二十圓	給料四千五百九十圓一時雇費十圓器具費百圓被服費百五十圓雜費五十圓	瀨御獵場町村手當七十圓廿八錢五厘涌谷御獵場町村手當二百七十圓補充二百九十圓四十錢八厘

宮殿費

宮殿費		宮殿裝設費		什器費	
小計	營繕費	京都御所裝設費	諸用度費	裝飾什器費	裝飾什器費
二五、二九三・六〇〇	五三、三六・〇〇〇	一、一八三・六〇〇	一六、二五〇・〇〇〇	七、八六〇・〇〇〇	八、八六〇・〇〇〇
宮城一萬二千三百七十五圓京都御所一萬三千五百圓青山御所三千九百五十圓東宮御所二千九百三十五圓高輪御殿二千五百九十九圓赤坂離宮六千八百八十七圓濱離宮二千四百六十圓芝離宮二千八百六十八圓箱根離宮五百五十圓名古屋離宮千圓紀尾井町御用邸百十圓橫濱御用邸百圓葉山御用邸五百圓宮ノ下御用邸五百圓沼津御用邸四百圓神戸御用邸	宮殿土木費	裝飾什器費二百圓諸用度具費五十圓點燈費八百八十三圓六十錢雜費五十圓	裝飾費九百八十圓點燈費一萬千七百五十圓溫室費千二百六十圓雜具費八百十圓一時雇費四百五圓運搬費百圓消耗費九百圓雜費四十五圓	裝飾什器費三千圓諸用具費四千八百六十圓	裝飾什器費三千圓諸用具費四千八百六十圓

庭園費

元、七五、〇〇〇

三百三十圓新宿御用邸千二百八十一圓代々木御用邸四百七十一圓熱海御用邸百三十圓伊香保御用邸百圓日光朝陽館三百五十圓大阪泉布觀三百三十圓御產所二百五十圓連光寺村御休所百圓菴原御料地五十圓新濱御獵場六百五十圓幸啓用費千圓器具費五百七十圓雜費二百圓

宮城九千八百三十七圓京都御所四千二百六十圓青山御所千二百八十圓東宮御所千五百五十八圓高輪御殿九百五十圓赤坂離宮三千三百七圓濱離宮千三十圓芝離宮九百三十六圓箱根離宮百六十一圓名古屋離宮三百五十圓紀尾井町御用邸二十圓橫濱御用邸二百圓葉山御用邸二百圓宮ノ下御用邸三百五十圓沼津御用邸百二十圓神戶御用邸二百圓新宿御用邸九百圓代々木村御用邸百四十八圓熱海御用邸百五十圓伊香保御用邸百圓日光朝陽館百五十圓大阪泉布觀百二十圓御產所百五十

別途營繕費

一九、六〇、〇〇〇

圓菴原御料地二十圓新濱御獵場四百圓盆栽費千七百圓植物費千圓雜費五百六十圓

京都御所御三間屋根檜皮葺替費千八百十五圓京都御所御清所板間ノ土間ニ模様替費九百八十二圓京都御所御築地東側修繕費二千四百五十九圓二條離宮黑書院及御臺所破風金物取付費千九百九十三圓聖上常御殿用絨氈購入費五千五百二十九圓表御座所用絨氈購入費七千二百六十八圓青山御所判任官浴室新築費三百八十四圓

小計

一〇一、七五、〇〇〇

通計

二八、〇四、六〇〇

皇族家費

皇族家常給

有栖川宮費

三〇、〇〇〇、〇〇〇

小松宮費

三〇、〇〇〇、〇〇〇

伏見宮費

三〇、〇〇〇、〇〇〇

北白川宮費

二五、〇〇〇、〇〇〇

恩通

賜計

小計

公賜金

六、九〇〇〇〇

養老二百圓賑恤四萬七千二百圓

皇族家別段給與

報勞年金
特別給與

一五、〇〇〇〇〇
三〇、〇〇〇〇〇

小松宮年金

小松依仁親王特別給與一萬圓故博經親王御息所特別給與二千圓故熾仁親王御息所特別給與五千圓邦憲王特別給與二千五百圓菊鷹王特別給與八千圓多嘉王特別給與二千五百圓

舊親王家祭費

一九、〇〇〇

舊桂宮祭費

四、一九〇〇〇

二五、一九〇〇〇

給通
與計
費

小計

高等官俸給

三〇、八〇〇〇〇

二四、八二〇〇〇

二四、八二〇〇〇

四〇〇〇〇

一、八〇〇〇〇

一七、〇〇〇〇〇

獎勵一萬五千五百八十圓
保護二萬七千圓教育一萬六千圓
慶弔一萬五千圓特賜十二萬圓
公賜物品費
公賜供物費

官房一萬四千六百圓侍從職二萬八千九百圓式部職一萬九千四百二十圓皇太后宮職二萬二千九百圓皇后宮職三萬八千六百二十圓東宮職六千九百圓內藏寮五千二百圓爵位局五千四百圓大膳職二千圓主殿寮千四百圓內匠寮七千三百圓主馬寮五千二百圓諸陵寮千圓侍醫局二萬五千二百圓主獵局三千五百圓調度局三千圓帝室會計審查局五千九百圓有栖川宮三千五百圓伏見宮四千圓北白川宮三千七百圓閑院宮五百五十圓山階宮四千五百圓久邇宮千圓

判任官俸給	一七、三〇〇・〇〇〇	梨本宮七百圓華頂宮八百圓宮中 官八千八百圓文事秘書局五千七 百圓補充九千百圓
等外吏俸給	四三、三三二・〇〇〇	內事課五千圓外事課三千三百圓 調查課二千三百六十四圓御歌所 千九百八十圓侍從職三千二百四 十圓式部職一萬三千二百九十六 圓皇太后宮職七千九百二十圓皇 后宮職一萬八千八百二十圓東宮職 五千三百八十八圓內藏寮五千五 百四十四圓符位局四千六百五十 六圓大膳職六千七百六十八圓主 殿寮八千二百八十圓皇宮警察署 五千七百七十二圓圖書寮五千九 十六圓內匠寮一萬四千九百四十 圓主馬寮一萬四千七百七十二圓 諸陵寮二千九百九十六圓侍醫局五 千六百六十圓主獵局二千九百九十六 圓調度局七千九百八十圓帝室會 計審查局二千九百八十八圓文事 秘書局千六十八圓補充五千九百 七十六圓
式部職千三百三十二圓皇太后宮		

功勞特別俸	一、三〇〇・〇〇〇	職三千十二圓皇后宮職千三百二 十圓東宮職二千二百五十六圓大 膳職九百九十六圓主殿寮一萬千 四圓皇宮警察署二萬二千四百六 十四圓補充九百四十八圓
給殿寮京都 出張所俸給	一三、九二・〇〇〇	功勞特別俸給
雜役雇給料	四三、八〇四・〇〇〇	高等官俸給千八百六十圓判任官 俸給四千八十圓諸陵寮判任官俸 給千三百四十圓等外吏俸給五千 七百十二圓
小者給料	二、八二〇・〇〇〇	雜役雇給料
主殿寮京都 出張所給料	二、〇五七・〇〇〇	小者給料
小計	四七、四五七・〇〇〇	雜役雇給料八百八十七圓七十六 錢小者給料千百六十九圓二十四 錢
手當	四六、六〇〇・〇〇〇	勤務手當二萬八千圓特別手當一 萬三千圓皇宮警察部手當千八百

小計	旅費	小計	賄費	小計	恩給	小計	遺族扶助料
主殿寮京都出張所手當	主殿寮京都出張所旅費	賄費	主殿寮京都出張所賄費	恩給	遺族扶助料		
一、三三・五〇〇	二、〇五〇・〇〇〇	二、六一・四〇〇	二、二五・五〇〇	四、〇〇〇・〇〇〇	四、五〇〇・〇〇〇		
圓雜種手當三千八百圓	旅費	賄費	恩給例年金二萬圓免職一時手當五千五百圓死亡手當二千五百圓救助例手當五百圓女官恩給例年金一萬千圓特別年金千八百五十圓	遺族扶助年金四千圓遺族一時扶助金五百圓			

小計	通信費	雇費	器服費	雜費	官舍諸費	警察用度費
六三、三〇・四〇〇	二、八七・〇〇〇	二、五一・〇〇〇	三、七三〇・〇〇〇	二、四、五九・〇〇〇	一、三、七〇・〇〇〇	九、六五・〇〇〇
郵便稅九百四十二圓電信稅千五百七十一圓七十五錢電信取扱料百八圓三十五錢電話取扱料二百五圓	一時雇費千三十一圓舟車馬雇費千五百五十圓	器具費五千六百十圓被服費一萬七千二百二十圓	書籍費二千四百圓點燈費五千九百七十二圓運搬費百六十圓消耗費一萬五千六百四十二圓反譯及筆耕料三百八十五圓雜費四十圓	一時雇費二百三十五圓器具費三百五十圓雜費七百八十五圓	警察器服費九千四百五十四圓警察雜費六十三圓衛生費百三十八圓	

皇太后宮職 廳舍費	四、九〇・〇〇〇	通信費九十四圓五十錢一時雇費二百四十四圓舟車馬雇費二百六十四圓五十錢器具費七百三十三圓八錢被服費千二百五十九圓書籍費二百二圓點燈費三百七十六圓運搬費二十五圓消耗費千七百七十五圓九十二錢雜費十六圓
東宮職廳舍費	四、四九・五五七	通信費九十五圓九十四錢一時雇費三十二圓九十五錢舟車馬雇費三百圓器具費六百九十二圓五十三錢被服費千二百六圓五十四錢書籍費百十六圓七十八錢點燈費六百九十三圓七十九錢六厘消耗費千三百三十一圓二錢一厘
主殿寮京都出張所廳舍費	五、二九・〇〇〇	通信費二百六十四圓一時雇費三百圓器具費四百九十七圓被服費二千二百圓消耗費千四百圓運搬費百圓飼馬費二百三十八圓雜費二百八十圓
小計	七、八〇・五五七	
廳舍土木費	一〇、九〇・〇〇〇	宮內省五千七百九十五圓宮城外五門費二百圓猿江御用邸千九百

庭園費	一、〇一〇・〇〇〇	十六圓雅樂稽古所五百圓巡查派出所百五圓澁谷養生所百五十圓龍ノ口物揚場十五圓木挽町物揚場十五圓小繕用費千圓衛生費三百七十五圓器具費二百圓電信電話費千二百圓雜費百五十圓
官舎營繕費	二、四九・〇〇〇	猿江御用邸五十圓雅樂稽古所十六圓澁谷養生所二十圓龍ノ口物揚場七圓木挽町物揚場十圓器具費四百二十七圓雜費四百五十圓
官舎庭園費	四一〇・〇〇〇	大臣官舎千四十六圓內大臣官舎三百七十八圓秘書官舎百圓青山御所附官舎百圓東宮附官舎百圓常宮周宮附官舎三百四十圓御產所附官舎二百八十圓警察長官舎五十三圓諸拜借邸百圓
雇費	七、一四・四九五	大臣官舎百五十圓內大臣官舎百五十圓御產所附官舎六十圓女官下リ邸三十圓諸拜借邸三十圓見廻人給料二百四十八圓二十錢常詰職工給六千三百八圓二十九

通計		事業資	
小計	學習院資	小計	學習院資
諸賦金	補助資	同	同
別途營繕費	東京博物館	同	同
五、五四・五〇〇	京都博物館	上	上
九、五五・〇〇〇	奈良博物館	上	上
二六、四九・九九五	華族女學校	上	上
一〇六、二九〇・五五三	小計	上	上
二九、〇〇〇・〇〇〇	東京博物館	上	上
四、八〇〇・〇〇〇	京都博物館	上	上
三三、八〇〇・〇〇〇	奈良博物館	上	上
二五、六四〇・〇〇〇	華族女學校	上	上
四七、四〇〇・〇〇〇	小計	上	上
七、九七〇・〇〇〇	東京博物館	上	上
八、五〇〇・〇〇〇	京都博物館	上	上
五、五四・五〇〇	奈良博物館	上	上
九、五五・〇〇〇	華族女學校	上	上
二六、四九・九九五	小計	上	上
一〇六、二九〇・五五三	東京博物館	上	上
二九、〇〇〇・〇〇〇	京都博物館	上	上
四、八〇〇・〇〇〇	奈良博物館	上	上
三三、八〇〇・〇〇〇	華族女學校	上	上
二五、六四〇・〇〇〇	小計	上	上
四七、四〇〇・〇〇〇	東京博物館	上	上
七、九七〇・〇〇〇	京都博物館	上	上
八、五〇〇・〇〇〇	奈良博物館	上	上

錢五厘撒水傭給三百六十五圓臨時職工給七十三圓一時雇費百五十圓

上水賦金三千八百四十二圓五十錢撒水除雪賦金千七百圓

猿江二千本堀土留柵取設費

學習院資

俸給補助資

華族女學校資

博物館資

京都博物館資

奈良博物館資

通計		合計		御資部二移入		臨時費		通計		第一豫備金		第二豫備金		通計		支出總計	
小計	御資部二移入	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
六三、八七〇・〇〇〇	廿九年度御資部二移入	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上
二二、〇七〇・五八・五九	御資部二移入	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上
二八、二六三・九九四	御資部二移入	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上
二五、〇〇〇・〇〇〇	御資部二移入	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上
二五、〇〇〇・〇〇〇	御資部二移入	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上
二八、二六三・九九四	御資部二移入	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上
二八、二六三・九九四	御資部二移入	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上
五〇、〇〇〇・〇〇〇	御資部二移入	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上
一六三、二九・三一一	御資部二移入	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上
一六三、二九・三一一	御資部二移入	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上
三、〇八五・九〇一・六七四	御資部二移入	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上